

I-O DATA

WN-AC733GR2

画面で見るマニュアル

■ Pick up

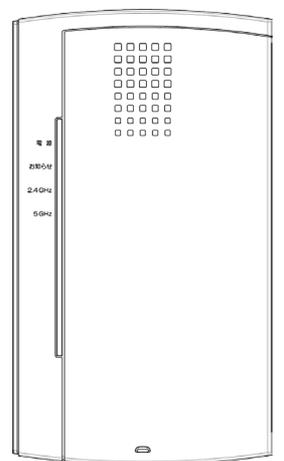
設定画面の開き方 65 ページ

アクセスポイントとして使用する方法
(ルーター⇔APの切替方法) 72 ページ

無線LAN設定(SSID・暗号化設定)の変更手順
(SSID、暗号化設定の変更) 74 ページ

ポートの開放手順 80 ページ

困ったときには 114 ページ



もくじ

使用前に

安全のために	6
使用上のご注意	8

設置・無線接続

セットアップ手順を確認する	11
---------------------	----

初めて無線LANルーターを設置する場合

Step1 設置する	12
------------------	----

Step2 無線LANの接続設定をする	13
---------------------------	----

パソコンを接続する場合

- ・パソコン内蔵の無線LAN子機を接続する場合 14
 - Windows 8の場合
 - Windows 7の場合
 - Windows Vistaの場合
 - Windows XPの場合
 - Mac OSの場合
- ・外付けの無線LAN子機を接続する場合 24
 - 弊社製無線LAN子機の場合 (WPS接続の場合)
 - 他社製またはWPS非対応無線LAN子機の場合
- ・有線LAN接続する場合

スマートフォン/タブレットを接続する場合

- ・簡単設定アプリ「QRコネクト」で接続する場合 (初心者向け)
- iPhone/iPad/iPod touchの場合 ...
- Androidの場合

- ・NFCアプリ「NFCコネクト」で接続する場合 (初心者向け)
- ・設定メニューで接続する場合
- iPhone/iPad/iPod touchの場合 ...
- Androidの場合 (WPS接続の場合) .
- Androidの場合 (アクセスポイントを検索して接続する場合)

ゲーム機を接続する場合

- ニンテンドー3DSの場合
- ニンテンドーDSiの場合 (WPS接続の場合)
- ニンテンドーDSiの場合 (アクセスポイントを検索して設定)
- ニンテンドーDS Lite/ニンテンドーDSの場合
- Wiiの場合
- PS Vitaの場合
- PSPの場合
- PS3の場合
- Xbox 360の場合

Step3 インターネットに接続する	58
--------------------------	----

既存の無線LANルーターと入れ替える場合

Step1 Wi-Fi設定を移行する 60

 Wi-Fi設定移行機能とは.....60

 Wi-Fi設定を移行する.....61

Step2 設置する 63

設定画面の開き方 65

 方法1:設定アプリ「Magical
 Finder」を利用して開く方法 66

 Windowsの場合.....66

 Mac OSの場合.....67

 iPhone/iPad/iPod touchの場合 ...68

 Androidの場合69

 方法2:IPアドレスを入力して開く方法 70

アクセスポイントとして使用する方法（ルーター⇔APの切替方法） ... 72

 APモードに切り替える方法..... 72

 ルーターモードに切り替える方法..... 73

無線LAN設定(SSID・暗号化設定)の変更手順..... 74

ポートの開放手順 80

ダイナミックDNSサービス「iobb.net」のご利用手順..... 82

 お好みのホスト名を使用する場合..... 83

 プリセットされたホスト名を使用する場合 84

ECOモードの設定方法 85

ファームウェアのバージョンアップ方法 87

出荷時設定に戻す方法..... 88

 初期化ボタンに戻す場合..... 88

 設定画面に戻す場合 88

設定画面のリファレンス	90
ステータス	90
かんたん接続	92
インターネット	93
IPアドレス自動取得	93
IPアドレス固定設定	93
PPPoE認証	93
LAN設定	94
IPアドレス設定	94
DHCP	94
無線設定	95
基本設定.....	95
暗号化.....	96
詳細設定.....	98
フィルター	98
WPS.....	99
クライアントリスト	99
セキュリティ	100
パスマスルー	100
DMZ.....	100
DoS	100
ECOモード	101
ECOモード.....	101
詳細設定	102
ポートの開放.....	102
UPnP.....	102
iobb.net	102
NAT.....	103
リダイレクト.....	103
ファミリースマイル	104
ファミリースマイル	104
URLフィルター	105
ブロックログ.....	105
システム	106
パスワード設定.....	106
時刻の設定.....	106
ログ.....	106
ファームウェア	106
バックアップ	107
初期化.....	107

仕様

壁掛けで使う場合 109

各部の名前と機能 110

動作環境/仕様 111

 動作環境 111

 仕様 111

 一般仕様 112

 出荷時設定一覧..... 112

困ったときには

困ったときには 114

アフターサービスについて 132

 お問い合わせについて 132

 修理について 133

ハードウェア保証規定..... 134

ご使用前に

安全のために	6 ページ
使用上のご注意	8 ページ

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
 警告	この表示の注意事項を守らないと死亡または重傷を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

	禁止
	指示を守る

危険

-  **本製品を修理・分解・改造しない**
火災や感電、やけど、故障の原因になります。

警告

-  **雷が鳴り出したら本製品や電源コードに触れない**
感電の原因になります。
-  **ACアダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない**
火災・感電の原因になります。
 - ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
 - ・水の入ったもの（コップ、花瓶など）を上に乗けない。
 - ・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。
-  **本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない**
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。
-  **故障や異常のまま、通電しない**
本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外し、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。

-  **煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止する**

コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

-  **本製品を病院内で使用しない**
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

-  **本製品を飛行機の中で使用しない**
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピュータから本製品を取り外してください。

-  **ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等の近くでは使用しない**
電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。飛行機の中ではコンピュータから本製品を取り外してください。

警告 (つづき)

電源 (ACアダプター・コード・プラグ) について

-  ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり火災の原因になります。

 添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながらない
添付の電源コードおよび AC アダプターは本製品専用です。他の機器につなぐと、火災や感電の原因になります。
-  AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながらない
発熱、火災の恐れがあります。

 コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、火災の原因になります。(トラッキング現象)
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。
-  電源コードやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線 (電気の流れるところ) が断線したり、ショートし、火災・感電の原因になります。

 煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
-  ゆるいコンセントにつながらない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んででもゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して火災の原因になります。

 じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
火災の原因になります。
-  電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、火災や感電の原因になります。

 テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量 (「1500W」などの記載) を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、火災の原因になります。

注意

-  **本製品を踏まない**
破損し、ケガの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。
-  **長時間にわたり一定の場所に触れ続けない**
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起す恐れがあります。

電源 (ACアダプター・コード・プラグ) について

-  **人が通行する場所に配線しない**
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ・IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
- ・メールの内容

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- ・傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- ・コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

使用上のご注意

■ 以下の機器は無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。

- ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
- 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

■ 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。

携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用していますが、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

■ 間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。

ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

■ 本製品の電源を入れ直す場合は、電源を切った後、5秒以上待つてから電源を入れてください。

■ IEEE802.11n(2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11gで通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

設置・無線接続

接続前に セットアップ手順を確認する 11 ページ

▼ 初めて無線LANルーターを設置する場合

Step1 設置する 12 ページ

Step2 無線LANの接続設定をする 13 ページ

Step3 インターネットに接続する 58 ページ

▼ 既存の無線LANルーターを入れ替える場合

Step1 Wi-Fi設定を移行する 60 ページ

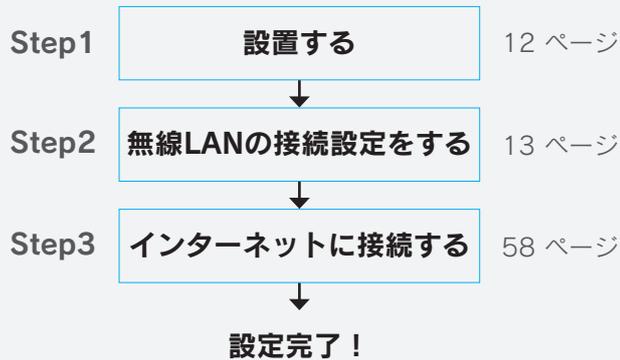
Step2 設置する 63 ページ

接続前に セットアップ手順を確認する

ご利用になる状況を以下より選び、最適なセットアップ手順へお進みください。

▼ 初めて無線LANルーターを設置する場合

本製品の出荷時設定 (SSID等) で接続設定します。



※ ゲーム機の接続設定をする場合は、パソコンまたはスマートフォンでの接続設定が完了した後におこなってください。

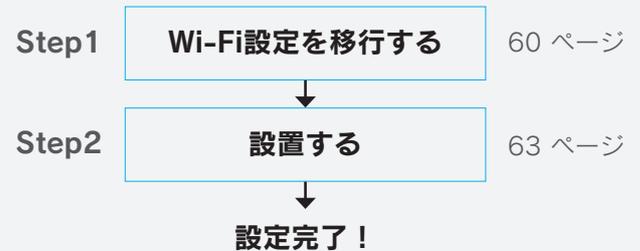
▼ 既存の無線LANルーターと入れ替える場合

既存の無線LANルーターを取り外し、本製品に入れ替えて使用する場合、Wi-Fi設定移行機能を利用して設定するとこれまで利用していた端末 (パソコン、スマートフォン等) を再度設定し直す必要がなく便利です。

※ Wi-Fi 設定移行機能とは、既存の無線LANルーターの無線設定情報 (SSIDと暗号キー) を、本製品の [Copy SSID] にコピーする機能です。

※ ただし以下の場合は Wi-Fi 設定移行機能で無線LANの接続設定がおこなえないため、左記「初めて無線LANルーターを設置する場合」の手順で設定してください。

- ・ 5GHz 帯に対応した端末をつなぐ場合
- ・ 新しい端末を追加する場合
- ・ 既存の無線LANルーターの暗号化方式が「WEP」の場合、または暗号化していない場合
- ・ 1 番目の SSID 以外につないでいた端末をつなぐ場合
- ・ 既存の無線LANルーターに WPS ボタンがない場合



Step1 設置する

1

① モデムの電源を1分以上切り、電源を入れ直す
 ※ ご利用のモデムによっては 30 分以上電源を切る必要があります。

② スイッチが[自動]であることを確認
 ※ [自動] の場合、ご利用環境にあわせてルーターモード / APモードが自動的に設定されます。通常、[自動] でご利用ください。

③ LANケーブルをモデムのLANポートと本製品のインターネットポートに接続

④ 添付のACアダプターを本製品のDC INと電源コンセントに接続

⑤ インターネットランプが[点灯]または[点滅]していることを確認

2

ランプが以下のようにになっていることを確認

ランプ	状態
電源	点灯
2.4GHz	点灯*
5GHz	点灯*

※ 点滅することがありますが、問題ありません。

3

添付の「無線LAN設定情報カード」上に記載の[暗号キー]、[SSID1]、[SSID2]を確認
 ※ [SSID1]、[SSID2]、[暗号キー] は、「Step2 無線LAN接続設定をする」で設定時に必要です。

▼出荷時設定

SSID1 [2.4GHz]	AirPortxxxxx
SSID2 [5GHz]	Streamxxxxx

※ "xxxxx" は機器により異なります。
 ※ 本製品背面にも記載しています。

以上で本製品の設置は完了です。次に「Step2 無線LANの接続設定をする」13 ページへお進みください。

Step2 無線LANの接続設定をする

接続する無線LAN子機の手順をご覧ください。

パソコンを接続する場合

・パソコン内蔵の無線LAN子機を接続する場合	14 ページ
Windows 8の場合	14 ページ
Windows 7の場合	17 ページ
Windows Vistaの場合	19 ページ
Windows XPの場合	21 ページ
Mac OSの場合	22 ページ
・外付けの無線LAN子機を接続する場合	24 ページ
弊社製無線LAN子機の場合 (WPS接続の場合)	24 ページ
他社製またはWPS非対応無線LAN子機の場合	25 ページ
・有線LAN接続する場合	26 ページ

スマートフォン/タブレットを接続する場合

・簡単設定アプリ「QRコネクト」で接続する場合 (初心者向け)	27 ページ
iPhone/iPad/iPod touchの場合	27 ページ
Androidの場合	29 ページ
・NFCアプリ「NFCコネクト」で接続する場合 (初心者向け)	31 ページ
・設定メニューで接続する場合	33 ページ
iPhone/iPad/iPod touchの場合	33 ページ
Androidの場合 (WPS接続の場合)	34 ページ
Androidの場合 (アクセスポイントを検索して接続する場合)	36 ページ

ゲーム機を接続する場合

ニンテンドー3DSの場合	37 ページ
ニンテンドーDSiの場合 (WPS接続の場合)	40 ページ
ニンテンドーDSiの場合 (アクセスポイントを検索して設定)	42 ページ
ニンテンドーDS Lite/ニンテンドーDSの場合	44 ページ
Wiiの場合	46 ページ
PS Vitaの場合	49 ページ
PSPの場合	51 ページ
PS3の場合	53 ページ
Xbox 360の場合	55 ページ

パソコンを接続する場合

パソコン内蔵の無線LAN子機を接続する場合

Windows 8の場合

ヒント パソコンに内蔵の無線LAN用のスイッチがある場合は、スイッチをオンにしてください



1 ① マウスを画面の右上にかざして、チャームバーを表示

② [設定]をクリック

2 無線のアイコンをクリック

3

① SSID1またはSSID2を選択

2.4GHzの場合	AirPortxxxxx
5GHzの場合	Streamxxxxx

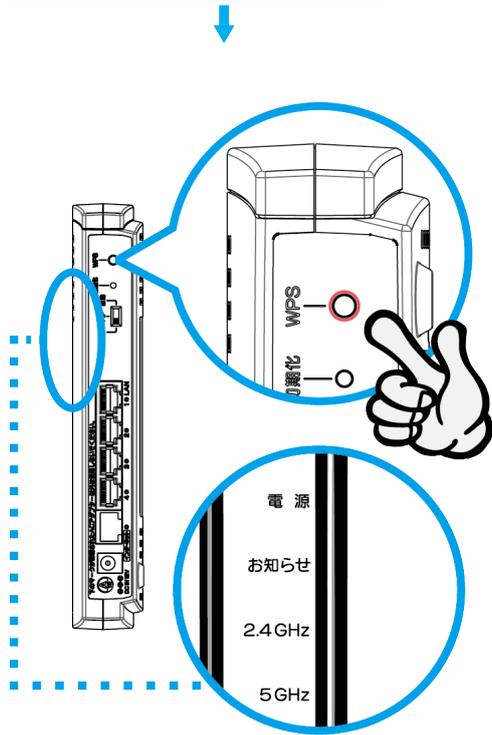
② [接続]をクリック

※ "xxxxx" は機器により異なります。
 ※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

4



① 「ルーターのボタンを押しても接続できます。」のメッセージを確認



② 本製品のWPSボタンを長押し

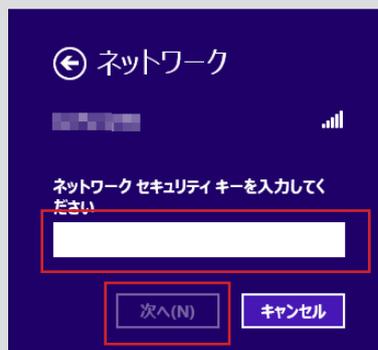
2.4GHzの場合	約3秒間
5GHzの場合	約6秒間

③ 該当のランプが点滅したら離す

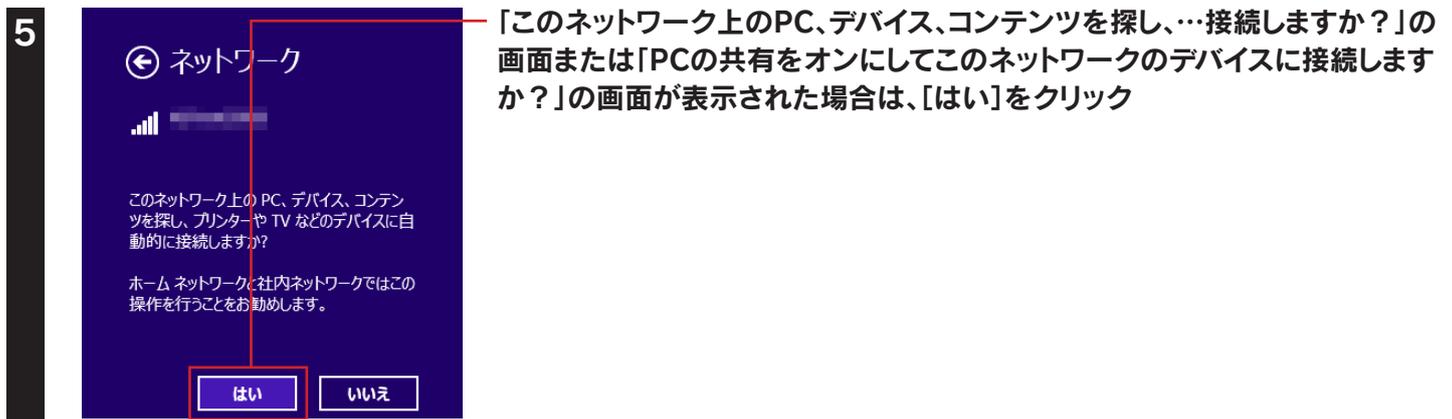
Q & A

「ルーターのボタンを押しても接続できます」のメッセージが表示されない場合

本製品添付の「無線LAN設定情報カード」に記載している暗号キー（13桁）を入力し、[次へ]をクリックしてください。



- ※ 暗号キーは[*] や[●] で表示される場合があります。
- ※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機で合わせる必要があります。

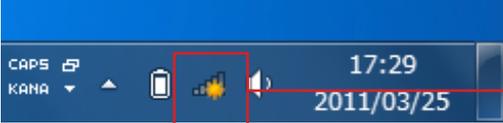


以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」58 ページへお進みください。

Windows 7の場合

ヒント パソコンに内蔵の無線LAN用のスイッチがある場合は、スイッチをオンにしてください

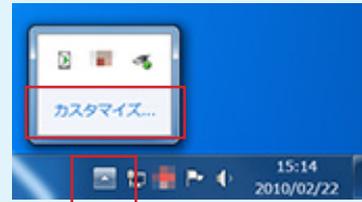


1  画面右下のタスクトレイある[ワイヤレスネットワーク接続アイコン]をクリック

ヒント タスクトレイに「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」が表示されていない場合は、以下の手順でアイコンを表示してください。



- ① タスクトレイにある三角形のアイコンをクリックします。
- ② [カスタマイズ...]をクリックします。
- ③ [タスクバーに全ての通知と設定を表示する]にチェックをつけ、[OK]をクリックします。



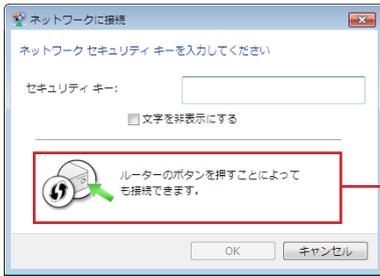
2  ① SSID1またはSSID2を選択

2.4GHzの場合	AirPortxxxxx
5GHzの場合	Streamxxxxx

※ “xxxxx” は機器により異なります。
 ※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

② [接続]をクリック

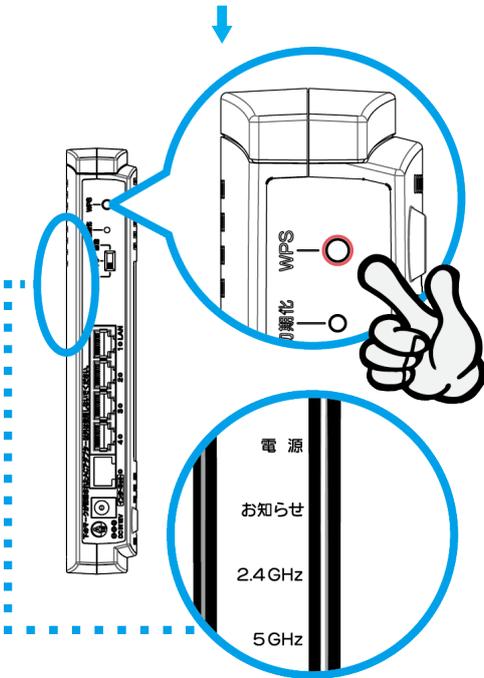
3



① 「ルーターのボタンを押すことによっても接続できます。」のメッセージを確認

② 本製品のWPSボタンを長押し

2.4GHzの場合	約3秒間
5GHzの場合	約6秒間



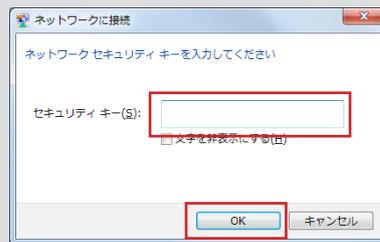
③ 該当のランプが点滅したら離す

⇒しばらくお待ちください。
設定が完了すると自動的に画面が消えます。

Q & A

設定が完了しない場合、または「ルーターのボタンを押すことによっても接続できます。」のメッセージが表示されない場合

[セキュリティキー]に本製品添付の「無線LAN設定情報カード」に記載の[暗号キー](13桁)を入力し、[OK]をクリックしてください。



※ 暗号キーは[*] や [●] で表示される場合があります。
※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機で合わせる必要があります。

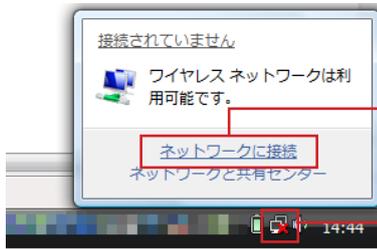
手順3の画面が消えたら、以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」58 ページへお進みください。

Windows Vistaの場合

ヒント パソコンに内蔵の無線LAN用のスイッチがある場合は、スイッチをオンにしてください

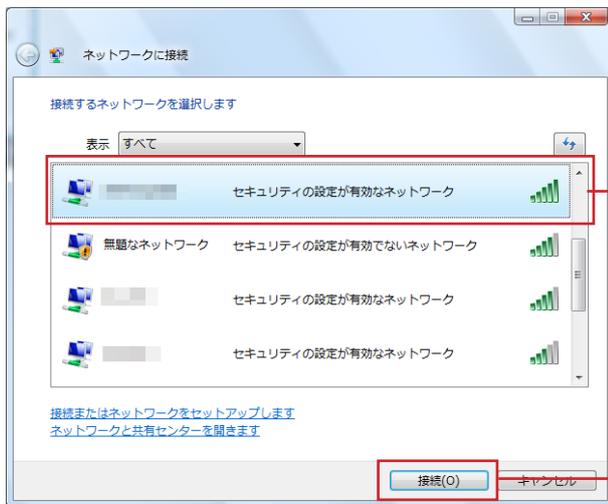


1 ② [ネットワークに接続]をクリック



① 画面右下のタスクトレイにある
[ワイヤレスネットワーク接続アイコン]  をクリック

2 ① SSID1またはSSID2を選択

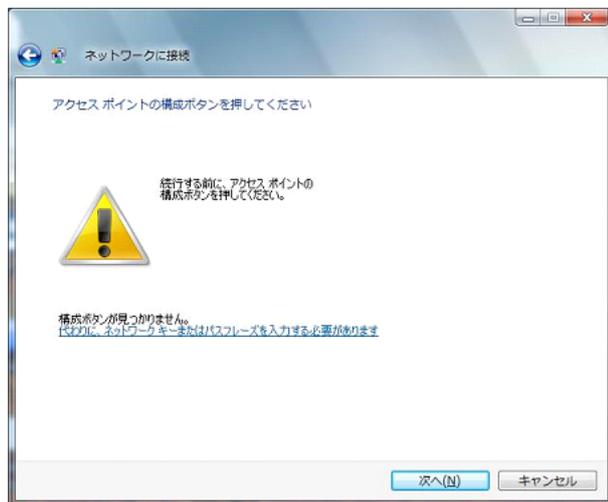


2.4GHzの場合	AirPortxxxxx
5GHzの場合	Streamxxxxx

※ “xxxxx” は機器により異なります。
※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

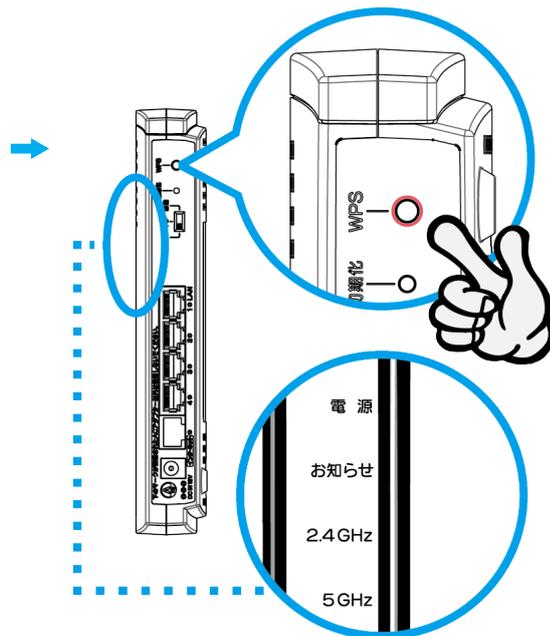
② [接続]をクリック

3 ① 以下の画面が表示されたことを確認



② 本製品のWPSボタンを長押し

2.4GHzの場合	約3秒間
5GHzの場合	約6秒間



③ 該当のランプが点滅したら離す

⇒しばらくお待ちください。

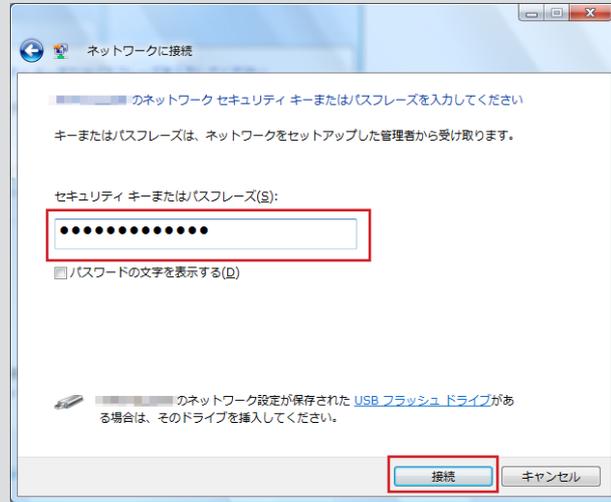
設定が完了すると自動的に画面が消えます。

Q & A

設定が完了しない場合、または無線LAN子機がWPSに対応していない場合

[セキュリティキー]に本製品添付の「無線LAN設定情報カード」に記載の[暗号キー](13桁)を入力し、[接続]をクリックしてください。

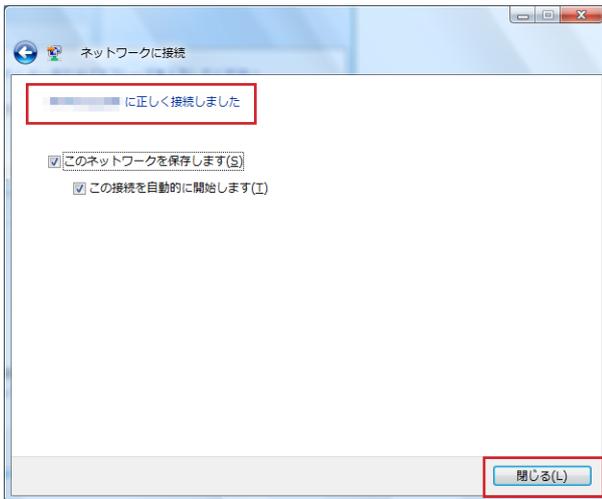
※ 設定が完了しない場合は、[代わりに、ネットワークキーまたは...]をクリックすると以下の画面が表示されます。



- ※ 暗号キーは [*] や [●] で表示される場合があります。
- ※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機で合わせる必要があります。

4

[正常に接続しました]を表示されたら、[閉じる]をクリック



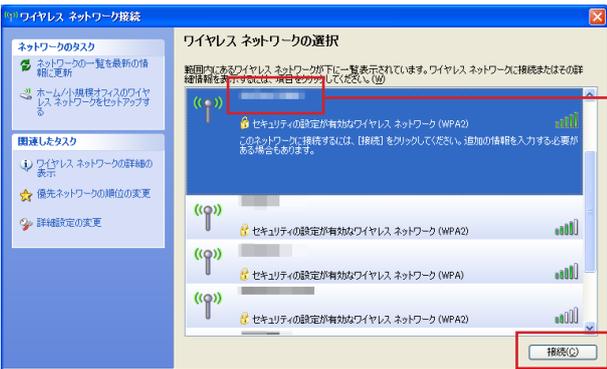
手順4の画面が消えたら、以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」58 ページへお進みください。

Windows XPの場合

ヒント パソコンに内蔵の無線LAN用のスイッチがある場合は、スイッチをオンにしてください



1  画面右下のタスクトレイにある[ワイヤレスネットワーク接続アイコン]をクリック

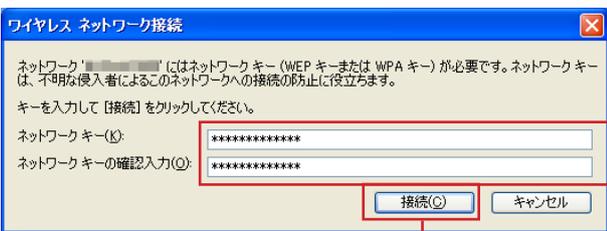
2  ① **SSID1またはSSID2を選択**

2.4GHzの場合	AirPortxxxxx
5GHzの場合	Streamxxxxx

※ “xxxxx” は機器により異なります。
 ※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

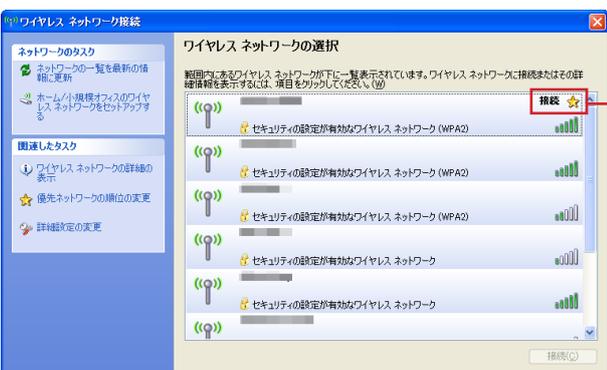
② **[接続]をクリック**

Q & A 「このワイヤレス接続を構成できません」と表示された場合
 弊社製無線LAN設定ユーティリティ「クイックコネクトNEO」等や、パソコンメーカー側で独自の無線LANユーティリティがインストールされている可能性があります。この場合はユーティリティを削除してから、再度お試しください。

3  ① **[ネットワークキー]と[ネットワークキーの確認入力]欄に本製品の[暗号キー](13桁)を入力**

※ 暗号キーは、本製品背面のシールに記載しています。
 ※ 暗号キーは [*] や [●] で表示される場合があります。
 ※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機とあわせる必要があります。

② **[接続]をクリック**

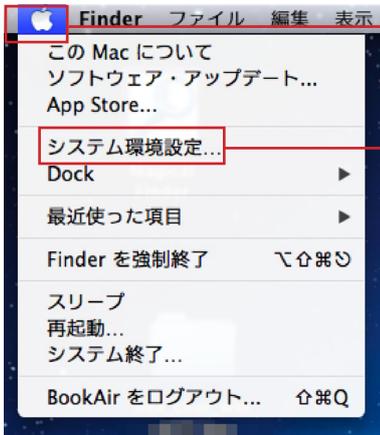
4  手順2で選択したSSIDに**[接続☆]**と表示されていることを確認

以上で無線LANの接続設定は完了です。
 次に「Step3 インターネットに接続する」58 ページへお進みください。

Mac OSの場合

※ 画面例: Mac OS 10.9

1 ① 画面左上のアップルメニューをクリック



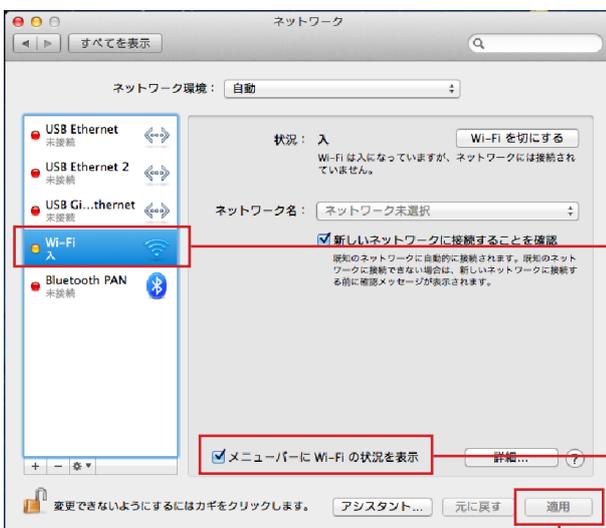
② [システム環境設定]をクリック

※ Dockの「システム環境設定」をクリックし、起動することもできます。

2 [ネットワーク]をクリック



3 ① 画面左側の[WLAN]をクリック



② 「メニューバーにWi-Fiの状況を表示」にチェック

③ [適用]をクリック

4



① メニューバーに表示されているWi-Fiアイコンをクリック

② SSID1またはSSID2を選択

2.4GHzの場合	AirPortxxxxx
5GHzの場合	Streamxxxxx

※ “xxxxx” は機器により異なります。

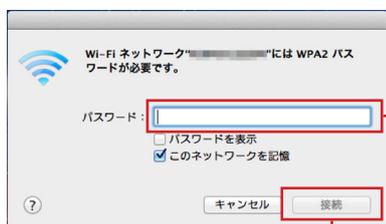
※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

Q
&
A

アイコンが [切] の状態になっている場合

[Wi-Fiを入にする] を選び、有効にします。

5



① 本製品の[暗号キー](13桁)を入力

※ 暗号キーは、本製品背面のシールに記載しています。

※ 暗号キーは [*] や [●] で表示される場合があります。

※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機で合わせる必要があります。

② [OK]をクリック

以上で無線LANの接続設定は完了です。

次に「Step3 インターネットに接続する」58 ページへお進みください。

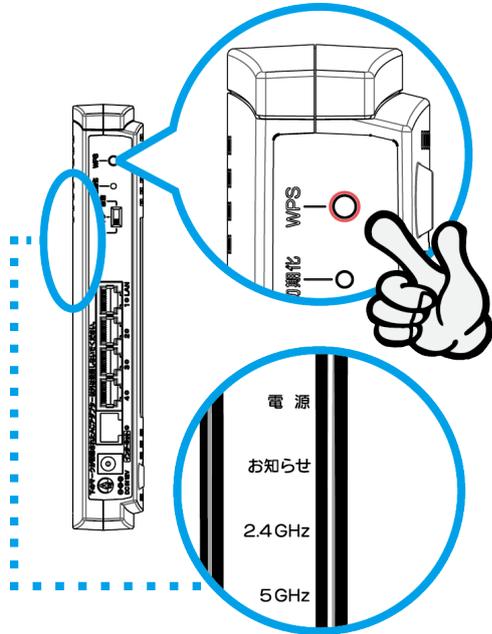
外付けの無線LAN子機を接続する場合

弊社製無線LAN子機の場合（WPS接続の場合）

1 無線LAN子機のドライバやユーティリティソフトをインストールします。

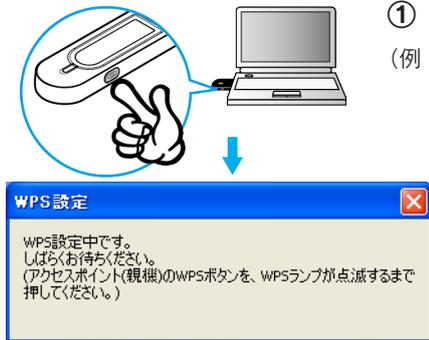
※ 詳しくは無線LAN子機の取扱説明書をご覧ください。

2 本製品のWPSボタンを長押し

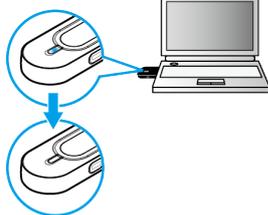


2.4GHzの場合	約3秒間
5GHzの場合	約6秒間

3 ① 「WPS設定中です」の画面が表示されるまで子機のWPSボタンを押す
(例：弊社製 WN-AG300U の場合)



② WPSボタンから手を離し、子機のWPSランプが消えるまで待つ



手順3の画面が消えたら、以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」58 ページへお進みください。

Q & A WPSボタンで接続ができない場合

パソコン内蔵の無線LAN子機に接続する場合と同じ手順でお試してください。

- ▶ Windows 8の場合 14 ページ
- ▶ Windows 7の場合 17 ページ
- ▶ Windows Vistaの場合 19 ページ
- ▶ Windows XPの場合 21 ページ
- ▶ Mac OS Xの場合 22 ページ

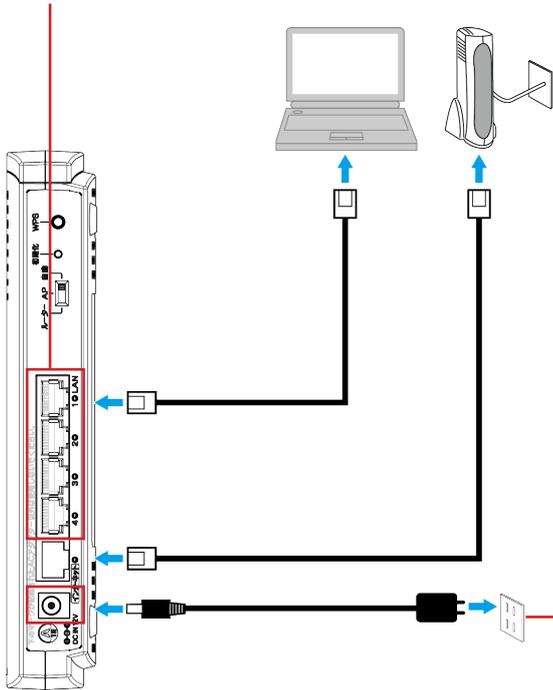
他社製またはWPS非対応無線LAN子機の場合

- 1 無線LAN子機のドライバやユーティリティソフトをインストールします。**
※詳しくは無線LAN子機の取扱説明書をご覧ください。
- 2 本製品への無線LAN接続設定をします。**
※詳しくは無線LAN子機の取扱説明書をご覧ください。
本製品のSSIDと暗号キーの出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

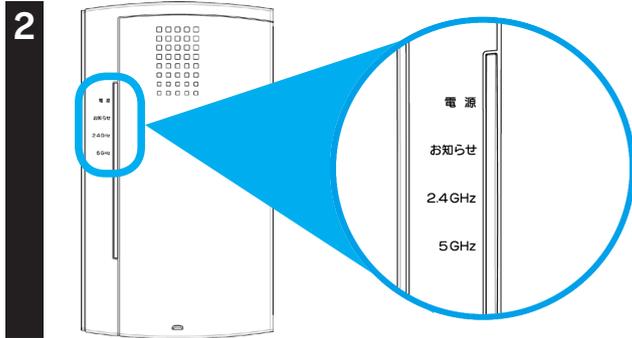
以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「[Step3 インターネットに接続する](#)」58ページへお進みください。

有線LAN接続する場合

1 ① LANケーブルを、本製品のLANポート(1~4)のいずれかと、パソコンのLANポートにつなぐ



② 添付のACアダプターを本製品のDC INと電源コンセントに接続



ランプが以下のようにになっていることを確認

ランプ	状態
電源	点灯
2.4GHz	点灯*
5GHz	点灯*

※ 点滅することがありますが、問題ありません。

以上で、接続は完了です。

スマートフォン/タブレットを接続する場合

簡単設定アプリ「QRコネクト」で接続する場合（初心者向け）

簡単設定アプリ『QRコネクト』（無料）をインストールし、設定します。

iPhone/iPad/iPod touchの場合

ヒント

【動作環境】 iOS 4.0以降かつカメラ付きモデル



1 [AppStore]を開く

2 [QRコネクト]を検索し、インストール
⇒画面の指示にしたがってインストール

Q
&
A

AppStoreに接続できない場合

「設定メニューで接続する場合」の「iPhone/iPad/iPod touchの場合」33 ページの手順で接続してください。

3 ホーム画面に戻り、インストールした[QRコネクト]アイコンをタップ



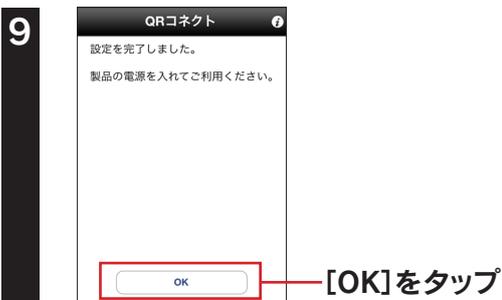
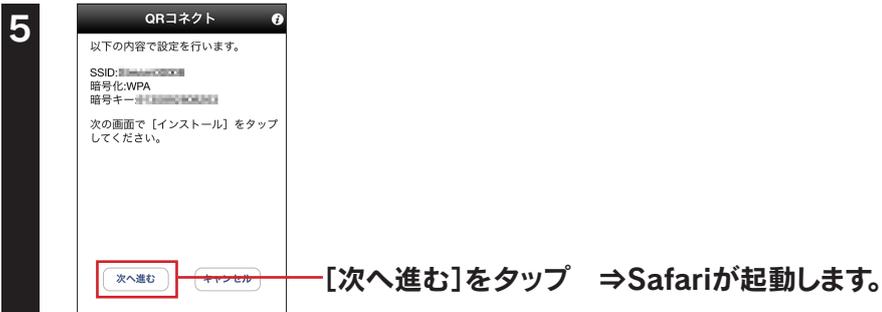
4 ① [読み取り開始]をタップ



② 添付の「無線LAN設定情報カード」に記載のQRコードを読み取り範囲内にかざす

▽ 2.4GHz の場合 ▽ 5GHz の場合





以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「Step3 インターネットに接続する」58 ページへお進みください。

Androidの場合

ヒント

【動作環境】

Android 2.2以降（オートフォーカス機能のあるカメラを搭載した端末推奨）



1 Playストア(Google Play)またはAndroidマーケットを開く

2 [QRコネクト]を検索し、インストール
⇒画面の指示にしたがってインストール

Q & A

Playストア（Google Play）またはAndroidマーケットに接続できない場合

「設定メニューで接続する場合」の「Androidの場合（アクセスポイントを検索して接続する場合）」36 ページの手順で接続してください。

3 ホーム画面に戻り、インストールした[QRコネクト]アイコンをタップ



4 ① [読み取り開始]をタップ



② 添付の「無線LAN設定情報カード」に記載のQRコードを読み取り範囲内にかざす

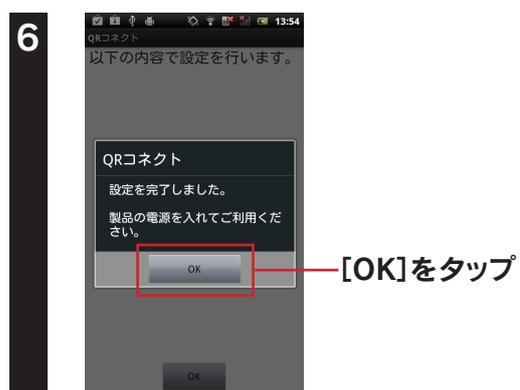


5 以下の内容で設定を行います。

SSID : AirPortxxxxx

[OK]をタップ





以上で無線LANの接続設定は完了です。
次に「[Step3 インターネットに接続する](#)」58 ページへお進みください。

NFCアプリ「NFCコネクト」で接続する場合（初心者向け）

※ 「NFC コネクト」 を利用すると 2.4GHz 帯で接続します。

5GHz 帯で接続する場合は、以下のいずれかの手順で接続してください。

- ・「簡単設定アプリ「QR コネクト」で接続する場合」 - 「Android の場合」 29 ページ
- ・「設定メニューで接続する場合」 - 「Android の場合 (WPS 接続の場合)」 34 ページ
- ・「設定メニューで接続する場合」 - 「Android の場合 (アクセスポイントを検索して接続する場合)」 36 ページ

ヒント

【動作環境】

対応機種：NFC機能搭載Android端末

対応OS：Android 4.1～4.2

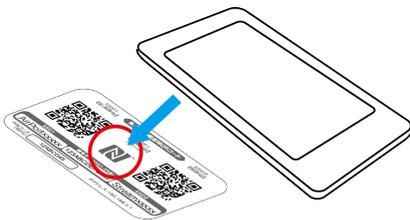


1 Playストア(Google Play)を開く

2 [NFCコネクト]を検索し、インストール ⇒画面の指示にしたがってインストール



3 Android端末を添付の「無線LAN設定情報カード」のNマークにかざす



Q & A

アプリの選択画面が表示された場合

「NFCコネクト」の他にもNFCアプリがインストールされている場合、アプリの選択画面が表示されます。
「NFCコネクト」をタップしてください。

4



画面に表示された無線LANの設定を確認し、[OK]をタップ

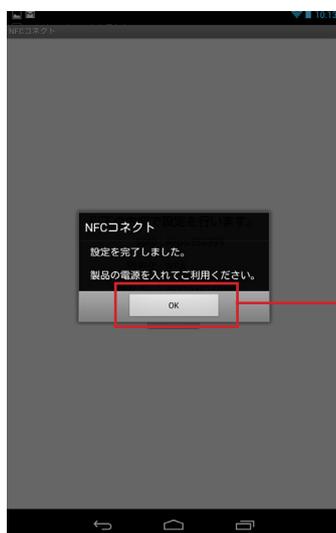
Q
&A

上記画面が表示されない場合

- Android端末に付けているケースを外し、添付の「無線LAN設定情報カード」にかざしてみてください。
- Android端末を添付の「無線LAN設定情報カード」にゆっくりと動かしながらかざしてみてください。
- メインメニューから「NFCコネクト」アイコンをタップして起動してから、Android端末にかざしてください。
- Android端末のNFC機能が有効になっているか確認してください。

(確認方法についてはAndroid端末の取扱説明書参照)

5



[OK]をタップ

以上で無線LANの接続設定は完了です。

次に「Step3 インターネットに接続する」58 ページへお進みください。

Q
&A

Playストア (Google Play) に接続できない場合、またはNFCコネクトで本製品と接続できない場合
「Androidの場合 (アクセスポイントを検索して接続する場合)」36 ページの手順で接続してください。

設定メニューで接続する場合

iPhone/iPad/iPod touchの場合

- 1**



ホーム画面から[設定]をタップ
- 2**



[Wi-Fi]をタップ
- 3**



① [Wi-Fi]が[オフ]になっている場合は、[オン]にする

② SSID1またはSSID2を選択

2.4GHzの場合	AirPortxxxxx
5GHzの場合	Streamxxxxx

※ “xxxxx” は機器により異なります。
 ※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。
- 4**



① 本製品の暗号キー（13桁）を入力

※ 暗号キーは、本製品背面のシールに記載しています。
 ※ 暗号キーは [*] や [●] で表示される場合があります。
 ※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機で合わせる必要があります。

② [JOIN]をタップ
- 5**



本製品のSSIDにチェックがついていることを確認

以上で無線LANの接続設定は完了です。
 次に「Step3 インターネットに接続する」58 ページへお進みください。

Androidの場合（WPS接続の場合）

※ 以下は例です。ご利用のAndroid端末により画面は異なります。

1 ホーム画面から[MENU]→[無線ネットワーク]→[Wi-Fi設定]の順にタップ



2 [Wi-Fi]にチェック



3 [WPSボタン接続]をタップ



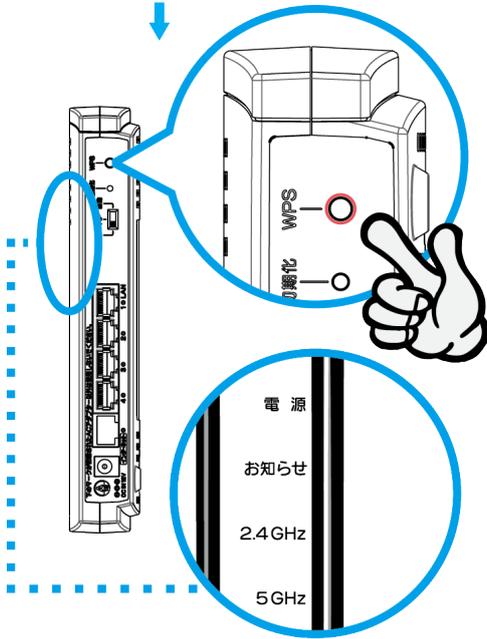
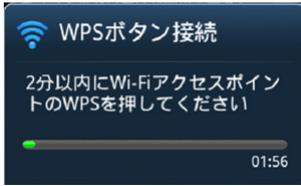
ヒント

画面はご利用のAndroid端末により異なります

[WPSボタン接続]ではなく、[Wi-Fiカンタン登録]という項目になっている機種もあります。
その場合、[Wi-Fiカンタン登録]をタップした後、[WPS方式]をタップします。



4 ①以下の画面が表示されたことを確認



② 本製品のWPSボタンを長押し

2.4GHzの場合	約3秒間
5GHzの場合	約6秒間

③ 該当のランプが点滅したら離す

⇒しばらくお待ちください。

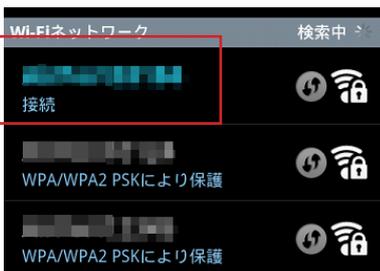
設定が完了すると自動的に画面が消えます。

Q & A

設定が完了しない場合

しばらく待っても画面が消えない場合は、「Androidの場合（アクセスポイントを検索して接続する場合）」36 ページの手順で接続してください。

5 本製品のSSIDの下に「接続」の文字が表示されていることを確認



※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

以上で無線LANの接続設定は完了です。

次に「Step3 インターネットに接続する」58 ページへお進みください。

Androidの場合（アクセスポイントを検索して接続する場合）

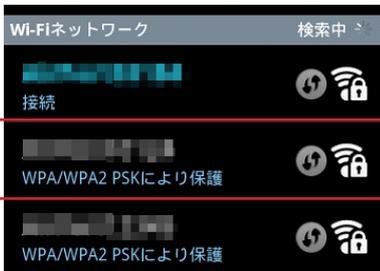
1 ホーム画面から[MENU]→[無線ネットワーク]→[Wi-Fi設定]の順にタップ



2 [Wi-Fi]にチェック



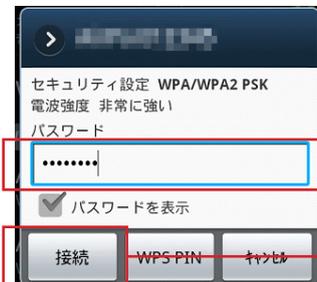
3 SSID1またはSSID2を選択



2.4GHzの場合	AirPortxxxxx
5GHzの場合	Streamxxxxx

※ "xxxxx" は機器により異なります。
 ※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

4 ① 本製品の[暗号キー](13桁)を入力



② [接続]をタップ

※ 暗号キーは、本製品背面のシールに記載しています。
 ※ 暗号キーは [*] や [●] で表示される場合があります。
 ※ 暗号キー、暗号化方式などの設定を親機と子機で合わせる必要があります。

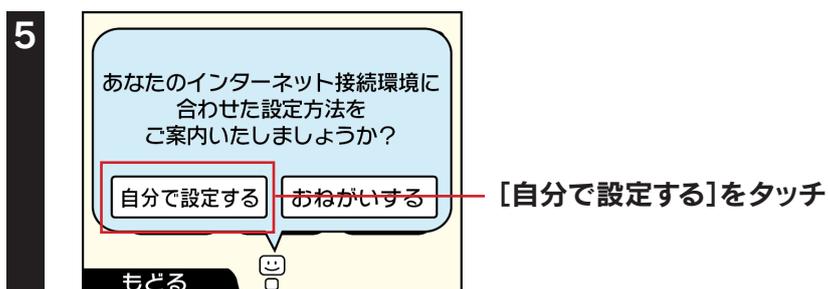
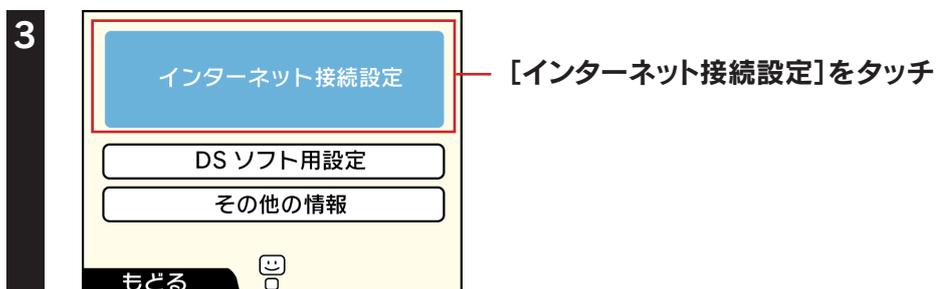
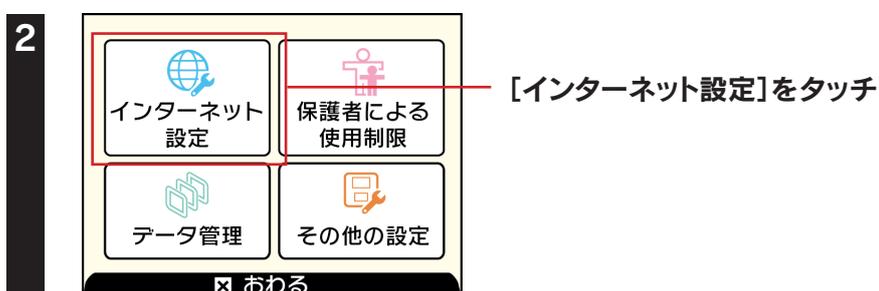
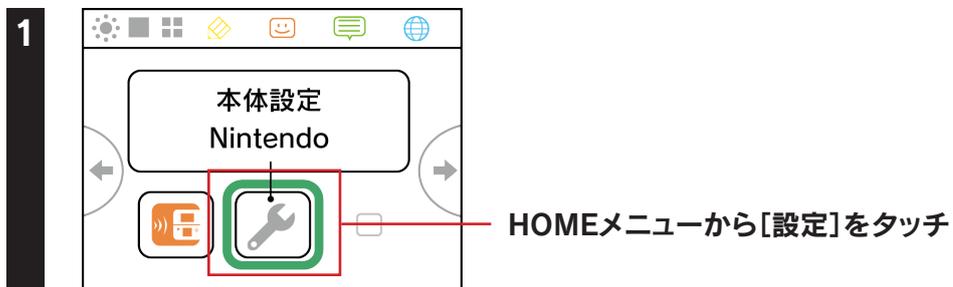
5 本製品のSSIDの下に「接続」の文字が表示されていることを確認

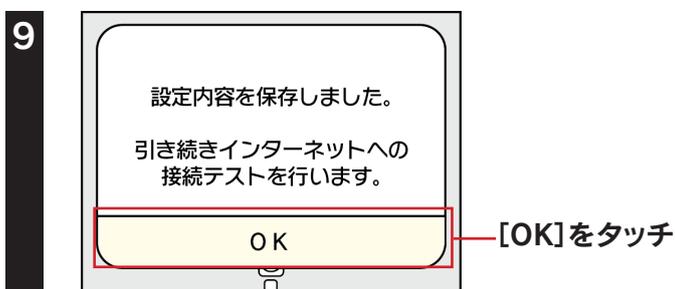
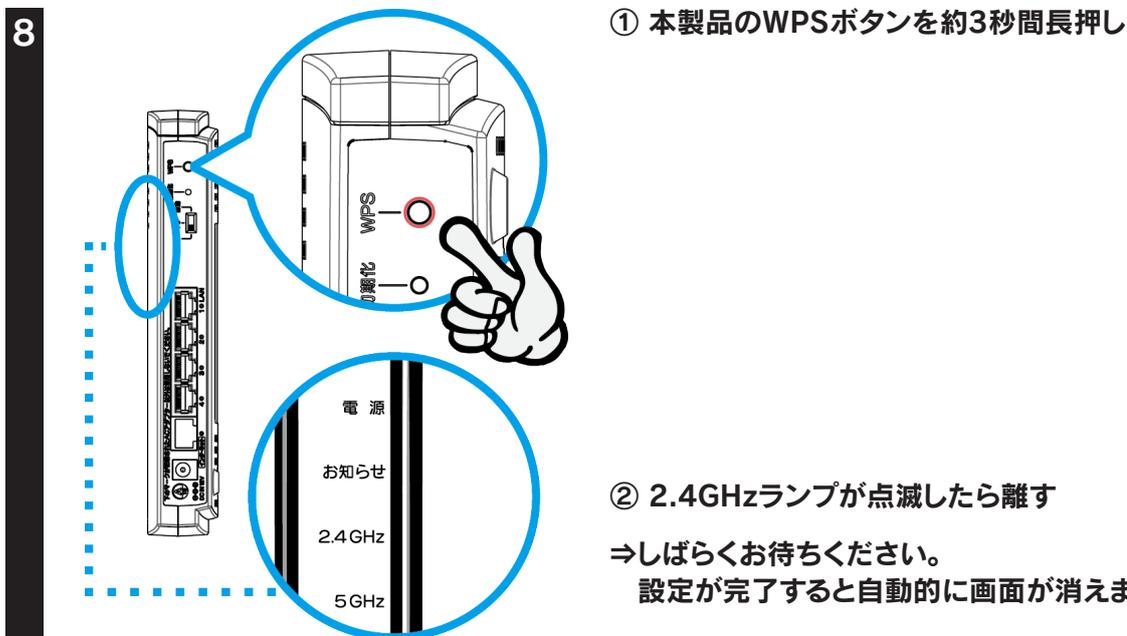
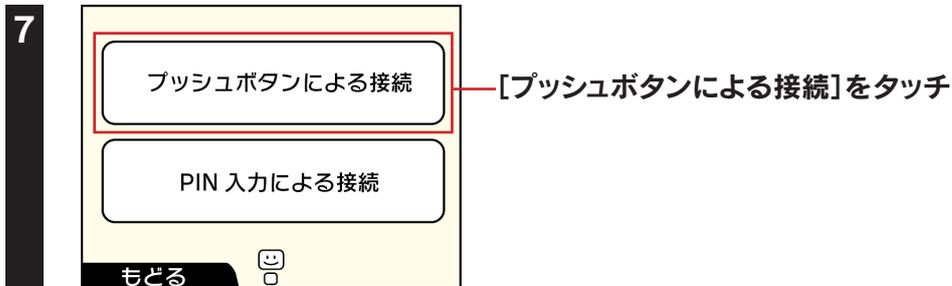
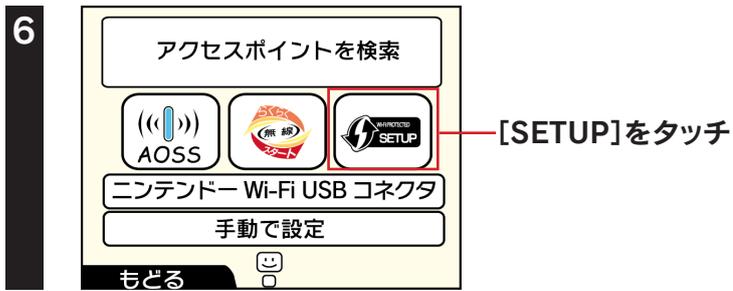


以上で無線LANの接続設定は完了です。
 次に「Step3 インターネットに接続する」58 ページへお進みください。

ゲーム機を接続する場合

ニンテンドー3DSの場合





インターネットへの接続テストが始まります。接続テストに成功したら設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

接続できない場合（アクセスポイントを検索して設定する方法）

以下の手順で接続してください。

- ① 37 ページ手順1～5の操作をします。
- ② [アクセスポイントを検索] をタッチします。



- ③ [AirPortxxxxx] をタッチします。
 ※ "xxxxxx" は機器により異なります。
 ※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。



- ④ 暗号キーを入力する画面が表示されます。
 本製品背面のシールに記載の暗号キー（13桁）を入力し、
 [決定]ボタンをタッチします。



- ⑤ [OK] をタッチします。
- ⑥ [OK] をタッチします。
 インターネットへの接続テストが始まります。
 接続テストに成功したら設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

ニンテンドーDSiの場合（WPS接続の場合）

1



本体設定 1 2 3 4

ペアレンタルコントロール

タッチスクリーン

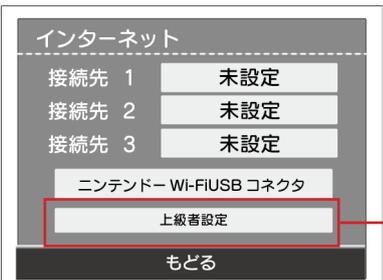
マイクテスト

インターネット

DSiメニューへ

[はじめる] (本体設定)から [インターネット] をタッチ

2



インターネット

接続先 1 未設定

接続先 2 未設定

接続先 3 未設定

ニンテンドーWi-FiUSBコネクタ

上級者設定

もどる

[上級者設定]をタッチ

3



インターネット

接続先 4 未設定

接続先 5 未設定

接続先 6 未設定

もどる

接続先4～6の中から「未設定」の一つをタッチ

4



接続先 4

アクセスポイントを検索

AOSS

無線カード

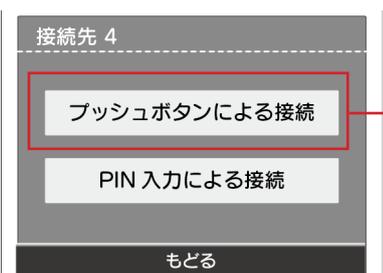
SETUP

手動で設定

もどる

[SETUP]をタッチ

5



接続先 4

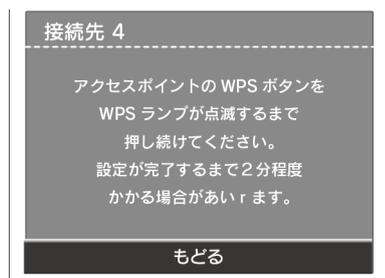
プッシュボタンによる接続

PIN入力による接続

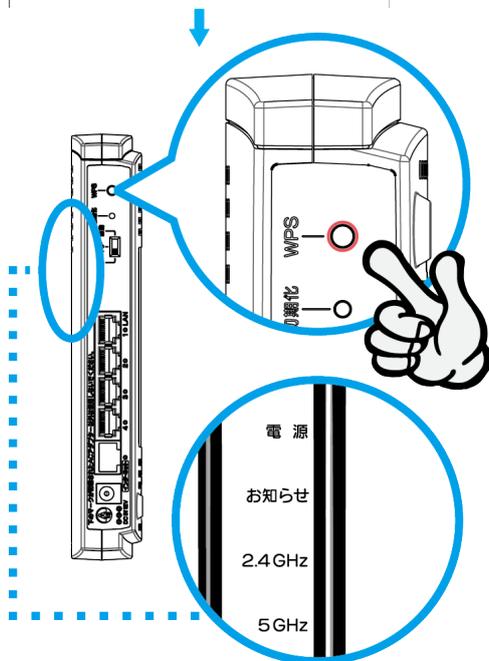
もどる

[プッシュボタンによる接続]をタッチ

6 ① 以下の画面が表示されたことを確認



② 本製品のWPSボタンを約3秒間長押し

③ 2.4GHzランプが点滅したら離す
⇒しばらくお待ちください。
設定が完了すると自動的に画面が消えます。

7 「WPSの設定が完了しました。接続テストを開始します。」と表示されたら、[OK]をタッチ



インターネットへの接続テストが始まります。接続テストに成功したら設定は終了です。
インターネットをお楽しみください。

ニンテンドーDSiの場合（アクセスポイントを検索して設定）

1 設定画面を開く（「設定画面の開き方」65 ページ参照）

2

① [無線設定]をクリック

② [暗号化]タブをクリック

③ [Guestxxxxx]を選択
※“xxxxx”は機器により異なります。

④ [WEP]を選択

⑤ [暗号化キー]をメモする

⑥ クリック

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

3

[はじめる] (本体設定)から [インターネット] をタッチ

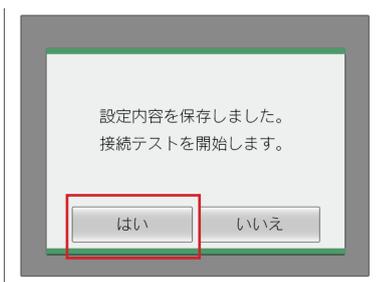
4

接続先 1～3の中から「未設定」の一つをタッチ



7 手順2でメモした暗号キー(13桁)を入力し、[決定]をタッチ

8 「設定内容をセーブしました。接続テストを開始します。」と表示されたら、[はい]をタッチ



インターネットへの接続テストが始まります。接続テストに成功したら設定は終了です。
インターネットをお楽しみください。

ニンテンドーDS Lite/ニンテンドーDSの場合

1 設定画面を開く(「設定画面の開き方」65 ページ参照)

2 ① [無線設定]をクリック

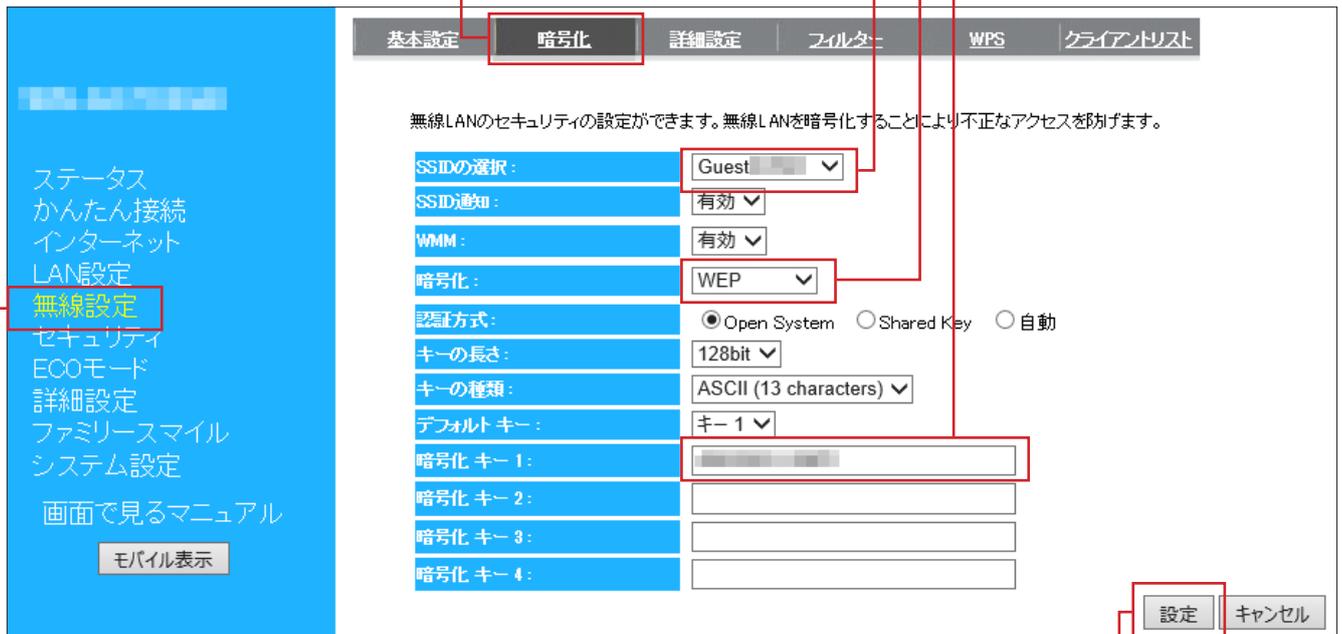
② [暗号化]タブをクリック

③ [Guestxxxxx]を選択

※“xxxxx”は機器により異なります。

④ [WEP]を選択

⑤ [暗号化キー]をメモする



⑥ クリック

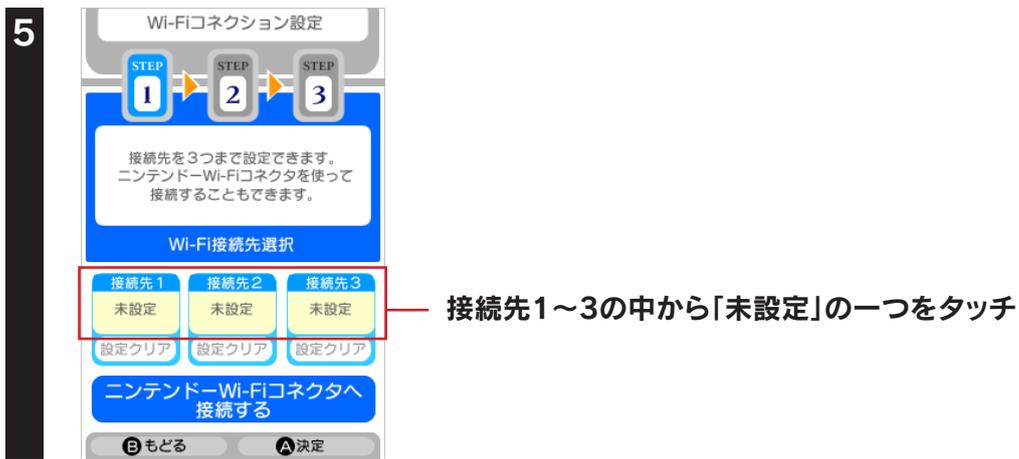
⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

3 ニンテンドーWi-Fiコネクション対応のソフトを起動し、Wi-Fiコネクション設定画面を起動

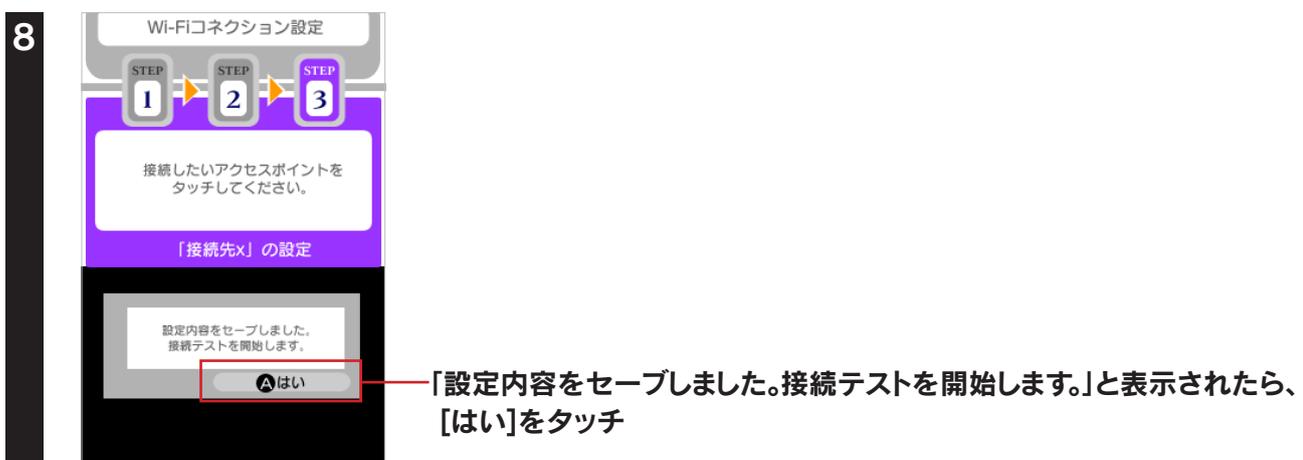
※ 詳しくは、各ソフトの取扱説明書をご覧ください。



[Wi-Fi接続先設定]をタッチ



7 手順2でメモした暗号キー(13桁)を入力し、「決定」をタッチ



インターネットへの接続テストが始まります。接続テストに成功したら設定は終了です。
インターネットをお楽しみください。

Wiiの場合

- 1**



画面左下のWiiアイコンにカーソルを合わせ、[A]ボタンを押す
- 2**



[Wii本体設定]にカーソルを合わせ、[A]ボタンを押す
- 3**



画面中央右の矢印にカーソルを合わせ、[A]ボタンを押す
- 4**



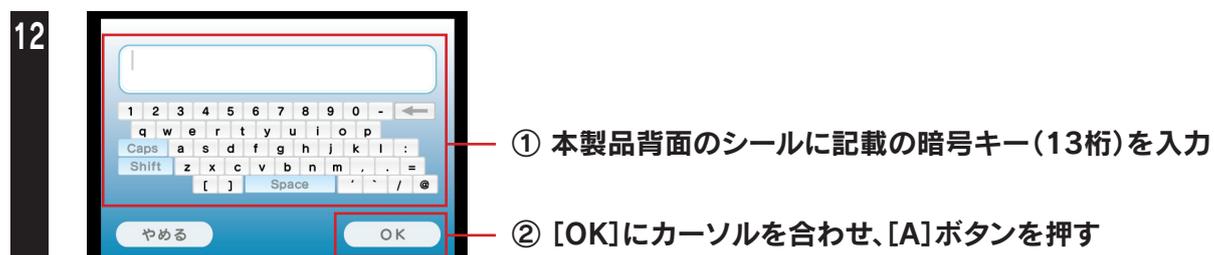
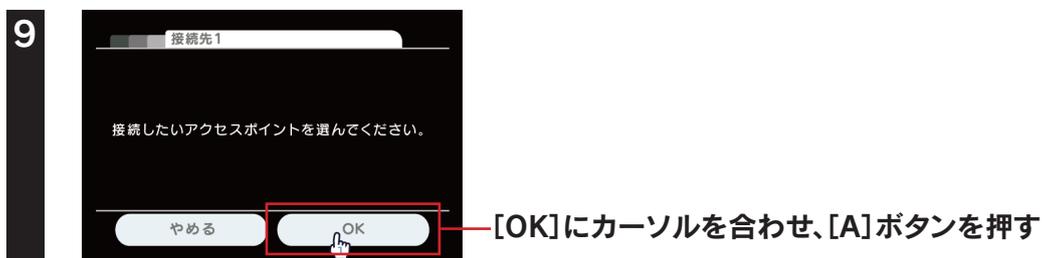
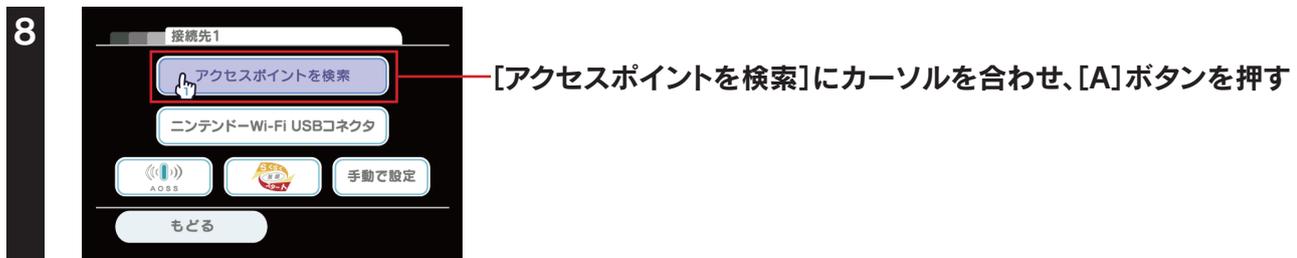
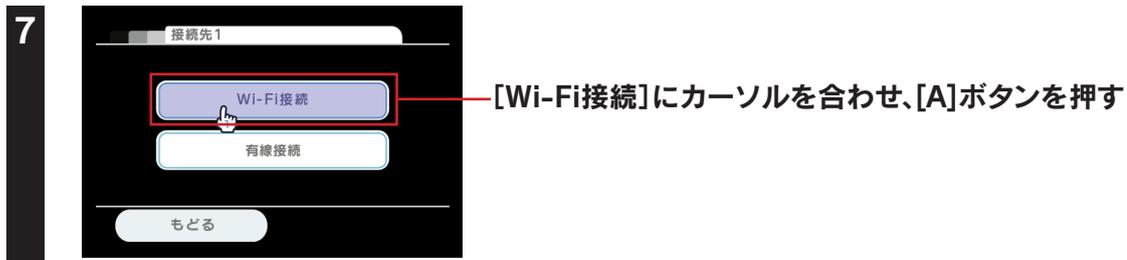
[インターネット]にカーソルを合わせ、[A]ボタンを押す
- 5**



[接続設定]にカーソルを合わせ、[A]ボタンを押す
- 6**



接続先1～3の中で「未設定」の一つにカーソルを合わせ、[A]ボタンを押す

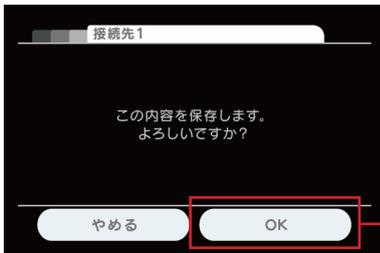


13



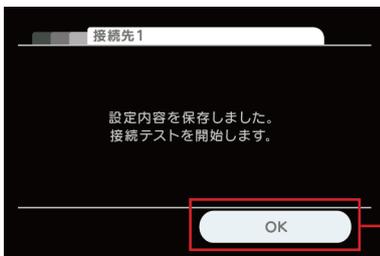
「[OK]にカーソルを合わせ、[A]ボタンを押す」

14



「この内容で保存します。よろしいですか?」と表示されたら、[OK]にカーソルを合わせ、[A]ボタンを押す

15

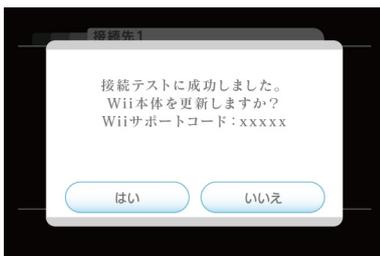


「設定内容を保存しました。接続テストを開始します。」と表示されたら、[OK]にカーソルを合わせ、[A]ボタンを押す

16

正常に通信できた場合は、「接続テストに成功しました。Wii本体を更新しますか?」と表示されます。

- ▶ 今すぐWii本体の更新をおこなう場合は[はい]にカーソルを合わせ、[A]ボタンを押す
- ▶ 更新せず、設定を完了する場合は、[いいえ]にカーソルを合わせ、[A]ボタンを押す



※ 通常、[いいえ] で問題ありません。

以上で、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

PS Vitaの場合

1 ① ホームメニューの画面をフリックして下にスクロール



② [設定]をタップ

2 [はじめる]をタップ



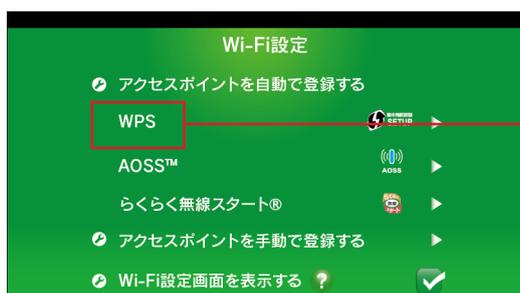
3 [ネットワーク]をタップ



4 [Wi-Fi設定]をタップ



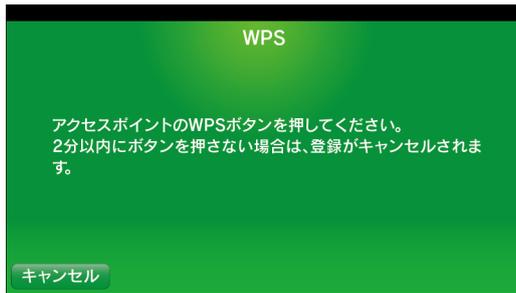
5 ① 画面をフリックして下にスクロール



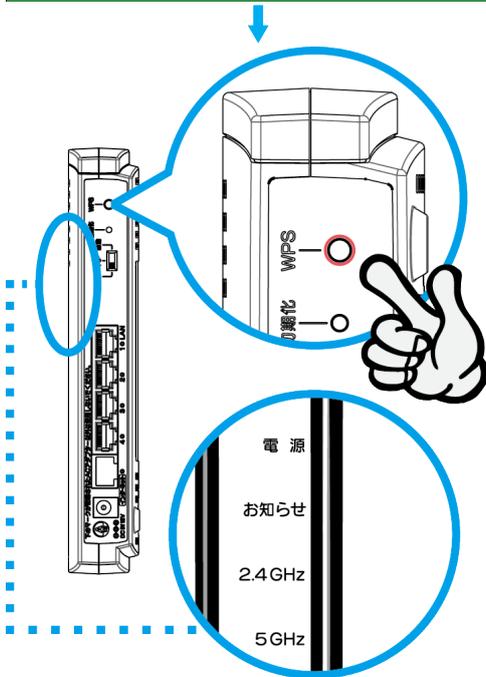
② [アクセスポイントを自動で登録する]の中の [WPS]をタップ

6

① 以下の画面が表示されたことを確認



② 本製品のWPSボタンを約3秒間長押し



③ 2.4GHzランプが点滅したら離す
⇒しばらくお待ちください。
設定が完了すると自動的に画面が消えます。

7

[OK]をタップ

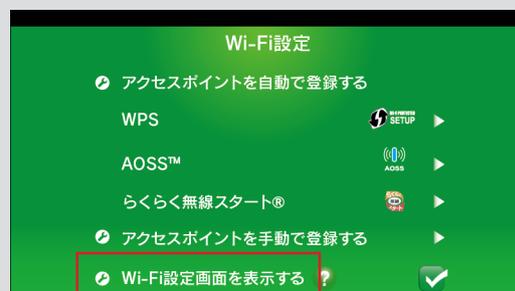
以上で、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

Q
&
A

接続できない場合

以下の手順で接続してください。

- ① 49 ページ手順1～4の操作をします。
- ② [Wi-Fi設定画面を表示する] をタップします。



③ [AirPortxxxxx] をタップします。

※ “xxxxx” は機器により異なります。

※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

④ [パスワード] に本製品背面のシールに記載の暗号キー（13桁）を入力し、[OK] ボタンをタップします。

以上で、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

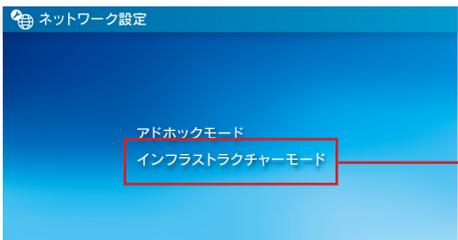
PSPの場合

1



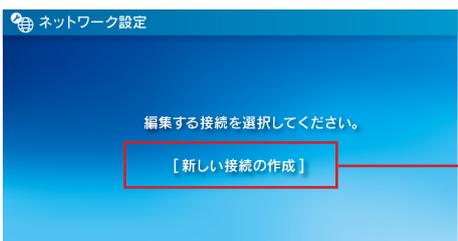
ホームメニューの[設定]から[ネットワーク設定]を選び、○ボタンを押す

2



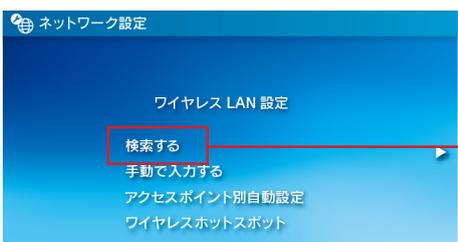
[インフラストラクチャーモード]を選び、○ボタンを押す

3



[新しい接続の作成]を選び、○ボタンを押す

4



[検索する]にカーソルを合わせ、方向キーの右(→)を押して、接続するアクセスポイントを検索

5

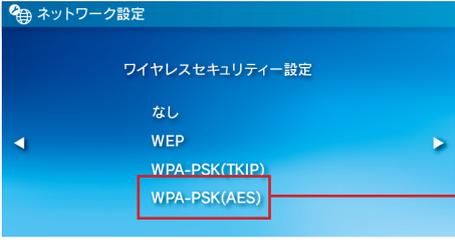


[AirPortxxxxx]を選び、○ボタンを押す

※ “xxxxx” は機器により異なります。
 ※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

6 方向キーの右(→)を押して、次の画面へ進む

7



ワイヤレスセキュリティ設定

なし

WEP

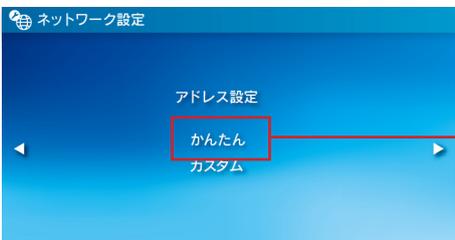
WPA-PSK(TKIP)

WPA-PSK(AES)

[WPA-PSK(AES)]を選択し、方向キーの右(→)を押して、次の画面へ進む

8 本製品裏面に記載の暗号キー(13桁)を入力し、方向キーの右(→)を押して、次の画面へ進む

9



ネットワーク設定

アドレス設定

かんたん

カスタム

[かんたん]を選び、方向キーの右(→)を押して、次の画面へ進む

10



ネットワーク設定

機種名を入力してください

接続名
AirPortxxxx

ネットワーク接続の名前を入力し、方向キーの右(→)を押して、次の画面へ進む

11



ネットワーク設定

設定一覧

機種名 XXXXX

SSID AirPortxxxx

セキュリティ WPA-PSK(AES)

IP アドレス XXXXXXXXXX

[設定一覧]で、設定内容を確認し、方向キーの右(→)を押して、次の画面へ進む

12 ○ボタンを押して、設定を保存

13 [接続テストをする]を選び、○ボタンを押す

接続テストに成功したら、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

PS3の場合

1 ホームメニューの[設定]から[ネットワーク設定]を選び、○ボタンを押す



[インターネット接続設定]を選び、○ボタンを押す

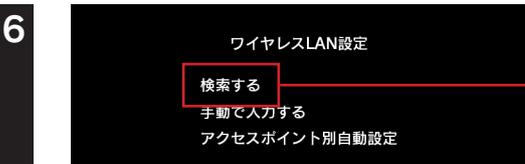
3 「インターネット接続設定を行うと現在の接続が切断されます。よろしいですか？」の画面が表示されたら、[はい]を選び、○ボタンを押す



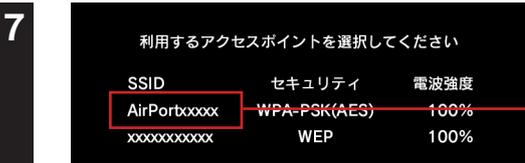
[かんたん]を選び、○ボタンを押す



[無線]を選び、○ボタンを押す



[検索する]を選び、○ボタンを押す

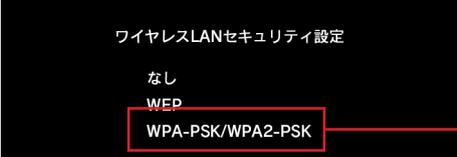


[AirPortxxxxx]を選び、○ボタンを押す

※ “xxxxx” は機器により異なります。
 ※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

8 SSIDの編集画面が表示されますが、何もせずに十字キーの右(→)を押して、次の画面へ進む

9

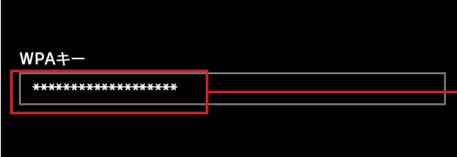


ワイヤレスLANセキュリティ設定

なし
WEP
WPA-PSK/WPA2-PSK

[WPA-PSK/WPA2-PSK]を選び、○ボタンを押す

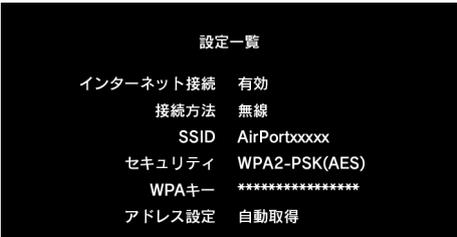
10



WPAキー

本製品背面のシールに記載の暗号キー(13桁)を入力し、十字キーの右(→)を押して、次の画面へ進む

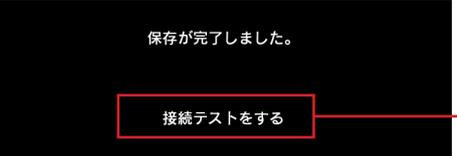
11 設定内容を確認し、○ボタンを押す



設定一覧

インターネット接続	有効
接続方法	無線
SSID	AirPortxxxx
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
WPAキー	*****
アドレス設定	自動取得

12



保存が完了しました。

接続テストをする

○ボタンを押して、接続テストを開始

接続テストに成功したら、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

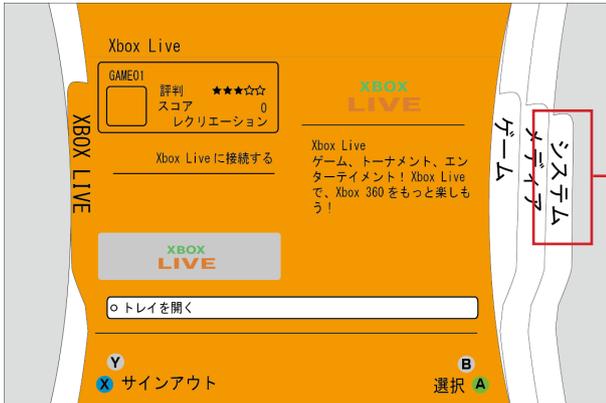
Xbox 360の場合

注意

ご利用になる前に、以下を確認してください

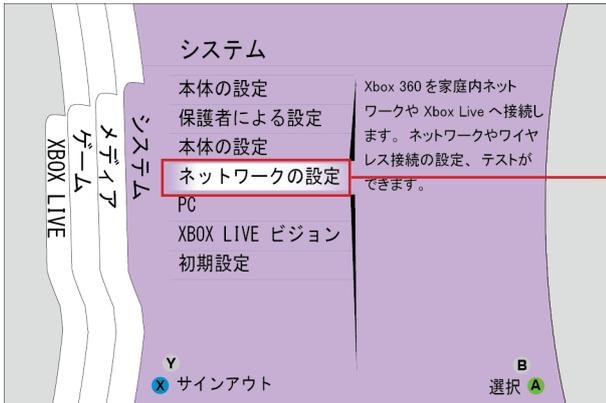
- Xbox 360で無線接続するには、別途Xbox 360ワイヤレスLANアダプターが必要です。
正しく取り付けてあることを確認し、以下の手順にお進みください

1



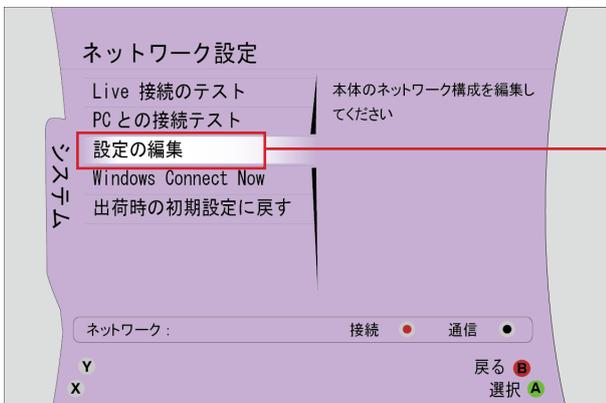
[ダッシュボード]の[システム]を選択

2



[ネットワークの設定]を選び、Aボタンを押す

3



[設定の編集]を選び、Aボタンを押す

4

設定を編集する

基本設定 / 追加設定

IP 設定	自動
IP アドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイ	0.0.0.0
DNS 設定	自動
優先DNSサーバー	0.0.0.0
代替DNSサーバー	0.0.0.0
ワイヤレスモード	設定なし
ネットワーク名 (SSID)	設定なし
ネットワークの種類	設定なし
ワイヤレスセキュリティ	設定なし

ネットワーク: 接続 ● 通信 ●

Y 戻る B
X 選択 A

[ワイヤレスモード]を選び、Aボタンを押す

5

ワイヤレスネットワークを選択

- アクセスポイントA WPA
- アクセスポイントB WEP
- アクセスポイントC WEP
- アクセスポイントD WPA
- アクセスポイントE WEP
- アクセスポイントF WPA

ネットワーク: 接続 ● 通信 ●

Y 戻る B
X 検索を開始する 選択 A

[AirPortxxxxx]を選び、Aボタンを押す

※ "xxxxx" は機器により異なります。
※ SSID の出荷時設定は、本製品背面のシールに記載しています。

6

WPA2 ネットワーク

このネットワークのWPA2/パスフレーズを入力してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をご確認ください。

① 本製品背面のシールに記載の暗号キー(13桁)を入力

② [完了]を選び、Aボタンを押す

Y スペース
X BackSpace

キャンセル B
選択 A

7

ワイヤレスネットワーク

変更された設定を使う

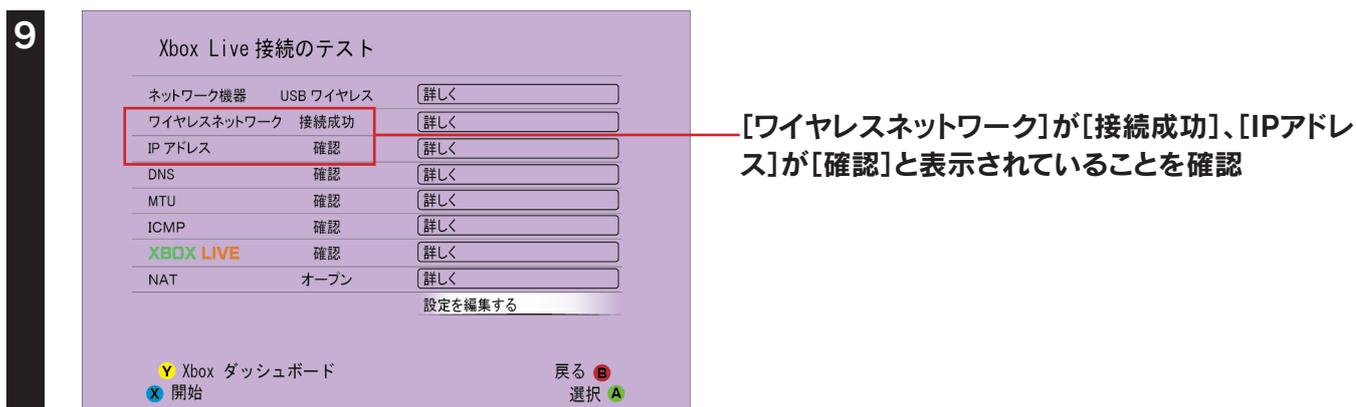
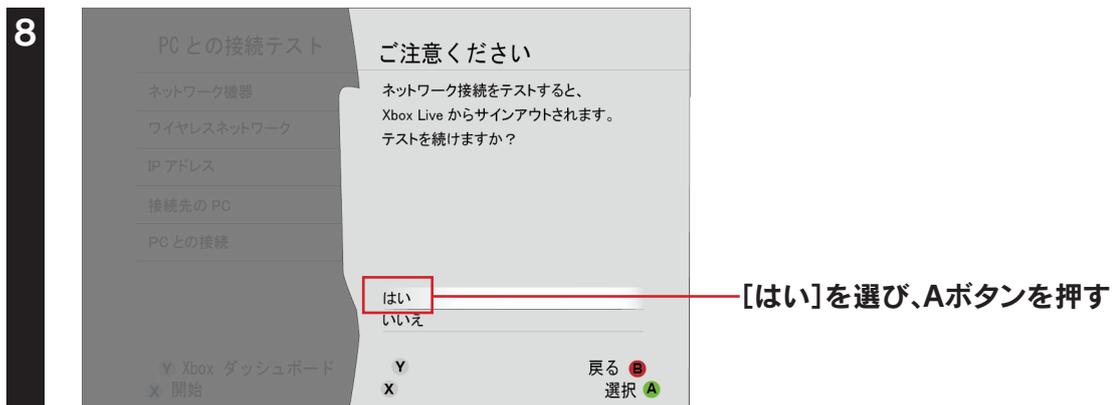
ネットワークの設定が変更されました (PC との接続テスト) を選んで、家庭内ネットワークに接続された PC との接続を設定します。
[Live 接続のテスト] を選んで Xbox Live との接続を設定します。

- PC との接続テスト
- Live 接続のテスト
- キャンセル

ネットワーク: 接続 ● 通信 ●

Y 戻る B
X 検索を開始する 選択 A

[Live接続のテスト]を選び、Aボタンを押す



以上で、設定は終了です。インターネットをお楽しみください。

Step3 インターネットに接続する

1 自動的にWebブラウザ（Internet Explorer等）が起動しなかった場合は、Webブラウザのアイコンをダブルクリックし、起動する

2 ▼ 「インターネットへアクセスできませんでした」と表示された場合

[かんたん接続]を順にクリック



▼ インターネット画面が表示された場合

以上で設定は完了です。
インターネットをお楽しみください。

3 ▼ ユーザーIDと接続パスワードの入力画面が表示された場合

① プロバイダーから案内されている資料をもとに[ユーザーID]と[接続パスワード]を入力

- ※ ユーザーIDはプロバイダーにより「接続ID」、「認証ID」、「ログインID」、「接続ユーザー名」など表示されている場合があります。
- ※ 接続パスワードはプロバイダーにより「認証パスワード」、「ログインパスワード」など表示されている場合があります。
- ※ 特に指定がない個所は空欄（又は初期値）のまま変更する必要はありません。
- ※ NTTフレッツシリーズの場合は、ユーザーIDに@マークから後ろも全て入力します。
- ※ 入力内容が不明な場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

② [完了]をクリック

③ [終了]をクリック

以上で設定は完了です。
インターネットをお楽しみください。

▼ エラーが表示された場合

「インターネット接続ができません。本製品をAPモードに変更してください。」の
エラーが表示された場合

- ① [終了]をクリックします。
- ② 「[APモードに切り替える方法](#)」72 ページを参照し、APモードに変更してください。

「ブリッジモードではインターネット回線の種別を自動的に検出できません。…」の
エラーが表示された場合

- ① [終了]をクリックします。
- ② 「[出荷時設定に戻す方法](#)」88 ページを参照し、本製品を出荷時に戻してから、無線LANの接続設定をやり直してください。

「インターネットポートが未接続か、通信ができない状態になっています。…」の
エラーが表示された場合

- ① [終了]をクリックします。
- ② LANケーブルの接続・接触を再確認してください。
またモデム・ONUの電源が入っているかどうか、確認してください。
- ③ 本製品の設定画面より[インターネット]メニューを開き、ご利用環境にあった設定をおこなってください。
- ④ 上記対処をおこなってもインターネットに接続できない場合は、「[困ったときには](#)」114 ページをご参照ください。

「インターネットに接続できませんでした…」の
エラーが表示された場合

- ① [終了]をクリックします。
- ② LANケーブルの接続・接触を再確認してください。
またモデム・ONUの電源が入っているかどうか、確認してください。
- ③ モデムの電源を30分以上切ってください。
- ④ 本製品の設定画面より[インターネット]メニューを開き、ご利用環境にあった設定をおこなってください。
- ④ 上記対処をおこなってもインターネットに接続できない場合は、「[困ったときには](#)」114 ページをご参照ください。

以上で設定は完了です。
インターネットをお楽しみください。

Step1 Wi-Fi設定を移行する

Wi-Fi設定移行機能とは

既存の無線LANルーターの無線設定情報 (SSIDと暗号キー) を、本製品の [Copy SSID] にコピーする機能です。

そのため既存の無線LANルーターに接続していた端末を再設定する必要がありません。

※ 既存の無線LANルーターの1番目のSSIDをコピーします。(コピーできるSSIDは1つ)

※ 既存の無線LANルーターがWPSに対応している必要があります。

※ Wi-Fi設定移行機能は2.4GHz帯のみ対応です。5GHz帯の無線設定情報はコピーできません。



▼コピーされた [Copy SSID] の設定内容

Copy SSID	既存の無線LANルーターの1番目の「SSID」と同じ内容
暗号キー	既存の無線LANルーターの「暗号キー」と同じ内容
SSID通知	有効
暗号化	WPA-PSK/WPA2-PSK (TKIP/AES)
キーの更新間隔	1800秒

ポイント 以下の機器の場合はWi-Fi設定移行機能で無線LANの接続設定がおこなえません。

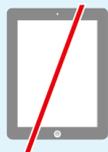


「▼ 初めて無線LANルーターを設置する場合」12 ページからの手順で接続設定をおこなってください。

5GHz 対応
端末^{※1}



初めて使用
する端末



暗号化方式が
WEPの端末^{※2}



1番目以外のSSID
につないでいた端末



既存の無線LAN
ルーターにWPS
ボタンがない



※1 本製品にコピーしたSSIDは2.4GHz帯で動作します。

※2 暗号化を設定していない端末もWi-Fi設定移行機能を利用できません。

Wi-Fi設定を移行する

※ 既存の無線LANルーターの操作については、既存の無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。

1 既存の無線LANルーターの電源をオンにする

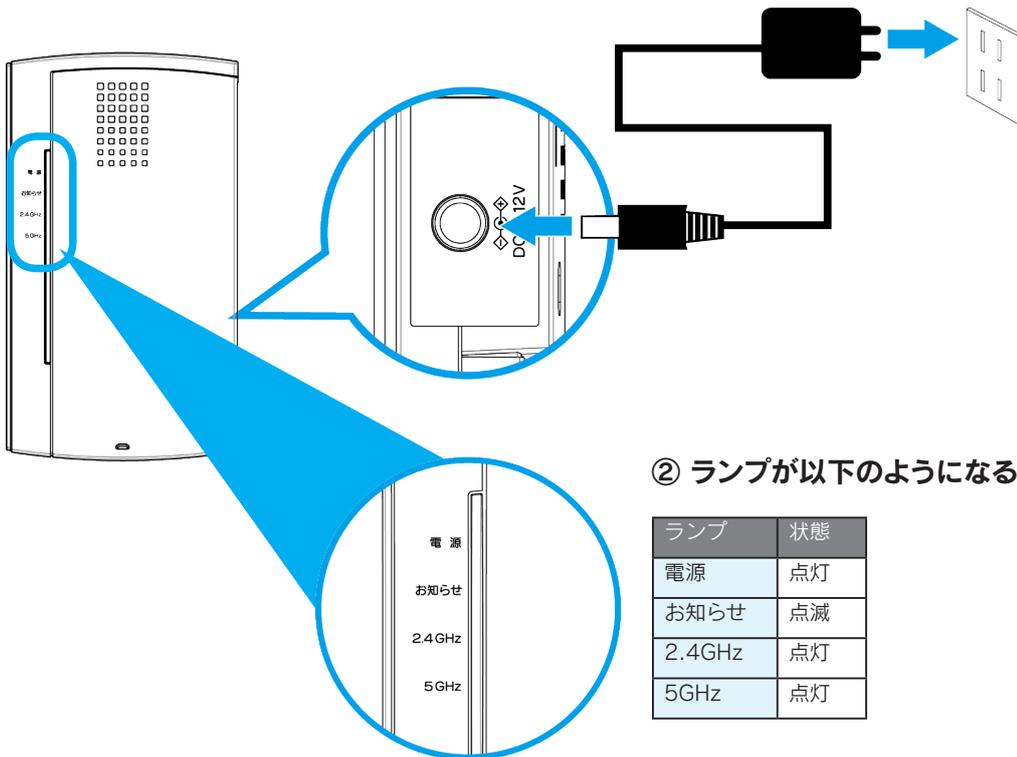
※ モデムとつないでいたLANケーブルは取り外しておいてください。



既存の無線LANルーター
(コピー元)

2 ① 添付のACアダプターを、本製品のDC INと電源コンセントに挿す

※ モデムとつないでいたLANケーブルは取り外しておいてください。



② ランプが以下のようになるまで1分ほど待つ

ランプ	状態
電源	点灯
お知らせ	点滅
2.4GHz	点灯
5GHz	点灯

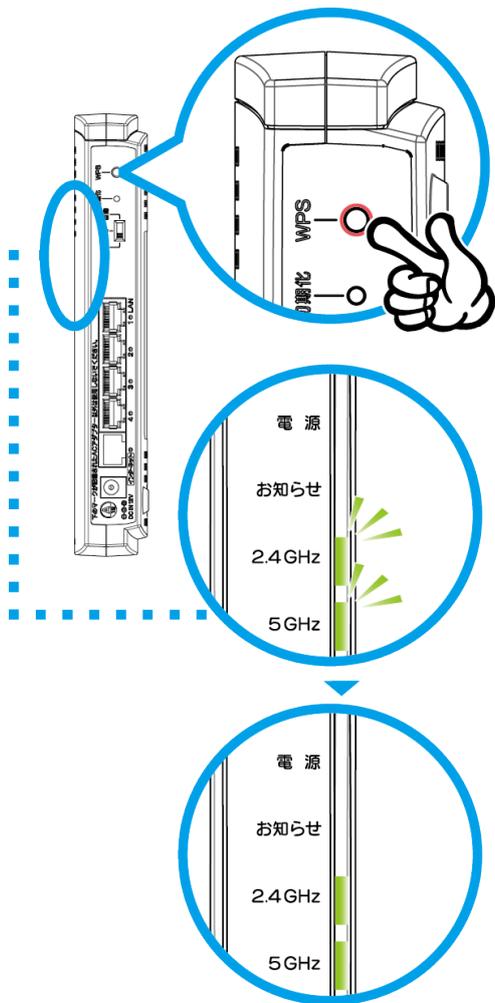
3 既存の無線LANルーターのWPSボタンを長押し(WPSの待ち受け状態にする)

(例) 弊社製無線LANルーターの場合、約3秒間長押し



既存の無線LANルーター (コピー元)

4



① 本製品のWPSボタンを長押し(約9秒間)する

② 2.4GHzランプと5GHzランプが同時に点滅したら、ボタンを離す

③ 2.4GHzランプと5GHzランプが点灯に変わるまで待つ

Q & A

2.4GHzランプと5GHzランプが遅い点滅から早い点滅に変わった場合

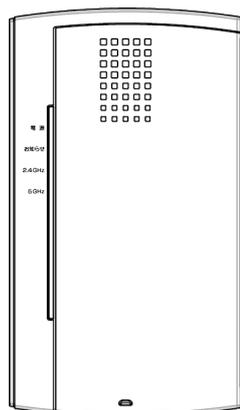
コピーに失敗しています。Wi-Fi設定移行機能は利用せず、「▼ 初めて無線LANルーターを設置する場合」12 ページを参照し、無線LANの接続設定をおこなってください。(既存の無線LANルーターの設定はコピーできません)

5



既存の無線LANルーターの電源をオフにする

6



本製品のACアダプターを電源コンセントから抜く

以上で、Wi-Fi設定の移行は完了です。次に「Step2 設置する」63 ページへお進みください。

Step2 設置する

1

① モデムの電源を1分以上切り、電源を入れ直す
 ※ ご利用のモデムによっては 30 分以上電源を切る必要があります。

② スイッチが[自動]であることを確認
 ※ [自動] の場合、ご利用環境にあわせてルーターモード/APモードが自動的に設定されます。通常、[自動] でご利用ください。

③ LANケーブルをモデムのLANポートと本製品のインターネットポートに接続

④ 添付のACアダプターを本製品のDC INと電源コンセントに接続

⑤ インターネットランプが[点灯]または[点滅]していることを確認

2

ランプが以下のようにになっていることを確認

ランプ	状態
電源	点灯
2.4GHz	点灯*
5GHz	点灯*

※ 点滅することがありますが、問題ありません。

以上で本製品の設置は完了です。
 既存の無線LANルーターに接続していた端末からWebブラウザを起動し、インターネットをお楽しみください。
 (既存の無線LANルーターに接続していた端末で再設定する必要はありません。)

Q&A インターネットにつながらなかった場合
 「Step3 インターネットに接続する」58 ページの手順をおこなってください。

設定画面の開き方

設定画面の開き方

本製品の設定画面では、本製品の詳細な設定や、設定の変更などがおこなえます。必要に応じてご利用ください。

※ 設定画面は、本製品がパソコンに LAN 接続されていれば（インターネットに接続されていなくても）、開くことができます。

※ 以下の対応ブラウザソフトをご用意ください。

OS	対応ブラウザソフト
Windows	Internet Explorer 8以降
Mac OS	Safari 5以降
iOS	Safari 5.1以降
Android	Android 2.2以降の標準ブラウザまたはGoogle Chrome

設定画面の開き方には、以下の2つの方法があります。

APモード時または
スイッチ「自動」の場合

方法1：設定アプリ「Magical Finder」を利用して開く

… 66 ページ

ルーターモード時の場合

方法2：IPアドレスを入力して開く

… 70 ページ

方法1：設定アプリ「Magical Finder」を利用して開く方法

「Magical Finder」(無料)をダウンロードし、インストールして利用します。(Magical Finderは最新版をご利用ください。)
 ※ 設定画面は、本製品がパソコンにLAN接続されていれば(インターネットに接続されていなくても)、開くことができます。
 ※ スマートフォンからは一部のメニューのみ設定できます。

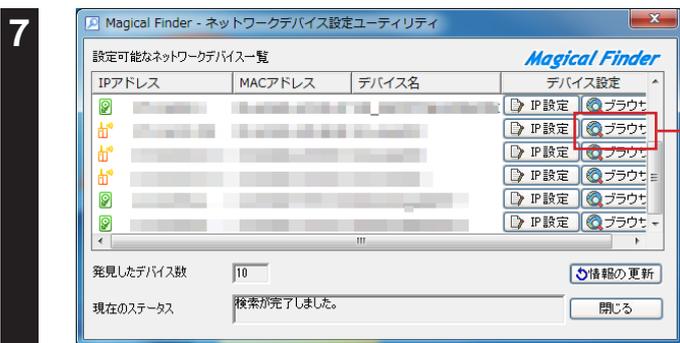
Windowsの場合

- 1 Webブラウザ(Internet Explorerなど)を起動
- 2 ①アドレスバーに“http://www.iodata.jp/r/3022”と入力してアクセス



②ご利用のOSを選択

- 3 [ダウンロード]をクリック
- 4 [実行]をクリック
- 5 デスクトップ上にダウンロードした[mfinderXXX.exe]ファイルをダブルクリック
 ※ “XXX”には数字が入ります。
- 6 [mfinderXXX]フォルダを開き、[MagicalFinder.exe]をダブルクリック
 ※ “XXX”には数字が入ります。



本製品のIPアドレスの

ブラウザ(ブラウザ)ボタンをクリック

以上で、設定画面が表示されます。
 設定画面の詳細については、「設定画面のリファレンス」90ページをご覧ください。

ヒント セキュリティ向上のためパスワードの設定をおすすめします



パスワードは管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定したりすることを防ぐためのものです。出荷時は未設定です。設定画面からパスワードを設定することをおすすめします。
 (「パスワード設定」106ページ参照)

Mac OSの場合

- 1 Webブラウザ(Internet Explorerなど)を起動
- 2 ①アドレスバーに“http://www.iodata.jp/r/3022”と入力してアクセス



②ご利用のOSを選択

- 3 ②ご利用のOSを選択し、[ダウンロード]をクリック
- 4 Dockの[ダウンロード]→[MagicalFinder_for_Mac_XXX.dmg]ファイルの順にダブルクリック
※ “XXX” には数字が入ります。
- 5 デスクトップ上にあるダウンロードした[MagicalFinder for Mac XXX]→[Magical Finder]の順にダブルクリック
※ “XXX” には数字が入ります。
- 6 インターネット上からのダウンロードファイルを開く場合の警告が表示された場合、[開く]をクリック
- 7 お使いのパソコンに設定してあるパスワードを入力し、[OK]をクリック



本製品のIPアドレスの (ブラウザ) ボタンをクリック

以上で、設定画面が表示されます。
設定画面の詳細については、「設定画面のリファレンス」90 ページをご覧ください。

ヒント セキュリティ向上のためパスワードの設定をおすすめします



パスワードは管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定したりすることを防ぐためのものです。出荷時は未設定です。設定画面からパスワードを設定することをおすすめします。
(「パスワード設定」106 ページ参照)

iPhone/iPad/iPod touchの場合

- 1 [AppStore]を開く
- 2 [Magical Finder]を検索し、インストール
- 3  ホームボタンを押し、メインメニューから[Magical Finder]をタップ

- 4  ネットワークデバイス一覧
本製品をタップ

- 5  デバイス情報
[Web設定画面を開く]をタップ

以上で、設定画面が表示されます。
設定画面の詳細については、「[設定画面のリファレンス](#)」90 ページをご覧ください。

ヒント



セキュリティ向上のためパスワードの設定をおすすめします

パスワードは管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定したりすることを防ぐためのものです。出荷時は未設定です。設定画面からパスワードを設定することをおすすめします。

(「パスワード設定」106 ページ参照)

Androidの場合

- 1 [Playストア] (Google Play) または [Androidマーケット] を開く
- 2 [Magical Finder] を検索し、インストール
- 3  ホームボタンを押し、メインメニューから [Magical Finder] をタップ

- 4  本製品をタップ

- 5  [Web設定画面を開く] をタップ

以上で、設定画面が表示されます。

設定画面の詳細については、「設定画面のリファレンス」90 ページ参照をご覧ください。

ヒント

セキュリティ向上のためパスワードの設定をおすすめします

パスワードは管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定したりすることを防ぐためのものです。出荷時は未設定です。パスワードを設定することをおすすめします。

(「パスワード設定」106 ページ参照)



方法2：IPアドレスを入力して開く方法

※ ルーターモード時のみ本手順で設定画面を開くことができます。

1 Webブラウザ(Internet Explorerなど)を起動

2 アドレスバーに“http://192.168.0.1/”と入力してアクセス



以上で、設定画面が表示されます。

設定画面の詳細については、「[設定画面のリファレンス](#)」90 ページをご覧ください。

ヒント

セキュリティ向上のためパスワードの設定をおすすめします

パスワードは管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定したりすることを防ぐためのものです。出荷時は未設定です。パスワードを設定することをおすすめします。

(「パスワード設定」106 ページ参照)



いろいろな設定

アクセスポイントとして使用する方法

(ルーター⇄APの切替方法) 72 ページ

無線LAN設定(SSID・暗号化設定)の変更手順

(SSID、暗号化設定の変更)..... 74 ページ

ポートの開放手順 80 ページ

ダイナミックDNSサービス「iobb.net」のご利用手順 ... 82 ページ

ECOモードの設定方法 85 ページ

ファームウェアのバージョンアップ方法 87 ページ

出荷時設定に戻す方法..... 88 ページ

アクセスポイントとして使用する方法 (ルーター⇄APの切替方法)

通常は[自動]の設定のままで、環境に合わせてAP(アクセスポイント)またはルーターモードに切り替わります。
必要に応じて、手動で切り替えることができます。

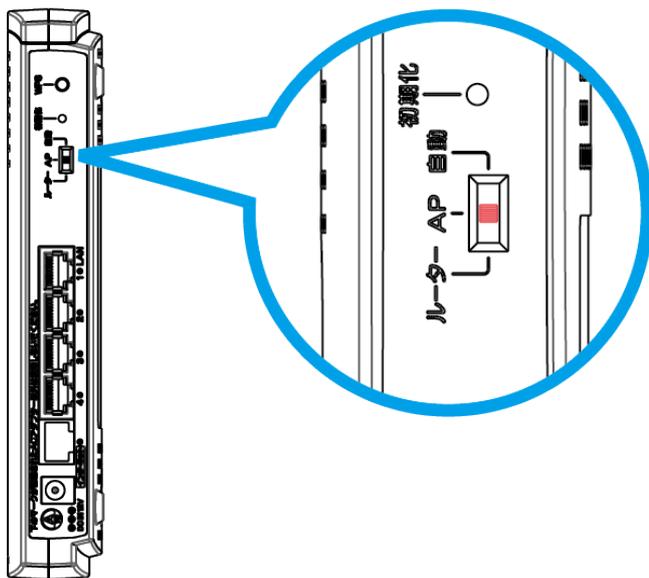
APモードに切り替える方法

※ APモード時、本製品の[インターネットポート]はLANポートとして動作します。

※ APモード時、本製品のIPアドレスが出荷時設定より変更になります。IPアドレスの確認は『MagicalFinder』の画面からおこなえます。
詳しくは「方法1: 設定アプリ『Magical Finder』を利用して開く方法」66ページの手順をご参照ください。

1 本製品のACアダプターを抜く

2 本製品側面のスイッチを[AP](スイッチ中央)にする



3 本製品のACアダプターを挿す

以上で、モードの切り換えは完了です。

ヒント

APモード時、本製品の設定画面のメニューが異なります

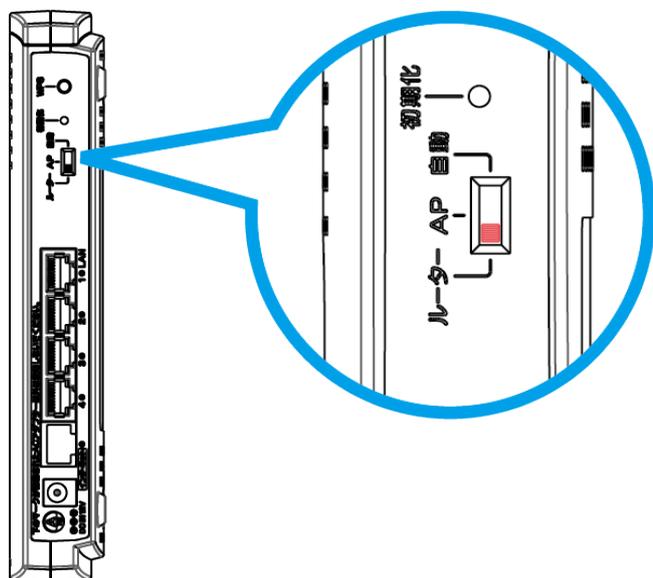
「セキュリティ」や「ファミリースマイル」等、ご利用になれないメニューは非表示となります。



ルーターモードに切り替える方法

1 本製品のACアダプターを抜く

2 本製品側面のスイッチを[ルーター](スイッチ左)にする



3 本製品のACアダプターを挿す

以上で、モードの切り換えは完了です。

無線LAN設定(SSID・暗号化設定)の変更手順

本製品のSSIDや暗号化設定の変更をする場合は、以下の手順で設定します。

1 設定画面を開く(「設定画面の開き方」65 ページ参照)



⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻るまで待ちます。

無線LAN(2.4G)	無線LAN(2.4G)を利用するかを選択します。(初期値:有効)	
	有効	無線LANを利用します。
	無効	無線LANを利用しません。
無線LAN(5G)	無線LAN(5G)を利用するかを選択します。(初期値:有効)	
	有効	無線LANを利用します。
SSID1(2.4G)	1つ目のSSIDの名前を指定(変更)します。 ※ 半角英数字で32文字まで。大文字、小文字の区別あり。(初期値:[AirPortxxxxx] (xxxxxは機器により異なる))	
SSID2(5G)	2つ目のSSIDの名前を指定(変更)します。 電波干渉が少ない5GHz帯を使用します。高速性と安定した通信を必要とする映像や音楽再生などを快適にご利用いただけます。 ※ 半角英数字で32文字まで。大文字、小文字の区別あり。(初期値:[Streamxxxxx] (xxxxxは機器により異なる))	
SSID3(2.4G)	3つ目のSSIDの名前を指定(変更)します。 暗号強度の低いWEPしか利用できない機器(ゲーム機など)のために使用するSSIDです。インターネットとの通信が可能ですが、セキュリティのため他のSSIDに接続した機器との通信は遮断されます。 ※ 半角英数字で32文字まで。大文字、小文字の区別あり。(初期値:[Guestxxxxx] (xxxxxは機器により異なる))	

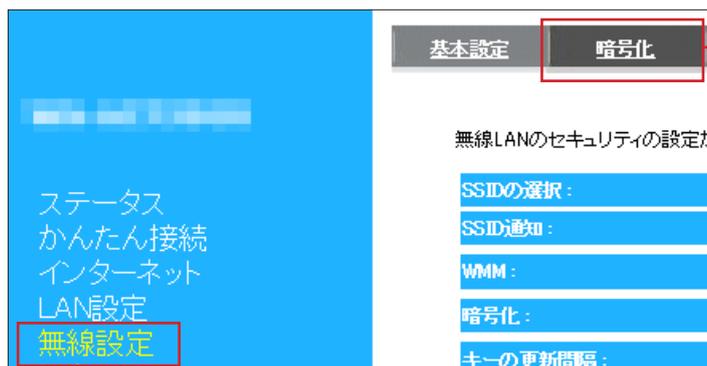
Copy SSID(2.4G)	コピーしたSSIDを利用するかを選択します。(初期値:無効) コピーに成功した場合、自動で有効になります。 <table border="1"> <tr> <td>有効</td> <td>[Copy SSID]を利用します。</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>[Copy SSID]を利用しません。</td> </tr> </table> (コピーできるSSID、暗号キーの組み合わせは1つです。コピーする毎に上書きされます。)	有効	[Copy SSID]を利用します。	無効	[Copy SSID]を利用しません。
有効	[Copy SSID]を利用します。				
無効	[Copy SSID]を利用しません。				
オートチャンネル(2.4G)	自動でチャンネルを設定します。 自動、1～13で設定します。 (詳しくは「チャンネルの選び方 ▶ 2.4GHz帯(IEEE802.11g/b)の無線で選択するチャンネル」78 ページ参照) ※ 無効を選択すると、チャンネルを指定できます。 ※ 自動を選択すると、1～11から選択されます。				
チャンネル(2.4G)	[オートチャンネル]で無効を選択した場合に、使用するチャンネルを選択します。				
オートチャンネル(5G)	自動でチャンネルを設定します。 自動、36～48、52～64、100～140で設定します。 (詳しくは「チャンネルの選び方 ▶ 5GHz帯(IEEE802.11ac/a/n)の無線で選択するチャンネル」79 ページ参照) ※ 無効を選択すると、チャンネルを指定できます。 ※ 自動を選択すると、36～48から選択されます。				
チャンネル(5G)	[オートチャンネル]で無効を選択した場合に、使用するチャンネルを選択します。				

注意

SSIDやチャンネルの値が他の無線LANグループと重なると、他の無線LANグループに通信内容が流れたり、他の無線LANグループの通信内容が見えてしまったりします。

そのために起こったトラブルに対しては弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

4



同じく[無線設定]メニューの[暗号化]タブをクリック

5

暗号化を設定し、[設定]をクリック

※ 暗号化方式により設定内容が異なります。

▼WPA-PSKで暗号化する場合

無線LANのセキュリティの設定ができます。無線LANを暗号化することにより不正なアクセスを防げます。

SSIDの選択:	AirPort
SSID通知:	有効
WMM:	有効
暗号化:	WPA-PSK
キーの更新間隔:	1800 秒 (600-86400)
WPAの種類:	<input type="radio"/> WPA(AES) <input type="radio"/> WPA2(AES) <input checked="" type="radio"/> Mixed
キーの種類:	Passphrase
暗号キー:	

設定 キャンセル

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

SSIDの選択	設定するSSIDを選択します。
SSID通知	SSIDの通知の[有効][無効]を設定します。
WMM	WMM機能は常に有効です。
暗号化	[WPA-PSK]を選択します。
キーの更新 間隔	グループキーの更新間隔を指定します。
WPAの種類	暗号化をおこなう種類を選択します。
キーの種類	[Passphrase][HEX(64文字)]から選択します。
暗号キー	暗号文字を入力します。 セキュリティのため、英字、数字を織り交ぜたランダムなキーを設定してください。
	Passphrase(8~63文字) 任意の暗号キーを入力します。(半角英数字で8~63文字で入力します。)
	HEX(64文字) 任意の暗号キーを入力します。(0~9、A~Fで64文字入力します。)
入力した暗号キーはメモしておくことをおすすめします。(無線LANアダプター設定時に必要になります。)	

▼WEPで暗号化する場合

基本設定
暗号化
詳細設定
フィルター
WPS
クライアントリスト

無線LANのセキュリティの設定ができます。無線LANを暗号化することにより不正なアクセスを防ぎます。

SSIDの選択:	Guest ▼
SSID通知:	有効 ▼
WMM:	有効 ▼
暗号化:	WEP ▼
認証方式:	<input checked="" type="radio"/> Open System <input type="radio"/> Shared Key <input type="radio"/> 自動
キーの長さ:	128bit ▼
キーの種類:	ASCII (13 characters) ▼
デフォルト キー:	キー 1 ▼
暗号化 キー 1:	<input type="text"/>
暗号化 キー 2:	<input type="text"/>
暗号化 キー 3:	<input type="text"/>
暗号化 キー 4:	<input type="text"/>

設定
キャンセル

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

SSIDの選択	設定するSSIDを選択します。 ※SSID1およびSSID2の暗号化方式を[WEP]にすると、WPS機能が無効になります。
SSID通知	SSIDの通知の[有効][無効]を設定します。
WMM	WMM機能は常に有効です。
暗号化	[WEP]を選択します。
認証方式	[Open System][Shared Key][Auto]のいずれかを選択します。 通常は[Auto]を選択してください。
キーの長さ	[64bit]または[128bit]を選択します。

キーの種類	暗号化キーの文字の処理を選択します。 [ASCII(5文字)][16進数(10文字)][ASCII(13文字)][16進数(26文字)]から選択します。	
デフォルトキー	どの暗号化キーを使うか指定します。	
暗号化キー 1~4	暗号文字を入力します。 セキュリティのため、英字、数字を織り交ぜたランダムなキーを設定してください。	
	64ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で5文字で入力します。) 例:AB1DE
	64ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで10文字入力します。) 例:AB1CD2EF3G
	128ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で13文字で入力します。) 例:AB1CD2EF3G
	128ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで26文字入力します。) 例:01234567890123456789ABCDEF
入力した暗号キーはメモしておくことをおすすめします。(無線LANアダプター設定時に必要になります。)		

Q&A

本製品と無線LANアダプターの通信が途切れた場合

無線LANアダプターの無線設定(SSID、暗号化など)を本製品の設定と合わせてください。

有線LANアダプターがある場合は、有線LAN接続したパソコンから設定することをおすすめします。

ヒント

本製品に接続する無線LANアダプターのSSID、暗号化設定、暗号キーも同じ値に変更してください

無線LANアダプターの取扱説明書を参照し、本製品の設定と同じ値に設定してください。



ヒント

変更したSSIDや暗号キーはメモしてください

パソコンやスマートフォン等と接続する際に必要になります。



ヒント

「QRコネクト用QRコード生成サイト」にて、変更したSSIDと暗号キーのQRコードを作成することができます

無線LAN設定用QRコードを作成すれば、SSIDや暗号キーを変更した後でも、簡単設定アプリ「QRコネクト」を利用して、スマートフォンを簡単に接続できます。

・「QRコネクト用QRコード生成サイト」はこちら

➔ https://wssl.iodata.jp/qr_code/

・「QRコネクト」の利用方法については、「iPhone/iPad/iPod touchの場合」27 ページまたは「Androidの場合」

29 ページをご参照ください。



**ヒント** チャンネルの選び方 ▶ 2.4GHz帯(IEEE802.11g/b)の無線で選択するチャンネル

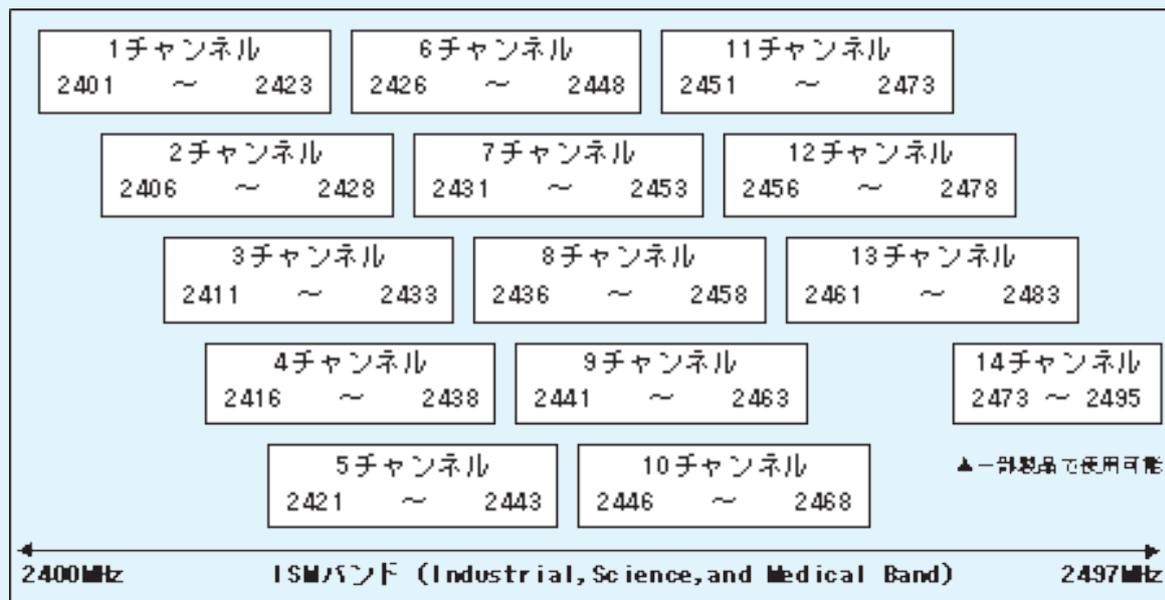
2.4GHz帯の無線では1～13 chまで選択できます。(一部製品では1～14 chまで)

複数の無線ネットワークを使用する場合、隣り合ったチャンネルは、電波の帯域が重なるため通信にロスを生じます。

電波到達範囲内で複数の無線ネットワークが存在する場合は、下の表をご覧になり、帯域が重ならないように設定することをおすすめします。

また、14ch(2473～2495MHz)は、IEEE802.11、IEEE802.11bで使用されている可能性がありますので、重ならないように設定することをおすすめします。

例) 無線ネットワークが3つある場合は、それぞれ1,6,11チャンネルに設定



**ヒント** チャンネルの選び方 ▶5GHz帯 (IEEE802.11ac/a/n) の無線で選択するチャンネル

5GHz帯の無線では以下のチャンネルが使用できます。

5.2GHz帯 (W52): 36,40,44,48

5.3GHz帯 (W53): 52,56,60,64

5.6GHz帯 (W56): 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140

- 本製品の5GHz帯は、屋外で使用しないでください。製品を屋外で使用する場合は、2.4GHz帯をご利用ください。法令により、5GHz帯のW52(36,40,44,48ch)、W53(52,56,60,64ch) を屋外で使用することは禁止されています。5GHz帯のW56(100～140ch)は法令により屋外での使用が可能ですが、本製品でW56のチャンネルを指定した場合でも、レーダー波を検出した場合は、屋外で使用が禁止されているW52やW53へ自動的にチャンネルが変更される場合があります。そのため屋外で使用する必要がある場合は、2.4GHz帯をご利用ください。
- 5GHz 帯で使用するチャンネルは36,40,44,48ch(W52) と52,56,60,64ch(W53) と100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch(W56) です。34,38,42,46ch(J52) の装置との通信はできません。
- W53(52,56,60,64ch)またはW56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・各チャンネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出をおこないますので、その間は通信をおこなえません。
 - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャンネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

ポートの開放手順

ネットワークゲームやサーバーの公開をする場合は、[ポートの開放]で、特定のポートを開放します。

※ 最大 32 エントリーまで設定できます。

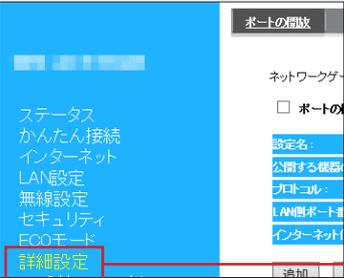
ヒント 本製品をAPモードでご利用の場合は、本製品でポート開放の設定は必要ありません。



本製品をAPモードでご利用の場合は、本製品のインターネットポートに接続しているルーター側でポートの開放をします。設定方法は、各ルーターの取扱説明書またはメーカー様にてご確認ください。

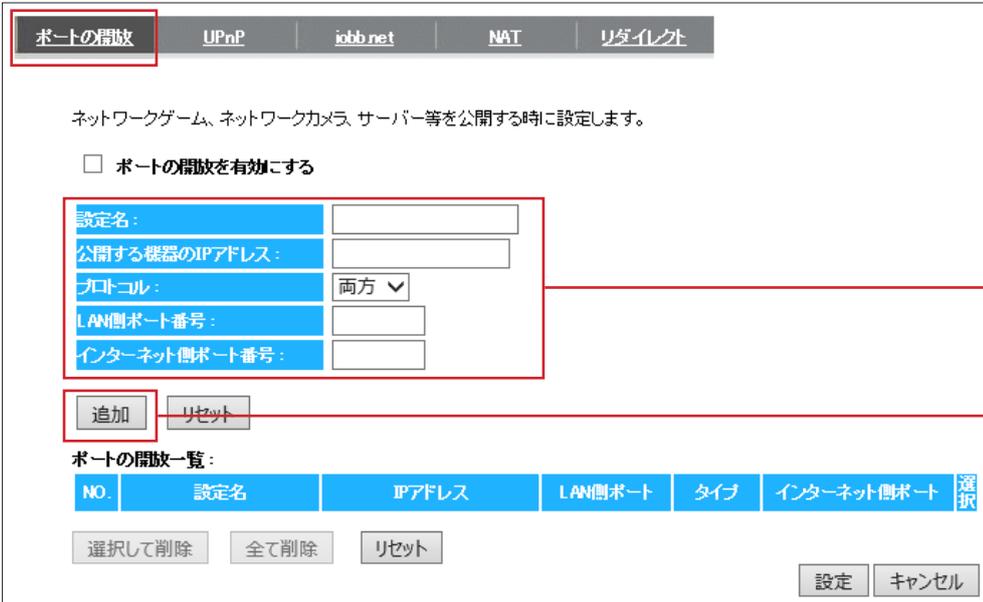
1 設定画面を開く(「設定画面の開き方」65 ページ参照)

2



[詳細設定]をクリック

3



①各項目を設定する

②[追加]をクリック

設定名	設定に名前をつけます。任意の文字列を入力します。
公開する機器のIPアドレス	ポート番号を開放して外部からのアクセスを許可したいパソコンのローカルIPアドレスを入力します。 設定例 例1 Webサーバーを公開したい場合は、WebサーバーになるパソコンのIPアドレス 例2 ネットワークゲームを利用したい場合は、ネットワークゲームを起動するパソコンやゲーム機のIPアドレス 例3 ネットワークカメラを利用したい場合は、ネットワークカメラのIPアドレス ※パソコン等の公開する機器のIPアドレスは、固定設定することをおすすめします。 ※パソコンのIPアドレスが固定設定のわからない場合は、「パソコンのIPアドレスを手動設定(固定設定)にした」129 ページと同じ手順で確認することができます。

プロトコル	[TCP] [UDP] [両方]から選択します。								
LAN側ポート番号	LAN側のポート番号の番号を入力します。 <table border="1"> <tr><th colspan="2">設定例</th></tr> <tr><th>利用するサーバー</th><th>ポート番号</th></tr> <tr><td>WEBサーバー</td><td>80番</td></tr> <tr><td>FTPサーバー</td><td>21番</td></tr> </table> <p>※ハイフン(-)、コンマ(,),チルダ(~)は使用できません。 ※複数の「LAN側ポート番号」を一度に設定することできません。複数の「LAN側ポート番号」を開放したい場合は、番号毎に本手順を繰り返してください。</p>	設定例		利用するサーバー	ポート番号	WEBサーバー	80番	FTPサーバー	21番
設定例									
利用するサーバー	ポート番号								
WEBサーバー	80番								
FTPサーバー	21番								
インターネット側ポート番号	インターネット側のポート番号の番号を入力します。 ネットワークゲームなどポートの開放の場合は[LAN側ポート番号]と同じポート番号を指定します。 <table border="1"> <tr><th colspan="2">設定例</th></tr> <tr><th>利用するサーバー</th><th>ポート番号</th></tr> <tr><td>WEBサーバー</td><td>80番</td></tr> <tr><td>FTPサーバー</td><td>21番</td></tr> </table>	設定例		利用するサーバー	ポート番号	WEBサーバー	80番	FTPサーバー	21番
設定例									
利用するサーバー	ポート番号								
WEBサーバー	80番								
FTPサーバー	21番								

4

ポートの開放
UPnP
job net
NAT
リダイレクト

ネットワークゲーム、ネットワークカメラ、サーバー等を公開する時に設定します。

ポートの開放を有効にする

設定名:	
公開する機器のIPアドレス:	
プロトコル:	両方 ▼
LAN側ポート番号:	
インターネット側ポート番号:	

追加
リセット

ポートの開放一覧:

NO.	設定名	IPアドレス	LAN側ポート	タイプ	インターネット側ポート	選択

選択して削除
全て削除
リセット

設定

キャンセル

① [ポートの開放を有効にする]にチェック

② [設定]をクリック

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

ダイナミックDNSサービス「iobb.net」のご利用手順

弊社のダイナミックDNSサービス「iobb.net」(以下、「iobb.net」と呼びます。)は、変化するIPアドレスに「xxx.iobb.net」というユーザーごとの名称をつけ、会社や外出先からのリモートアクセスを可能にする無償サービスです。

接続するたびにIPアドレスが変わってしまう場合でも、「iobb.net」を利用すれば、常にドメイン名でアクセスできます。

- ※ 弊社ダイナミック DNS サービス「iobb.net」のみサポート対象となります。その他のダイナミック DNS サービスには対応していません。
- ※ 本製品では、手軽にダイナミック DNS サービスを使用するために、あらかじめ製品に登録されたドメイン名(ホスト名)を利用する「プリセット」機能がご利用いただけます。従来どおり、お好みのホスト名を利用することもできます。

「iobb.net」を利用する場合は、以下の2つの方法があります。

お好みのホスト名を使用する場合

… 83 ページ

プリセットされたホスト名を使用する場合

… 84 ページ

お好みのホスト名を使用する場合

1 Webブラウザに以下のURLを入力して、「iobb.net」のユーザー登録をおこなう

→ <https://ioportal.iodata.jp/>

2 設定画面を開く(「設定画面の開き方」65 ページ参照)

3

① [詳細設定] をクリック

② [iobb.net] タブをクリック

③ [有効] を選択

④ 各項目を設定する

⑤ [設定] をクリック

iobb.net	[有効] を選択します。
シリアルナンバー	本製品のシリアル番号 (S/N) (iobb.net登録に使用したもの) を入力します。 ※ 大文字英数字12桁 ※ シリアル番号 (S/N) は ユーザーID に該当します。 ※ 本製品のシリアル番号 (S/N) は、本製品背面に貼られているシールにある英数字です。(例: ABC1234567ZX)
パスワード	iobb.net に登録したパスワードを入力します。 ※ 使用可能な文字数は、6～8文字
ホスト名	iobb.net に登録したホスト名を入力します。xxxx.iobb.net の場合、「xxxx」のみ入力します。
ステータス	現在の状態が表示されます。

⇒「設定反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻るまでしばらくお待ちください。

以上で設定は完了です。

ヒント [ステータス] に「現在、DDNSサーバーが利用できません。」と表示されている場合
[アドレスの更新] ボタンをクリックしてください。



ヒント アクセスしようとしているサーバーと同じLAN内のパソコンからは、ドメイン名ではアクセスできません
外部の別のネットワークからドメイン名でアクセスできることをご確認ください。



ヒント サーバーと同じLAN内から接続する場合には、ローカルIPアドレスでアクセスしてください



プリセットされたホスト名を使用する場合

1 設定画面を開く(「設定画面の開き方」65 ページ参照)

2

① [詳細設定] をクリック

② [iobb.net] タブをクリック

③ [プリセット] を選択
※ プリセットを選択した場合、シリアルナンバーとパスワードを入力する必要がありません。

④ ホスト名を確認
※ 自動的にプリセットされたホスト名が設定されます。

⑤ [設定] をクリック

⇒「設定反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻るまでしばらくお待ちください。

以上で設定は完了です。

ヒント

[ステータス]に「現在、DDNSサーバーが利用できません。」と表示されている場合
[アドレスの更新]ボタンをクリックしてください。

ヒント

アクセスしようとしているサーバーと同じLAN内のパソコンからは、ドメイン名ではアクセスできません
外部の別のネットワークからドメイン名でアクセスできることをご確認ください。

ヒント

サーバーと同じLAN内から接続する場合には、ローカルIPアドレスでアクセスしてください

ECOモードの設定方法

ECOモードを設定すると本製品の消費電力を削減することができます。

ECOモードを有効にする場合は、以下の手順で設定してください。

ヒント

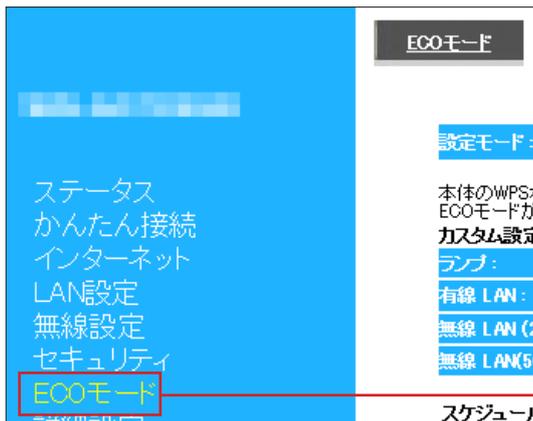
スマートフォンからも設定をおこなうことができます

- ・設定画面の開き方については、「設定画面の開き方」65 ページ参照
- ・ECOモードの設定画面の詳細については、「ECOモード」101 ページ参照



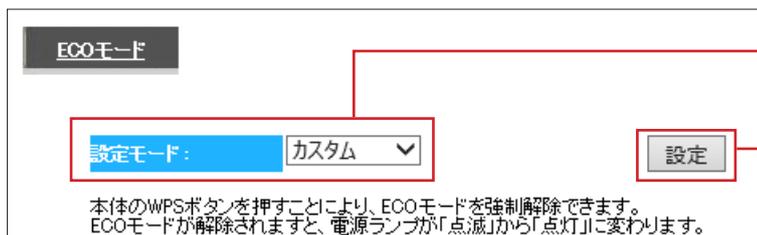
1 設定画面を開く(「設定画面の開き方」65 ページ参照)

2



[ECOモード]をクリック

3



① [設定モード]から[推奨設定]または[カスタム]を選択

② [設定]をクリック

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。
元の画面に戻るまでしばらくお待ちください。

ヒント

[推奨設定] 選択時は以下の設定になります

- ランプ:[消灯モード]
- 有線LAN:[低速モード]
- 無線LAN(2.4G):[低速モード]
- 無線LAN(5G):[オフ]



4

① 手順3で[カスタム]を選択した場合は、
[ランプ]、[有線LAN]、[無線LAN(2.4G)]、
[無線LAN(5G)]を選択

② [設定]をクリック

ランプ	[点灯モード][消灯モード]から選択します。
有線LAN	[全てオフ][LANオフ][低速モード][通常モード]から選択します。 ※APモード時、[LANオフ]の項目はありません。
無線LAN (2.4G)	[オフ][低速モード][通常モード]から選択します。
無線LAN (5G)	[オフ][通常モード]から選択します。

⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻るまで待ちます。

5

① スケジュールを設定する場合は、
[スケジュール設定を利用する]にチェック

② [開始時間]、[終了時間]、[曜日設定]を選択

③ [反映]をクリック

スケジュール設定を利用する	チェックすると、スケジュール設定を利用できます。 ※ スケジュールは9件まで作成できます。 ※ 同じ時間帯で複数の曜日を設定した場合は、1件としてカウントされます。 (例: 13:00～17:00で土・日を選択した場合、これで1件のスケジュールとしてカウントします。)
開始時間	[開始時間]から[終了時間]までの間、ECOモードの設定が有効になります。
終了時間	
曜日設定	チェックした曜日のみECOモードの設定が有効になります。
選択	チェックし、[選択して削除]をクリックすると、選択したスケジュールを削除します。 [全て削除]をクリックすると、すべてのスケジュールを削除します。

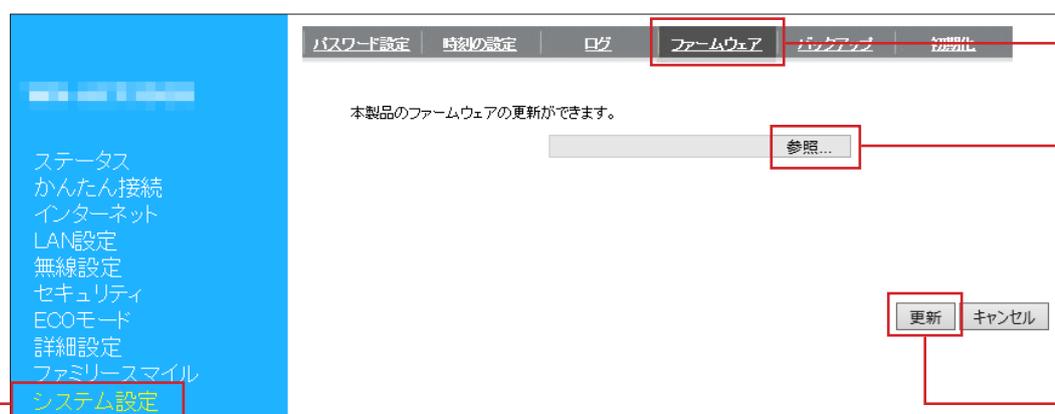
⇒ 「設定を反映中。しばらくお待ちください」の画面になります。元の画面に戻ったら設定は完了です。

ファームウェアのバージョンアップ方法

本製品のファームウェアのバージョンアップ方法を説明します。本製品を一旦、パソコンに有線LAN接続します。

- 1 Webブラウザに以下のURLを入力して最新のファームウェアファイルをダウンロードし、ファイルを解凍しておく
→ <http://www.iodata.jp/r/4470>
- 2 本製品をパソコンにLANケーブルで接続する(「有線LAN接続する場合」26 ページ参照)
- 3 パソコンに常駐アプリケーションがある場合は、一時的に常駐を解除する(タスクトレイに常駐しているアイコンを右クリックして終了する)
- 4 設定画面を開く(「設定画面の開き方」65 ページ参照)

5 ① [システム設定]をクリック

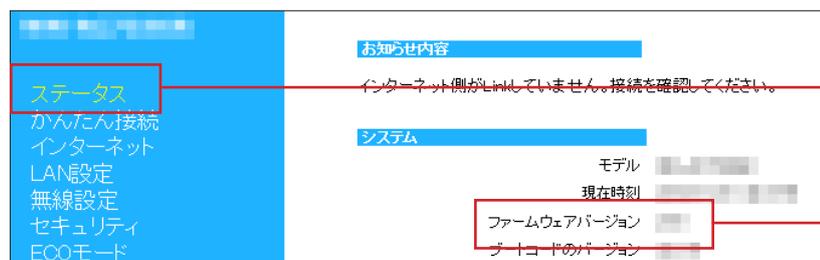


- ② [ファームウェア]タブをクリック
- ③ [参照]をクリックし、手順1でダウンロードし解凍したファイル“wnxxx.dlf”を選択
※ xxx には数字が入ります。
- ④ [更新]をクリック

⇒ 更新後、本製品を再起動します。50秒ほどお待ちください。

※更新中は、絶対に本製品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

6



- ① [ステータス]をクリック
- ② [ファームウェアバージョン]が更新後のバージョンになっていることを確認

以上で、ファームウェアの更新は完了です。手順2で接続したLANケーブルを外し、元の設置状態に戻します。

出荷時設定に戻す方法

初期化ボタンまたは設定画面のいずれかの方法で出荷時設定に戻すことができます。

注意

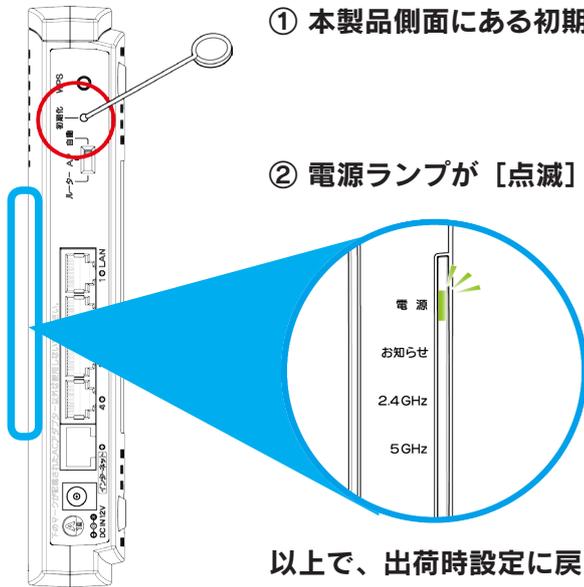
本手順をおこなうと、設定内容はすべて出荷時設定に戻ります
出荷時設定に戻したら、再度はじめから設定し直してください。

初期化ボタンで戻す場合

1 本製品からLANケーブルを外す

2 ① 本製品側面にある初期化ボタンを細いピン等で押す

② 電源ランプが [点滅] になったらピンを離す

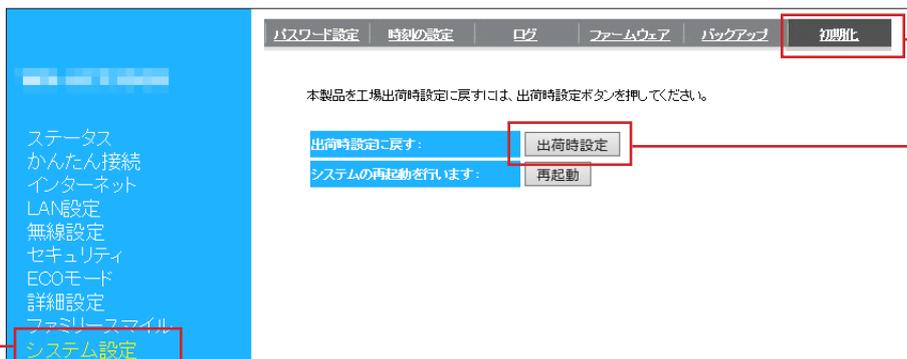


以上で、出荷時設定に戻りました。

設定画面で戻す場合

1 設定画面を開く(「設定画面の開き方」65 ページ参照)

2 ① [システム設定] をクリック



② [初期化] タブをクリック

③ [出荷時設定] をクリック

以上で出荷時設定に戻りました。

設定画面のリファレンス

設定画面のリファレンス

設定画面メニューの各項目について説明します。本製品の動作モードにより表示されるメニューは異なります。

ステータス

▼パソコンの場合

お知らせ内容	
インターネット側がLinkしていません。接続を確認してください。	
システム	
モデル	■■■■■
現在時刻	■■■■■
ファームウェアバージョン	■■■
ブートコードのバージョン	■■■
インターネットの設定	
接続方法	Dynamic IP Address
IPアドレス	---
サブネットマスク	---
デフォルトゲートウェイ	---
MACアドレス	■■■■■
DNS	---
LANの設定	
IPアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	■■■■■
無線LANの設定	
チャンネル(2.4G)	1
チャンネル(5G)	36
SSID 1	
SSID	AirPort ■■■■
セキュリティ	WPA/WPA2 pre-shared key
MACアドレス	■■■■■
SSID 2	
SSID	Stream ■■■■
セキュリティ	WPA2 pre-shared key
MACアドレス	■■■■■
SSID 3	
SSID	Guest ■■■■
セキュリティ	WPA/WPA2 pre-shared key
MACアドレス	■■■■■
Copy SSID	
機能	無効
SSID	Copy ■■■■
MACアドレス	■■■■■

お知らせ内容	
本製品に関するお知らせ内容を表示します。 (接続の状態や、ファームウェア更新等についてお知らせします。)	
システム	
モデル	本製品の名前を表示します。
現在時刻	現在の時刻を表示します。
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します。
ブートコードバージョン	本製品のブートコードバージョンを表示します。
インターネットの設定	
接続方法	インターネットの接続方法を表示します。
IPアドレス	インターネット側のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	インターネット側のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	インターネット側のゲートウェイアドレスを表示します。
MACアドレス	インターネット側のMACアドレスを表示します。
DNS	使用するDNSを表示します。
LANの設定	
IPアドレス	本製品のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを表示します。
DHCPサーバー	DHCPサーバーの状態を表示します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。
無線LANの設定	
チャンネル(2.4G)	無線LANで使用中のチャンネルを表示します。
チャンネル(5G)	無線LANで使用中のチャンネルを表示します。
SSID1~3	
SSID	本製品のSSIDを表示します。
セキュリティ	暗号化の方法を表示します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。
Copy SSID	
機能	Copy SSIDの有効/無効を表示します。
SSID	本製品のSSIDを表示します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。

▼スマートフォンの場合

お知らせ内容	
インターネット側がLinkしていません。接続を確認してください。	
システム	
ファームウェアバージョン	
インターネットの設定	
接続方法	Dynamic IP Address
IPアドレス	---
無線LANの設定	
チャンネル (2.4G)	1
チャンネル (5G)	36
SSID 1	
ESSID	AirPort
セキュリティ	WPA/WPA2 pre-shared key
SSID 2	
ESSID	Stream
セキュリティ	WPA2 pre-shared key
SSID 3	
ESSID	Guest
セキュリティ	WPA/WPA2 pre-shared key
SSID 4	
ESSID	Copy
セキュリティ	WPA/WPA2 pre-shared key

お知らせ内容	
本製品に関するお知らせ内容を表示します。 (接続の状態や、ファームウェア更新等についてお知らせします。)	
システム	
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します。
インターネットの設定	
接続方法	インターネットの接続方法を表示します。
IPアドレス	インターネット側のIPアドレスを表示します。
無線LANの設定	
チャンネル(2.4G)	無線LANで使用中のチャンネルを表示します。
チャンネル(5G)	無線LANで使用中のチャンネルを表示します。
SSID 1~4	
ESSID	本製品のSSIDを表示します。
セキュリティ	暗号化の方法を表示します。

かんたん接続

▼パソコンの場合

インターネット接続を自動的に判定します。
[かんたん接続]ボタンをクリックしてください。

かんたん接続

かんたん接続	インターネットへの接続を自動的に判定し、設定します。
--------	----------------------------

▼スマートフォンの場合

インターネット接続を自動的に判定します。
[かんたん接続]ボタンをクリックしてください。

かんたん接続

かんたん接続	インターネットへの接続を自動的に判定し、設定します。
--------	----------------------------

インターネット

IPアドレス自動取得

本製品のインターネットへの接続方法を設定します。

IPアドレス自動取得 IPアドレス固定設定 PPPoE認証

ホスト名:

IPv6パススルー: 有効 無効

設定 キャンセル

ホスト名	ホスト名を入力します。
IPv6パススルー	[有効] [無効]を選択します。IPv6を使用する場合は[有効]を選択します。

IPアドレス固定設定

本製品のインターネットへの接続方法を設定します。

IPアドレス自動取得 IPアドレス固定設定 PPPoE認証

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

DNSサーバー1:

DNSサーバー2:

IPv6パススルー: 有効 無効

設定 キャンセル

IPアドレス	プロバイダーから指定されたIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	プロバイダーから指定されたサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	プロバイダーから指定されたデフォルトゲートウェイを入力します。
DNSサーバー1	プロバイダーから指定されたDNSサーバーアドレスを入力します。
DNSサーバー2	
IPv6パススルー	[有効] [無効]を選択します。IPv6を使用する場合は[有効]を選択します。

PPPoE認証

本製品のインターネットへの接続方法を設定します。

IPアドレス自動取得 IPアドレス固定設定 PPPoE認証

ユーザーID:

接続パスワード:

MTU: (576 <= MTU 値 <= 1492)

IPv6パススルー: 有効 無効

設定 キャンセル

ユーザーID	プロバイダーから指定されたアカウント名を入力します。 ※NTTフレッツシリーズの場合は、ユーザーIDに@マークから後ろも全て入力します。
接続パスワード	プロバイダーから指定された接続パスワードを入力します。
MTU	MTU値を変更する場合は576~1492の間で入力します。
IPv6パススルー	[有効] [無効]を選択します。IPv6を使用する場合は[有効]を選択します。

LAN設定

IPアドレス設定

IPアドレス設定 DHCP

IPアドレス、サブネットマスク、DHCPサーバーの設定が行えます。

IPアドレス設定

IPアドレス:

サブネットマスク:

DHCPサーバー

DHCPサーバー:

リース時間:

開始IP:

終了IP:

IPアドレス設定	
IPアドレス	本製品LAN側のIPアドレスを設定します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを表示します。 本製品のサブネットマスクは「255.255.255.0」で固定です。
DHCPサーバー	
DHCPサーバー	DHCPサーバー機能の[有効][無効]を選択します。[有効]にすると、本製品のLANポートに接続したパソコンのIPアドレスを自動的に割り当てます。
リース時間	IPアドレスを開放し、再取得する間隔を設定します。
開始IP	割り当てるIPアドレスの開始IPを設定します。
終了IP	割り当てるIPアドレスの終了IPを設定します。

DHCP

IPアドレス設定 DHCP

DHCP クライアントテーブル

DHCPクライアントテーブルは、DHCPサーバーにより割り当てられたクライアントのIPアドレスを表示します。

IPアドレス	MACアドレス	リース残り時間
<input type="text" value="192.168.0.100"/>	<input type="text" value="08:00:27:00:00:00"/>	0 day 23:39:23

特定のMACアドレスに対してIPアドレスを割り当てできます。

固定DHCP IPを有効にする

IPアドレス	MACアドレス
<input type="text"/>	<input type="text"/>

現在の固定DHCPテーブル:

NO.	IPアドレス	MACアドレス	選択
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>

DHCPクライアントテーブル	
IPアドレス	割り当てられたIPアドレスを表示します。
MACアドレス	割り当てられたMACアドレスを表示します。
リース残り時間	IPアドレスを開放し、再取得するまでの時間を表示します。
固定DHCP IPを有効にする	チェックすると、IPアドレスを固定にできます。
IPアドレス	割り当てるIPアドレスと、IPアドレスを割り当てる機器のMACアドレスを入力します。
MACアドレス	[追加]を押すと、「現在の固定DHCPテーブル」に追加されます。 ※MACアドレスは、「1234567890ab」のように連続した12桁の半角英数字で入力してください。
現在の固定DHCPテーブル	「固定DHCP IPを有効にする」にチェックし、設定したIPアドレス等を表示します。

無線設定

基本設定

基本設定	暗号化	詳細設定	フィルタ	WPS	クライアントリスト
------	-----	------	------	-----	-----------

無線LANの基本設定が行えます。

無線LAN(2.4G): 有効 無効

無線LAN(5G): 有効 無効

SSID1(2.4G):

SSID2(5G):

SSID3(2.4G):

Copy SSID(2.4G): 有効 無効

オートチャンネル(2.4G): 有効 無効

オートチャンネル(5G): 有効 無効

無線LAN(2.4G)	無線LAN(2.4G)を利用するかを選択します。(初期値:有効)
有効	無線LANを利用します。
SSID1のみ有効	SSID3を無効にし、SSID1のみを利用します。
無効	無線LANを利用しません。
無線LAN(5G)	無線LAN(5G)を利用するかを選択します。(初期値:有効)
有効	無線LANを利用します。
無効	無線LANを利用しません。
SSID1(2.4G)	1つ目のSSIDの名前を指定(変更)します。 ※ 半角英数字で32文字まで。大文字、小文字の区別あり。 (初期値: [AirPortxxxxx] (xxxxxは機器により異なる))
SSID2(5G)	2つ目のSSIDの名前を指定(変更)します。 電波干渉が少ない5GHz帯を使用します。高速性と安定した通信を必要とする映像や音楽再生などを快適にご利用いただけます。 ※ 半角英数字で32文字まで。大文字、小文字の区別あり。 (初期値: [Streamxxxxx] (xxxxxは機器により異なる))
SSID3(2.4G)	3つ目のSSIDの名前を指定(変更)します。 暗号強度の低いWEPしか利用できない機器(ゲーム機など)のために使用するSSIDです。インターネットとの通信が可能ですが、セキュリティのため他のSSIDに接続した機器との通信は遮断されます。 ※ 半角英数字で32文字まで。大文字、小文字の区別あり。 (初期値: [Guestxxxxx] (xxxxxは機器により異なる))
Copy SSID(2.4G)	コピーしたSSIDを利用するかを選択します。(初期値:無効) コピーに成功した場合、自動で有効になります。
有効	[Copy SSID]を利用します。
無効	[Copy SSID]を利用しません。
オートチャンネル(2.4G)	自動でチャンネルを設定します。 自動、1~13で設定します。 (詳しくは「 チャンネルの選び方 ▶ 2.4GHz帯 (IEEE802.11g/b)の無線で選択するチャンネル 」78ページ参照) ※ 無効を選択すると、チャンネルを指定できます。 ※ 自動を選択すると、1~11から選択されます。
チャンネル(2.4G)	[オートチャンネル]で無効を選択した場合に、使用するチャンネルを選択します。
オートチャンネル(5G)	自動でチャンネルを設定します。 自動、36~48、52~64、100~140で設定します。 (詳しくは「 チャンネルの選び方 ▶ 5GHz帯 (IEEE802.11ac/a/n)の無線で選択するチャンネル 」79ページ参照) ※ 無効を選択すると、チャンネルを指定できます。 ※ 自動を選択すると、36~48から選択されます。
チャンネル(5G)	[オートチャンネル]で無効を選択した場合に、使用するチャンネルを選択します。

暗号化

※ 選択する暗号化により表示される画面が異なります。

▼WPA-PSKの場合

基本設定	暗号化	詳細設定	フィルター	WPS	クライアントリスト
無線LANのセキュリティの設定ができます。無線LANを暗号化することにより不正なアクセスを防げます。					
SSIDの選択:	AirPort				
SSID通知:	有効				
WMM:	有効				
暗号化:	WPA-PSK				
キーの更新間隔:	1800	秒 (600-86400)			
WPAの種類:	<input type="radio"/> WPA(AES) <input type="radio"/> WPA2(AES) <input checked="" type="radio"/> Mixed				
キーの種類:	Passphrase				
暗号キー:	<input type="text"/>				
					<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

SSIDの選択	設定するSSIDを選択します。				
SSID通知	SSIDの通知の[有効][無効]を設定します。				
WMM	WMM機能は常に有効です。				
暗号化	暗号化をおこなう方法を設定します。				
キーの更新間隔	グループキーの更新間隔を指定します。				
WPAの種類	暗号化をおこなう種類を選択します。				
キーの種類	[Passphrase][HEX(64文字)]から選択します。				
暗号キー	暗号文字を入力します。 セキュリティのため、英字、数字を織り交ぜたランダムなキーを設定してください。				
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>Passphrase (8~63文字)</td> <td>任意の暗号キーを入力します。(半角英数字で8~63文字で入力します。)</td> </tr> <tr> <td>HEX(64文字)</td> <td>任意の暗号キーを入力します。(0~9、A~Fで64文字入力します。)</td> </tr> </tbody> </table>	Passphrase (8~63文字)	任意の暗号キーを入力します。(半角英数字で8~63文字で入力します。)	HEX(64文字)	任意の暗号キーを入力します。(0~9、A~Fで64文字入力します。)
	Passphrase (8~63文字)	任意の暗号キーを入力します。(半角英数字で8~63文字で入力します。)			
HEX(64文字)	任意の暗号キーを入力します。(0~9、A~Fで64文字入力します。)				
入力した暗号キーはメモしておくことをおすすめします。(無線LANアダプター設定時に必要になります。)					

▼WEPの場合

基本設定	暗号化	詳細設定	フィルター	WPS	クライアントリスト
無線LANのセキュリティの設定ができます。無線LANを暗号化することにより不正なアクセスを防げます。					
SSIDの選択:	Guest				
SSID通知:	有効				
WMM:	有効				
暗号化:	WEP				
認証方式:	<input checked="" type="radio"/> Open System <input type="radio"/> Shared Key <input type="radio"/> 自動				
キーの長さ:	128bit				
キーの種類:	ASCII (13 characters)				
デフォルト キー:	キー 1				
暗号化 キー 1:	<input type="text"/>				
暗号化 キー 2:	<input type="text"/>				
暗号化 キー 3:	<input type="text"/>				
暗号化 キー 4:	<input type="text"/>				
					<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

SSIDの選択	設定するSSIDを選択します。 ※SSID1およびSSID2の暗号化方式を[WEP]にすると、WPS機能が無効になります。								
SSID通知	SSIDの通知の[有効][無効]を設定します。								
WMM	WMM機能は常に有効です。								
暗号化	暗号化をおこなう方法を設定します。								
認証方式	[Open System][Shared Key][Auto]のいずれかを選択します。通常は[Auto]を選択してください。								
キーの長さ	[64bit]または[128bit]を選択します。								
キーの種類	暗号化キーの文字の処理を選択します。 [ASCII(5文字)][16進数(10文字)][ASCII(13文字)][16進数(26文字)]から選択します。								
デフォルト キー	どの暗号化キーを使うか指定します。								
暗号化キー 1~4	暗号文字を入力します。 セキュリティのため、英字、数字を織り交ぜたランダムなキーを設定してください。								
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>64ビット-ASCII</td> <td>任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で5文字で入力します。) 例:AB1DE</td> </tr> <tr> <td>64ビット-16進数</td> <td>任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで10文字入力します。) 例:AB1CD2EF3G</td> </tr> <tr> <td>128ビット-ASCII</td> <td>任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で13文字で入力します。) 例:AB1CD2EF3G</td> </tr> <tr> <td>128ビット-16進数</td> <td>任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで26文字入力します。) 例:01234567890123456789ABCDEF</td> </tr> </tbody> </table>	64ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で5文字で入力します。) 例:AB1DE	64ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで10文字入力します。) 例:AB1CD2EF3G	128ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で13文字で入力します。) 例:AB1CD2EF3G	128ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで26文字入力します。) 例:01234567890123456789ABCDEF
	64ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で5文字で入力します。) 例:AB1DE							
	64ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで10文字入力します。) 例:AB1CD2EF3G							
	128ビット-ASCII	任意のWEPキーを入力します。(半角英数字で13文字で入力します。) 例:AB1CD2EF3G							
128ビット-16進数	任意のWEPキーを入力します。(0~9、A~Fで26文字入力します。) 例:01234567890123456789ABCDEF								
入力した暗号キーはメモしておくことをおすすめします。(無線LANアダプター設定時に必要になります。)									

▼無効の場合

基本設定	暗号化	詳細設定	フィルタ	WPS	クライアントリスト
無線LANのセキュリティの設定ができます。無線LANを暗号化することにより不正なアクセスを減らします。					
SSIDの選択:		AirPort ▼			
SSID通知:		有効 ▼			
WMM:		有効 ▼			
暗号化:		無効 ▼			
					設定 キャンセル

SSIDの選択	設定するSSIDを選択します。
SSID通知	SSIDの通知の[有効][無効]を設定します。 ※SSID1の[SSID通知]を[無効]にするとWPS機能が利用できません。
WMM	WMM機能は常に有効です。
暗号化	暗号化をおこなう方法を設定します。

詳細設定

基本設定	暗号化	詳細設定	フィルタ	WPS	クライアントリスト
ここでの設定は、無線LANIに関して十分な知識を持っている上級者向けです。					
フラグメントスレシヨルド		2346 (256-2346)			
RTSスレシヨルド		2347 (1-2347)			
ビーコン間隔		100 (40-1000 ms)			
DTIM周期		1 (1-255)			
プリアンブル		<input checked="" type="radio"/> ロングプリアンブル <input type="radio"/> ショートプリアンブル			
使用する帯域 (2.4G)		<input checked="" type="radio"/> 20/40 MHz <input type="radio"/> 20 MHz			
使用する帯域 (5G)		<input checked="" type="radio"/> 20/40/80 MHz <input type="radio"/> 20/40 MHz <input type="radio"/> 20 MHz			
送信出力 (2.4G)		100 %			
送信出力 (5G)		100 %			
マルチキャスト変換		<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効			

フラグメントスレシヨルド	フラグメント(分割)するパケットサイズを設定します。設定した値よりも大きいパケットを送信する場合に、設定したサイズに分割して送信します。				
RTSスレシヨルド (RTSしきい値)	設定した値よりも大きいパケットを送信する場合に、RTS(送信要求)をおこないません。減らすとRTSは増えますが、通信効率上がる場合があります。				
ビーコン間隔	無線電波の送出間隔を設定します。減らすと通信品質は上がりますが、他の機器との干渉が大きくなります。				
DTIM周期	ビーコンに対し、どの程度の間隔でDTIMを挿入するかを設定します。 ※ DTIM(delivery traffic indication message)とは、省電力モードの無線クライアントに対して、データがあることを伝えるメッセージのことです。				
プリアンブル	[ロングプリアンブル]、[ショートプリアンブル]を選択します。 [ショートプリアンブル]を選択すると無線LANの通信速度が速くなりますが、[ショートプリアンブル]に対応していない無線LAN機器がありますのでご注意ください。				
使用する帯域(2.4G)	使用する帯域を選択します。				
使用する帯域(5G)	使用する帯域を選択します。				
送信出力(2.4G)	本製品の通信出力を設定します。				
送信出力(5G)	本製品の通信出力を設定します。				
マルチキャスト変換	ひかりTVを使用する場合に[有効]、使用しない場合は[無効]を選択してください。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td>有効</td> <td>SSID2のマルチキャスト変換機能を有効にします。(出荷時設定)</td> </tr> <tr> <td>無効</td> <td>SSID2のマルチキャスト変換機能を無効にします。</td> </tr> </tbody> </table>	有効	SSID2のマルチキャスト変換機能を有効にします。(出荷時設定)	無効	SSID2のマルチキャスト変換機能を無効にします。
有効	SSID2のマルチキャスト変換機能を有効にします。(出荷時設定)				
無効	SSID2のマルチキャスト変換機能を無効にします。				

フィルタ

基本設定	暗号化	詳細設定	フィルタ	WPS	クライアントリスト
MACアドレスフィルタリングテーブルに追加されたMACアドレスを持つクライアントのみがアクセスポイントに接続できます。					
<input type="checkbox"/> MACアドレスフィルタリング有効					
		説明	MACアドレス		
		<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="リセット"/>		
MACアドレスフィルタリングテーブル:					
NO.	説明	MACアドレス	選択		
		<input type="button" value="選択して削除"/>	<input type="button" value="全て削除"/>	<input type="button" value="リセット"/>	

MACアドレスフィルタリング有効	チェックすると、指定したMACアドレスを持つ無線LAN機器のみがアクセスポイントに接続できるようになります。 ※[MACアドレスフィルタリング]機能を有効にする場合、本製品のWPS機能を無効にする必要があります。
	以下の手順でフィルタの設定およびWPSを無効にする設定します。
	①[WPS]タブをクリックします。 ②[WPS]の[有効]のチェックを外し、[設定]をクリックします。 ③[フィルタ]タブをクリックします。 ④[説明]に任意の説明文を入力します。 ⑤[MACアドレス]に機器のMACアドレスを入力します。 ※MACアドレスは、[1234567890ab]のように連続した12桁の半角英数字で入力してください。 ⑥[追加]をクリックします。 ⑦[MACアドレスフィルタリング有効]にチェックします。 ⑧[設定]をクリックします。
	追加されたMACアドレスは下の[MACアドレスフィルタリングテーブル]に表示されます。

WPS

基本設定	暗号化	詳細設定	フィルター	WPS	クライアントリスト
<p>WPS : <input checked="" type="checkbox"/>有効 <input type="button" value="設定"/></p> <p>Wi-Fi Protected Setup 情報</p> <p>WPS情報 (2.4G) : Configured <input type="button" value="設定をリセットする"/></p> <p>WPS情報 (5G) : Configured <input type="button" value="設定をリセットする"/></p> <p>接続する機器にボタンがある場合は、下のボタンをクリックするか、WPSランプが点滅するまで本体の[セットアップ]ボタンを押し、接続する機器のボタンを押して下さい。</p> <p>WPS プッシュボタン設定 (2.4G) : <input type="button" value="セットアップ"/></p> <p>WPS プッシュボタン設定 (5G) : <input type="button" value="セットアップ"/></p> <p>接続する機器にPINコードがある場合は、下にPINコードを入力し、[接続]ボタンをクリックしてください。</p> <p>WPS PINコード設定 (2.4G) : <input type="text"/> <input type="button" value="接続"/></p> <p>WPS PINコード設定 (5G) : <input type="text"/> <input type="button" value="接続"/></p> <p>接続する機器に、PINコードを入力する場合は、下のPINコードを入力してください。</p> <p>PINコード (2.4G) : <input type="text"/></p> <p>PINコード (5G) : <input type="text"/></p>					

WPS	チェックをつけ、[設定]をクリックすると、WPS接続が可能になります。(出荷時設定:有効)
WPS情報 (2.4G)	WPSの状態を表示します。 [Configured]の場合、WPS接続時、現在設定されている暗号化設定を使用します。 [設定をリセットする]を押すと、[UnConfigured]の設定になります。
WPS情報 (5G)	※ [Configured]にするには、SSID1のSSIDや暗号化設定を変更するか、もしくはWPSで無線LAN子機を接続してください。
WPSプッシュボタン設定 (2.4G)	[セットアップ]をクリックすると、WPS接続をおこないます。 ※ [セットアップ]を押した後、2分間待ち受けします。
WPSプッシュボタン設定 (5G)	
WPS PINコード設定(2.4G)	接続する機器のPINコードを入力し、[接続]をクリックすると、接続をおこないます。
WPS PINコード設定(5G)	
PINコード (2.4G)	本製品のPINコードを表示します。
PINコード (5G)	本製品と接続する機器にPINコードを入力する場合は、このPINコードを入力してください。

クライアントリスト

基本設定	暗号化	詳細設定	フィルター	WPS	クライアントリスト				
<p>無線LANクライアントテーブル:</p> <p>無線LANクライアントテーブルは、本製品に接続しているクライアントのMACアドレスを表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>インターフェース</th> <th>MACアドレス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="button" value="更新"/></p>						インターフェース	MACアドレス		
インターフェース	MACアドレス								

無線LANクライアントテーブル	
本製品に無線LANで接続しているクライアントのMACアドレスを表示します。	

セキュリティ

パススルー

パススルー DMZ DoS

PPTPパススルー: 有効 無効

IPSecパススルー: 有効 無効

設定 キャンセル

PPTPパススルー	[有効][無効]を選択します。
IPSecパススルー	[有効][無効]を選択します。

DMZ

パススルー DMZ DoS

DMZ設定を行うことで、インターネット上にDMZホストによるサービスを提供することができます。ただし、ローカルプライベートネットワーク(LAN)への不正アクセス等、外部からの侵入を防止することができなくなりますので注意が必要です。通常、DMZホストには、ウェブ(HTTP)サーバ、FTPサーバ、SMTP(メール)サーバおよびDNSサーバ等、インターネットから直接アクセスが必要なデバイスが該当します。

DMZを有効にする

ローカルIPアドレス: パソコンの選択 ▼

設定 キャンセル

DMZを有効にする	チェックすると、DMZを有効にします。
ローカルIPアドレス	DMZホスト機能を有効に設定するパソコンのIPアドレスを入力します。 [パソコンの選択]からIPアドレスを選択すると、簡単に入力できます。

DoS

パススルー DMZ DoS

DoS攻撃防御を設定します。

DoS攻撃防御: 有効 無効

設定 キャンセル

DoS攻撃防御	[有効][無効]を選択します。
---------	-----------------

ECOモード

ECOモード

▼パソコンの場合

ECOモード

設定モード: カスタム 設定

本体のWPSボタンを押すことにより、ECOモードを強制解除できます。ECOモードが解除されると、電源ランプが「点滅」から「点灯」に変わります。

カスタム設定:

ランプ: 点灯モード

有線 LAN: 通常モード

無線 LAN (2.4G): 通常モード

無線 LAN (5G): 通常モード

スケジュール設定

スケジュール設定を利用する

開始時間: 00:00 終了時間: 01:00

曜日設定

月 火 水 木 金 土 日 反映

曜日	時間	選択
選択して削除	全て削除	

▼スマートフォンの場合

ECOモードを設定すると本製品の消費電力を削減することができます。

設定モード: 利用しない 設定

推奨: ランプ[消灯モード]、有線LAN[低速モード]、無線LAN(2.4G)[低速モード]、無線LAN(5G)[オフ]に設定されます

ECOモード時は電源ランプが点滅します。

本体のWPSボタンを短く押す(1秒以内)ことにより、ECOモードを強制解除できます。

設定モード	<p>[推奨設定] [利用しない] から選択します。</p> <p>[推奨設定] を選択すると、消費電力を削減できます。[設定] ボタンを押すと設定が反映されます。</p> <p>▼[推奨設定] 設定時 ランプ: [消灯モード] 有線LAN: [低速モード] 無線LAN(2.4G): [低速モード] 無線LAN(5G): [オフ]</p> <p>※カスタム設定、スケジュール設定は、パソコンから設定画面を開いて設定してください。</p>
-------	---

設定モード	<p>[推奨設定] [カスタム] [利用しない] から選択します。</p> <p>[推奨設定] または [カスタム] を選択すると、消費電力を削減できます。</p> <p>[設定] ボタンを押すと設定が反映されます。</p> <p>▼[推奨設定] 設定時 ランプ: [消灯モード] 有線LAN: [低速モード] 無線LAN(2.4G): [低速モード] 無線LAN(5G): [オフ]</p>								
ランプ	<p>[点灯モード] [消灯モード] から選択します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">点灯モード</td> <td>通常の点灯をします。</td> </tr> <tr> <td>消灯モード</td> <td>ランプが以下の状態になります。 電源ランプ: 点滅 電源ランプ以外: 消灯</td> </tr> </table>	点灯モード	通常の点灯をします。	消灯モード	ランプが以下の状態になります。 電源ランプ: 点滅 電源ランプ以外: 消灯				
点灯モード	通常の点灯をします。								
消灯モード	ランプが以下の状態になります。 電源ランプ: 点滅 電源ランプ以外: 消灯								
有線LAN	<p>[全てオフ] [LANオフ] [低速モード] [通常モード] から選択します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">全てオフ</td> <td>全ての有線ポート ([インターネットポート] 含む) がオフになります。</td> </tr> <tr> <td>LANオフ</td> <td>LAN1~4ポートがオフになります。</td> </tr> <tr> <td>通常モード</td> <td>通常の動作をします。</td> </tr> <tr> <td>低速モード</td> <td>全ての有線ポートの最大伝送速度が100Mbpsになります。</td> </tr> </table> <p>※APモード時、[LANオフ]の項目はありません。</p>	全てオフ	全ての有線ポート ([インターネットポート] 含む) がオフになります。	LANオフ	LAN1~4ポートがオフになります。	通常モード	通常の動作をします。	低速モード	全ての有線ポートの最大伝送速度が100Mbpsになります。
全てオフ	全ての有線ポート ([インターネットポート] 含む) がオフになります。								
LANオフ	LAN1~4ポートがオフになります。								
通常モード	通常の動作をします。								
低速モード	全ての有線ポートの最大伝送速度が100Mbpsになります。								
無線LAN (2.4G)	<p>[設定モード] で [カスタム] を選択すると設定できます。[通常モード] [低速モード] [オフ] から選択します。</p> <p>[設定] ボタンを押すと設定が反映されます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">通常モード</td> <td>通常の動作をします。</td> </tr> <tr> <td>低速モード</td> <td>無線の最大転送速度が150Mbpsになります。</td> </tr> <tr> <td>オフ</td> <td>無線がオフになります。</td> </tr> </table>	通常モード	通常の動作をします。	低速モード	無線の最大転送速度が150Mbpsになります。	オフ	無線がオフになります。		
通常モード	通常の動作をします。								
低速モード	無線の最大転送速度が150Mbpsになります。								
オフ	無線がオフになります。								
無線LAN (5G)	<p>[設定モード] で [カスタム] を選択すると設定できます。[通常モード] [オフ] から選択します。</p> <p>[設定] ボタンを押すと設定が反映されます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">通常モード</td> <td>通常の動作をします。</td> </tr> <tr> <td>オフ</td> <td>無線がオフになります。</td> </tr> </table>	通常モード	通常の動作をします。	オフ	無線がオフになります。				
通常モード	通常の動作をします。								
オフ	無線がオフになります。								
スケジュール設定を利用する	<p>チェックすると、スケジュール設定を利用できます。スケジュールを選択し、[反映] をクリックするとスケジュールが設定されます。</p> <p>※ スケジュールは9件まで作成できます。</p> <p>※ 同じ時間帯で複数の曜日を設定した場合は、1件としてカウントされます。</p> <p>(例: 13:00~17:00で土・日を選択した場合、これで1件のスケジュールとしてカウントします。)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">開始時間</td> <td>[開始時間] から [終了時間] までの間、</td> </tr> <tr> <td>終了時間</td> <td>ECOモードの設定が有効になります。</td> </tr> <tr> <td>曜日設定</td> <td>チェックした曜日のみECOモードの設定が有効になります。[反映] ボタンを押すと設定が反映されます。</td> </tr> <tr> <td>選択</td> <td>チェックし、[選択して削除] をクリックすると、選択したスケジュールを削除します。 [全て削除] をクリックすると、すべてのスケジュールを削除します。</td> </tr> </table>	開始時間	[開始時間] から [終了時間] までの間、	終了時間	ECOモードの設定が有効になります。	曜日設定	チェックした曜日のみECOモードの設定が有効になります。[反映] ボタンを押すと設定が反映されます。	選択	チェックし、[選択して削除] をクリックすると、選択したスケジュールを削除します。 [全て削除] をクリックすると、すべてのスケジュールを削除します。
開始時間	[開始時間] から [終了時間] までの間、								
終了時間	ECOモードの設定が有効になります。								
曜日設定	チェックした曜日のみECOモードの設定が有効になります。[反映] ボタンを押すと設定が反映されます。								
選択	チェックし、[選択して削除] をクリックすると、選択したスケジュールを削除します。 [全て削除] をクリックすると、すべてのスケジュールを削除します。								

詳細設定

ポートの開放

ポートの開放

UPnP | **iobb.net** | NAT | リダイレクト

ネットワークゲーム、ネットワークカメラ、サーバー等を公開する時に設定します。

ポートの開放を有効にする

設定名:

公開する機器のIPアドレス:

プロトコル:

LAN側ポート番号:

インターネット側ポート番号:

ポートの開放一覧:

NO.	設定名	IPアドレス	LAN側ポート	タイプ	インターネット側ポート

ポートの開放を有効にする	チェックするとポートの開放機能を利用できません。
設定名	識別するための名称を入力します。
公開する機器のIPアドレス	公開する機器のIPアドレスを入力します。
プロトコル	[TCP][UDP][両方]から選択します。
LAN側ポート番号	インターネット上から見えるポート番号を入力します。
インターネット側ポート番号	インターネットに公開するポート番号を入力します。

UPnP

ポートの開放

UPnP | **iobb.net** | NAT | リダイレクト

UPnPの設定を行います。

UPnP: 有効 無効

UPnP	[有効][無効]を選択します。
------	-----------------

iobb.net

▼パソコンの場合

ポートの開放

UPnP | **iobb.net** | NAT | リダイレクト

ダイナミックDNSサービス **iobb.net**

ご利用の際は、サービスへの登録が必要です。(株)アイ・オー・データ機器が運営する「iOPortalサービス」にてユーザー登録後、iobb.netのユーザー登録を行ってください。 iportal.iodata.jp

iobb.net: プリセット 有効 無効

シリアルナンバー:

パスワード:

ホスト名:

ステータス: DDNS機能は無効です。

サーバー負荷の原因となるため、アドレスの更新はむやみに実行しないでください。アカウントが無効になる場合があります。

iobb.net	[プリセット][有効][無効]を選択します。
シリアルナンバー	本製品のシリアル番号(S/N)(iobb.net登録に使用したもの)を入力します。 ※ 大文字英数字12桁 ※ シリアル番号(S/N)はユーザーIDに該当します。 ※ 本製品のシリアル番号(S/N)は、本製品背面に貼られているシールにある英数字です。(例:ABC1234567ZX)
パスワード	iobb.netに登録したパスワードを入力します。 ※ 使用可能な文字数は、6~8文字
ホスト名	iobb.netに登録したホスト名を入力します。 xxxx.iobb.netの場合、「xxxx」のみ入力します。
ステータス	現在の状態が表示されます。

▼スマートフォンの場合

ダイナミックDNSサービス **iobb.net**

DDNS機能は無効です。

設定

ご利用の際は、サービスへの登録が必要です。(株)アイ・オー・データ機器が運営する「iOPortalサービス」にてユーザー登録後、iobb.netのユーザー登録をおこなってください。 iportal.iodata.jp

有効: お好みのホスト名を使用して設定します。
プリセット: ホスト名は自動で設定されます。シリアルナンバーとパスワードを入力する必要があります。

設定を続ける場合は、ダイナミックDNSサービス利用登録規約への同意が必要です。

シリアルナンバー:

パスワード:

ホスト名:

ステータス	現在の状態が表示されます。
iobb.net	[プリセット][有効][無効]を選択します。
シリアルナンバー	本製品のシリアル番号(S/N)(iobb.net登録に使用したもの)を入力します。 ※ 大文字英数字12桁 ※ シリアル番号(S/N)はユーザーIDに該当します。 ※ 本製品のシリアル番号(S/N)は、本製品背面に貼られているシールにある英数字です。(例:ABC1234567ZX)
パスワード	iobb.netに登録したパスワードを入力します。 ※ 使用可能な文字数は、6~8文字
ホスト名	iobb.netに登録したホスト名を入力します。 xxxx.iobb.netの場合、「xxxx」のみ入力します。

NAT

ポートの開放	UPnP	igmp.net	NAT	リダイレクト
--------	------	----------	------------	--------

NAT機能を切り替えます。

NATアクセラレータを有効にする

NATアクセラレータを有効にすると、以下の機能が利用できません。
・IPv6バースルー

設定

NATアクセラレータを有効にする

チェックするとNATアクセラレータ機能が有効になります。

※ NATアクセラレータ機能とは、従来ソフトウェアが処理しているブロードバンドルーター機能をハードウェア(CPU)直接処理にすることでスループットを改善させる機能です。

※ NATアクセラレータ機能を有効にした場合、PPPoEマルチセッション機能はご利用いただけません。

リダイレクト

ポートの開放	UPnP	igmp.net	NAT	リダイレクト
--------	------	----------	-----	---------------

HTTPリダイレクトの設定を行います

HTTPリダイレクト: 有効 無効

設定

HTTPリダイレクト

[有効][無効]を選択します。

ファミリースマイル

ファミリースマイル

▼パソコンの場合

ファミリースマイルを利用する	チェックすると、ファミリースマイルを利用できます。	
ライセンス番号	ライセンスキーを入力します。 ※ ライセンスキーは本製品背面に貼付のシール上に記載されています。	
サービス	ファミリースマイルの状態と有効期限を表示します。 ※ ファミリースマイルの無料期間は利用開始日から2カ月間です。	
	開始	ファミリースマイルが有効な状態です。
	停止	ファミリースマイルのURLリストが利用不可能な状態です。
	期限切れ	ファミリースマイルのライセンス有効期限がきています。
無効	ファミリースマイルが無効の状態です。	
全体的制限	本製品に接続されるパソコン、ゲーム機等の全ての機器に対しての制限のレベルを設定します。	
MACアドレス	本製品に接続される機器毎に、制限レベルを設定します。 制限レベルを設定する機器のMACアドレスを入力し、制限レベルを選択します。 設定した内容が下の[個別制限]に表示されます。 ※MACアドレスは、[1234567890ab]のように連続した12桁の半角英数字で入力してください。	

▼スマートフォンの場合

ファミリースマイルを利用する	チェックすると、ファミリースマイルを利用できます。	
ライセンス番号	ライセンスキーを入力します。 ※ ライセンスキーは本製品背面に貼付のシール上に記載されています。	
サービス	ファミリースマイルの状態と有効期限を表示します。 ※ ファミリースマイルの無料期間は利用開始日から2カ月間です。	
	開始	ファミリースマイルが有効な状態です。
	停止	ファミリースマイルのURLリストが利用不可能な状態です。
	期限切れ	ファミリースマイルのライセンス有効期限がきています。
無効	ファミリースマイルが無効の状態です。	
全体的制限	本製品に接続されるパソコン、ゲーム機等の全ての機器に対しての制限のレベルを設定します。	

※ 個別制限、カスタムレベルの編集は、パソコンから設定画面を開いて設定してください。

ヒント

ファミリースマイルの使用方法については、弊社Webページよりファミリースマイルの「画面で見えるマニュアル（2カ月間無償版の場合）」をご覧ください

➔ <http://www.iodata.jp/r/3861>



URLフィルター

ファミリーメール URLフィルター ブロックログ

URLフィルターを利用する

URL: 許可 ▾

追加 リセット

フィルタリスト:

NO.	URL	処理	選択

選択して削除 全て削除 リセット

設定 キャンセル

URLフィルターを利用する	チェックすると、アクセスを許可するページ(ホワイトリスト)、許可しないページ(ブラックリスト)を個別に登録することができます。
URL	アクセスを制限したいURL(ホスト部に含まれるキーワード)を入力し、[許可][拒否]を選択します。 設定した内容が下の[フィルタリスト]に表示されます。 例) http://aaa.co.jpを設定したい場合、 "aaa.co.jp"を入力

ブロックログ

ファミリーメール URLフィルター ブロックログ

ログを表示します。

日付	URL	IPアドレス	カテゴリ

ログをクリア

ブロックしたログ(日付、URL、ブロックしたURLにアクセスしようとしたIPアドレス、対象のカテゴリ)を表示します。

システム

パスワード設定

パスワード設定	時刻の設定	ログ	ファームウェア	バックアップ	初期化
本製品にアクセスするためのパスワードを変更できます。					
ログイン名:	<input type="text"/>				
現在のパスワード:	<input type="password"/>				
新しいパスワード:	<input type="password"/>				
パスワード再入力:	<input type="password"/>				
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="キャンセル"/>					

ログイン名	管理者用のログイン名を設定します。
現在のパスワード	現在使用しているパスワードを入力します。
新しいパスワード	変更するパスワードを入力します。
パスワード再入力	確認のため、[パスワード]と同じパスワードを入力します。

※ パスワードを設定すると、設定画面を開く際にログイン画面が表示され、ここで設定したログイン名、パスワードを入力します。

時刻の設定

パスワード設定	時刻の設定	ログ	ファームウェア	バックアップ	初期化
時刻の設定を行います。					
時刻の設定方法:	NTPサーバーとの同期				
NTPサーバー:	<input type="text" value="ntp.nict.jp"/>				
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="キャンセル"/>					

時刻の設定方法	時刻の設定方法を表示します。
NTPサーバー	時刻を入手するURLを選択します。

ログ

パスワード設定	時刻の設定	ログ	ファームウェア	バックアップ	初期化
ログを表示します。					
<pre> Jan 1 09:18:04 [SYSTEM]: WLAN[5G], BSS(rai0) WPS Send M1! Jan 1 09:15:18 [SYSTEM]: WLAN[5G], BSS(rai0) channel switch to Jan 1 09:15:11 [SYSTEM]: WLAN[24G], BSS(rai0) channel switch to Jan 1 09:15:10 [SYSTEM]: DHCP Server, Sending ACK of Jan 1 09:15:03 [SYSTEM]: UPnP, Start Jan 1 09:15:03 [SYSTEM]: UPnP, Stopping Jan 1 09:15:03 [SYSTEM]: LAN, start Firewall Jan 1 09:15:03 [SYSTEM]: LAN, start NAT Jan 1 09:15:02 [SYSTEM]: NET, start Firewall Jan 1 09:15:02 [SYSTEM]: NET, start NAT Jan 1 09:15:02 [SYSTEM]: SCHEDULE, start Schedule Jan 1 09:15:02 [SYSTEM]: SCHEDULE, Schedule Stopping Jan 1 09:15:02 [SYSTEM]: QoS, Stopping Jan 1 09:15:02 [SYSTEM]: NTP, start NTP Client Jan 1 09:15:02 [SYSTEM]: DHCP, start DHCP Server Jan 1 09:15:02 [SYSTEM]: DNS, start DNS Proxy Jan 1 09:15:01 [SYSTEM]: WLAN[5G], WSC UPnP start </pre>					
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="更新"/>					

ログを表示します。表示されたログのファイル保存、削除、表示の更新がおこなえます。

ファームウェア

パスワード設定	時刻の設定	ログ	ファームウェア	バックアップ	初期化
本製品のファームウェアの更新ができます。					
<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>					
<input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="キャンセル"/>					

本製品のファームウェアの更新がおこなえます。
[参照]ボタンをクリックし、事前にダウンロードしたファームウェアファイルを指定して、[更新]をクリックします。

バックアップ

パスワード設定	時刻の設定	ログ	ファームウェア	バックアップ	初期化
保存ボタンで現在の設定を保存できます。復元するには、保存したファイル(config.bin)を復元してください。					
設定の保存:		保存			
設定の復元:		復元		参照...	

設定の保存	[保存]を押すと、本製品の各種設定情報をファイルに保存できます。 (保存先を選択し、[config.dif] ファイルを保存します。)
設定の復元	[設定の保存]で保存したファイルから本製品の各種設定情報を読み込み、復元します。 [参照]を押し、[設定の保存]で保存したファイルを読み込み、[復元]を押します。

初期化

パスワード設定	時刻の設定	ログ	ファームウェア	バックアップ	初期化
本製品を工場出荷時設定に戻すには、出荷時設定ボタンを押してください。					
出荷時設定に戻す:		出荷時設定			
システムの再起動を行います:		再起動			

出荷時設定に戻す	[出荷時設定]を押すと、本製品の各種設定情報が工場出荷時設定に戻ります。
システムの再起動を行います	本製品を再起動します。 ※数分かかる場合があります。

仕様

壁掛けで使う場合	109 ページ
各部の名前と機能	110 ページ
動作環境/仕様	111 ページ

壁掛けで使う場合

ト
ト

ネジをご用意ください

ネジは同梱していません。

頭部径5mm、ネジの呼び径2.5~2.7mmのネジを2本をご用意ください。



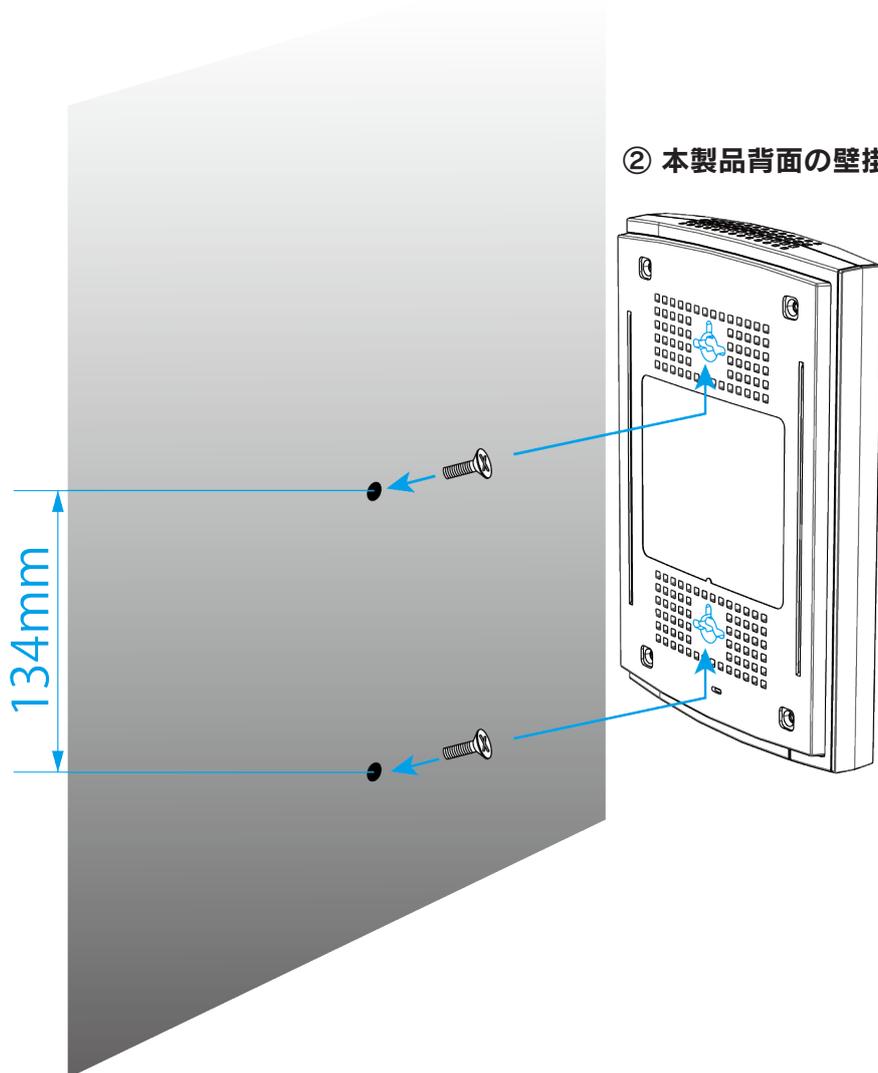
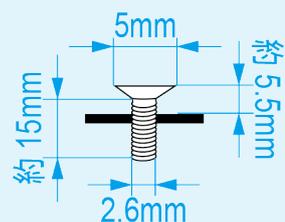
1

① 壁にネジを取り付ける

ト
ト

ネジの取り付け方をご確認ください

- ・ネジ面から壁面までは約5.5mm空けます。
- ・ネジとネジの間は134mm空けます。
- ・石こうボードなど、中空の壁に取り付ける場合は、それぞれの壁に対応したボードアンカーやボードプラグを使用して、ネジ止めをおこなってください。

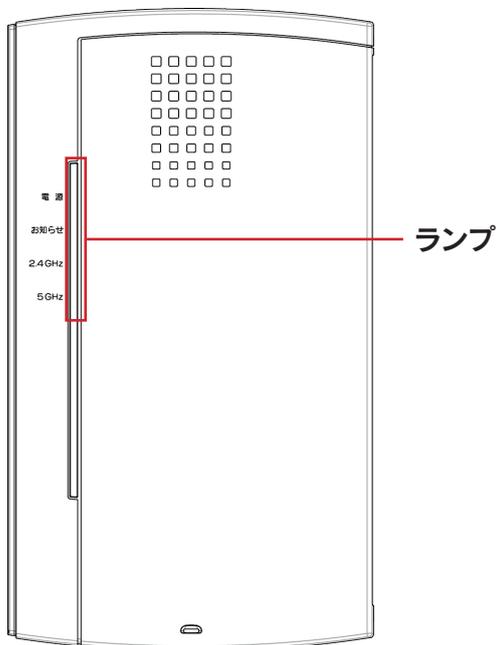


② 本製品背面の壁掛け穴にネジを引っかける

以上で、設置は完了です。

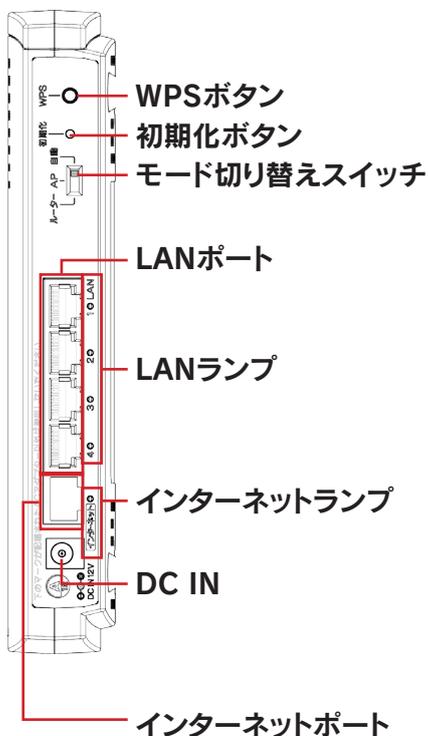
各部の名前と機能

▼ 前面



ランプ	状態		
電源	緑	点灯	電源オン
		点滅	エコモード
お知らせ	緑	点灯	ファームウェアのバージョンアップ等があることをお知らせしています。設定画面を開き、お知らせ内容を確認します。
		点滅	インターネットに接続できていないことをお知らせしています。
	-	消灯	お知らせはありません。
2.4GHz	緑	点灯	2.4GHzの無線LANがオンの状態
		点滅	2.4GHz帯で無線LANアダプターとWPS機能を使い接続設定中
5GHz	緑	点灯	5GHzの無線LANがオンの状態
		点滅	5GHz帯で無線LANアダプターとWPS機能を使い接続設定中

▼ 側面



ボタン	概要		
WPS	本製品とWPS対応機器を接続するために使用します。		
	●約3秒間押すことで、2.4GHz帯で無線LANアダプターとWPSでの設定モードとなります。(約120秒待ち受けします。)		
	●約6秒間押すことで、5GHz帯で無線LANアダプターとWPSでの設定モードとなります。(約120秒待ち受けします。)		
初期化	本製品の設定を初期値に戻します。 本製品設定画面のパスワードを忘れてしまった場合などに使用します。		
モード切り替えスイッチ	自動	ご利用環境にあわせてルーターモード/APモードを自動的に切り換えます。 ※通常、[自動]でご利用ください。	
	AP	AP(アクセスポイント)モードで動作します。	
	ルーター	ルーターとして動作します。	
ポート	概要		
LAN(1~4)	パソコンやハブ(ローカルネットワーク側)を接続するためのポートです。(10Mbps、100Mbps、1000Mbpsを自動認識します。接続されたLANケーブルが、ストレートかクロスかを自動認識します。)		
インターネットポート	FTTH/ADSL/CATVモデムをLANケーブルで接続するためのポートです。		
DC IN	添付のACアダプターを接続します。		
ランプ	状態		
LANランプ(1~4)	緑	点灯	リンク中
		点滅	データ送受信中
	-	消灯	リンクがない状態
インターネットランプ	緑	点灯	リンク中
		点滅	データ送受信中
	-	消灯	リンクがない状態

動作環境/仕様

動作環境

通信できる無線LAN機器	IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11a、IEEE802.11b準拠の無線LAN製品と通信できます。 ※ 無線LANの接続推奨台数として、8台以下でのご使用をおすすめします。 ※ 本製品は無線LANアクセスポイント機能付きWi-Fiルーターです。アクセスポイント間通信に対応していないため、他のアクセスポイント(本製品同士も含む)と無線での通信はできません。
対応OS (日本語版のみ)	Windows®8.1(32/64ビット版) Windows®8(32/64ビット版) Windows®7(32/64ビット版)SP1以降 Windows Vista®(32ビット版)SP2以降 Windows®XP SP3以降 Mac OS X 10.5~10.9
設定に必要なソフトウェア	Windows: Internet Explorer 8.0以降 Mac OS: Safari 5.0以降

仕様

ルーター部	
有線規格	IEEE802.3ab(1000BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)、IEEE802.3(10BASE-T)
対応プロトコル	TCP/IP(IPv4)
伝送速度	1000Mbps(1000BASE-T)、100Mbps(100BASE-TX)、10Mbps(10BASE-T)
インターネットポート	RJ-45×1ポート、Auto MDI/MDI-X、Auto-Negotiation
LANポート	RJ-45×4ポート、全ポートAuto MDI/MDI-X、Auto-Negotiation
インターネット接続方法	IPアドレス自動取得、PPPoE認証(1セッション)、IPアドレス固定
サブネットマスク	255.255.255.0固定
その他機能	SPI、DoS攻撃防御、DHCPサーバー(最大253台)、ポートの開放(最大32エントリー)、DMZホスト、UPnP、IPv6パススルー、MTU設定、オートブリッジ、NTPクライアント、IPsecパススルー、PPTPパススルー、ファミリースマイル、ダイナミックDNS(iobb.net)

無線LAN側ネットワーク部	
無線規格	IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b、IEEE802.11a
通信周波数	2.4GHz帯、5.2GHz帯(W52)、5.3GHz帯(W53)、5.6GHz帯(W56)
対応プロトコル	TCP/IP(IPv6/IPv4)
伝送方式	IEEE802.11b 直接拡散スペクトラム拡散方式(DS-SS) IEEE802.11a/n/g/ac 直交周波数分割多重方式(OFDM)
伝送速度	IEEE802.11ac: 433Mbps(最大値) IEEE802.11a/g: 54Mbps(最大値) IEEE802.11b: 11Mbps(最大値) IEEE802.11nテクノロジー(5GHz帯): 150Mbps(最大値) IEEE802.11n(2.4GHz帯): 300Mbps(最大値)
アンテナ方式	内蔵アンテナ×3(5GHz×1、2.4GHz×2)
無線LANセキュリティ	WPA2-PSK(TKIP/AES)/WPA-PSK(TKIP/AES)/WEP(128/64bit)
無線LAN機能	MACアドレスフィルタリング(最大64エントリー)、SSID通知のON/OFF、自動チャンネル選択、送信出力制限、WPS、WMM
無線LANに接続できる機器の台数	推奨8台

一般仕様

外形寸法	縦置き時:約109(W)×87(D)×200(H)mm(スタンド含む) 横置き時:約193(W)×109(D)×32(H)mm
質量	約250g(本体のみ)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	7.2W
使用温度範囲	0~40℃
使用湿度範囲	10~85%(結露しないこと)
環境対応	RoHS指令準拠

出荷時設定一覧

LAN側設定	IPアドレス	192.168.0.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
無線LAN設定	SSID1	AirPortxxxxx (xxxxxは機器により異なる。)
	SSID1 無線セキュリティ設定	WPA-PSK/WPA2-PSK(TKIP/AES)
	暗号キー	製品に貼付のシールに記載のキーを入力済み
	SSID2	Streamxxxxx (xxxxxは機器により異なる。)
	SSID2 無線セキュリティ設定	WPA2-PSK(AES)
	暗号キー	製品に貼付のシールに記載のキーを入力済み
	SSID3	Guestxxxxx (xxxxxは機器により異なる。)
	SSID3 無線セキュリティ設定	WPA-PSK/WPA2-PSK(TKIP/AES)
	暗号キー	製品に貼付のシールに記載のキーを入力済み
	Copy SSID	Copyxxxxx (xxxxxは機器により異なる。)
	Copy SSID 無線セキュリティ設定	WPA-PSK/WPA2-PSK(TKIP/AES)
	暗号キー	製品に貼付のシールに記載のキーを入力済み
DHCPサーバー機能	DHCPサーバー機能	有効
	開始IPアドレス	192.168.0.2
	終了IPアドレス	192.168.0.32
パスワード設定	なし	
ポートの開放	無効	
DMZ	無効	
UPnP	有効	
NATアクセラレータ	無効	
セキュリティ設定	システム設定	インターネットからのPing拒否:有効(固定) DoS攻撃防御:有効
	ECOモード	利用しない

困ったときには

困ったときには	114 ページ
アフターサービスについて	132 ページ
ハードウェア保証規定	134 ページ

困ったときには

参照したいトラブルの対処をご覧ください。

インターネット接続時のトラブル

パソコン内蔵の無線LANでインターネット接続ができない	115 ページ
有線LANでインターネット接続ができない	116 ページ
NTTフレッツ光回線でインターネット接続ができない	116 ページ
LAN側のIPアドレスを変更したら接続できなくなった	117 ページ
1台目のパソコンは接続できているが、2台目以降のパソコンがインターネット接続できない	118 ページ

無線LANに関するトラブル

無線LANアダプター側のパソコンと通信速度が遅いまたは不安定	119 ページ
Wi-Fi対応ゲーム機で通信できない	119 ページ
SSIDが検索されない	119 ページ
本製品のSSIDとセキュリティキー(暗号キー)の設定値を知りたい	119 ページ
転送速度が遅い場合	120 ページ

コピー機能に関するトラブル

コピーに失敗する	120 ページ
既存の無線LANルーターで使用していた端末がつかない	120 ページ
コピーしたSSIDと暗号キーを消去または無効にしたい	120 ページ

設定画面に関するトラブル

「Magical Finder」で本製品が表示されない	121 ページ
設定画面が表示されない	121 ページ
パスワードを忘れてしまった	123 ページ

その他のトラブル

本製品にパソコンを追加で接続したい	123 ページ
ネットワークゲームやサーバー公開をしたい	123 ページ
ファイルやプリンターを共有したい	124 ページ
パソコンのIPアドレスを自動取得にしたい	127 ページ
パソコンのIPアドレスを手動設定(固定設定)にしたい	129 ページ

ヒント

弊社Webページにも製品Q&Aを掲載しています

併せてご覧ください。またファームウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。

➔ <http://www.iodata.jp/r/4470>



インターネット接続時のトラブル

Q パソコン内蔵の無線LANでインターネット接続ができない

対処 パソコン内蔵の無線LAN機能をご利用になる場合、内蔵の無線LAN機能が有効(オン)になっていることを確認してください。詳しくはパソコンの取扱説明書等をご参照ください。

対処 Windows XPで、無線LANアダプター用のユーティリティソフトをインストールしている場合は、Windows XP標準の「Wireless Zero Configuration」のサービスが停止するため、無線LAN接続の設定ができない状態となります。ご利用の無線LANアダプターのユーティリティソフトを利用される場合は、無線LANアダプターの取扱説明書等を確認し、設定してください。
ユーティリティを使用せずに本製品と接続する場合は、ユーティリティソフトをアンインストールするか、「Wireless Zero Configuration」サービスが有効になるようにユーティリティソフト側で設定変更してください。設定方法については、ご利用の無線LANアダプターの取扱説明書をご参照ください。

対処 無線間の距離を短くし、障害物を取り除き、アクセスポイントの通信チャンネルを変更してから再度お試しください。また、本製品のチャンネル設定を変更してみてください。(チャンネル変更は本製品の設定画面の[無線設定]→[基本設定]からおこないます。)

対処 パソコンのIPアドレスが自動取得(DHCP)の場合は、電源を入れる順番をDHCPサーバーとなる機器から先に電源を入れて、最後にパソコンの電源を入れてください。(DHCPサーバーとなる機器が本製品の場合は、本製品から先に電源を入れます。)パソコンのIPアドレスの設定については、「パソコンのIPアドレスを自動取得にしたい」127 ページをご参照ください。

対処 パソコンのIPアドレスが固定の場合は、本製品のIPアドレスをパソコンと同一クラスのIPアドレスに設定してください。

対処 本製品と無線LAN接続する機器(パソコンなど)のSSIDと暗号化設定が、すべて同じ設定になっているかどうかご確認ください。

同じ設定になっていない場合は、本製品のSSIDと暗号キーを確認し、設定し直してください。

※ 出荷時設定は、本製品背面のシールや添付の「無線LAN設定情報カード」に記載されています。

※ SSID1の出荷時設定は「AirPortxxxx」です。(“xxxx”は機器により異なります。)

※ セキュリティキーは暗号キー欄に記載している13桁の英数字です。

また、ニンテンドーDSi/DS Lite/DSの場合は、暗号化方式をWEPに変更してから接続します。(「ニンテンドーDS Lite/ニンテンドーDSの場合」44 ページ参照)



Q 有線LANでインターネット接続ができない

- 対処**
- ・本製品のLANランプが点灯しているかご確認ください。
 - ・LANケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
 - ・パソコンのLANアダプターが正常に動作しているか確認してください。

- 対処**
- パソコンのネットワーク設定で、IPアドレスの設定が"自動取得"になっていることを確認してください。
「パソコンのIPアドレスを自動取得にしたい」127 ページの手順で確認します。
- ※ 本製品のDHPCサーバーを無効にした場合は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレスを手動設定してください。この際、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレスは本製品のIPアドレスを設定してください。

Q NTTフレッツ光回線でインターネット接続ができない

- 対処**
- 以下の内容についてご確認の上、該当する対処をおこなってください。
- NTTから配布されているモデム(終端装置)にルーター機能があるか確認する。
 - ルーター機能がある場合は、NTT側のモデムにPPPoE認証設定をおこなっているか確認する。
(PPPoE認証設定とは、ご契約のプロバイダーから通知されている「接続用ID(アカウント)」と「接続用パスワード」を設定することです。ご不明な場合はNTT東日本社・NTT西日本社にご確認ください。)

▼ モデムにルーター機能があり、モデムのPPPoE認証も設定済みの場合

- 1.本製品の「WAN」ポートにモデムからのLANケーブルが接続されていて、[インターネット]ランプが点灯していることを確認します。
⇒ランプが点灯していない場合は、LANケーブルを接続しているポートや、モデム、本製品の電源が入っているか確認してください。
- 2.パソコン→本製品→モデムの順に電源を切ります。
本製品は電源ボタンがないので、ACアダプターをコンセントから外して電源を切ってください。
モデムについても電源ボタンがない場合は、通信していないことを確認してコンセントから電源を切ってください。
- 3.モデム→本製品→パソコンの順に電源を入れます。
電源を入れる際は、モデムの電源を入れて起動完了するまで(ランプの状態が落ち着くまで)待つてから、次に本製品の電源を入れるようにしてください。
- 4.それでもインターネットにつながらない場合は、本製品をアクセスポイントモードに変更してご確認ください。
(「APモードに切り替える方法」72 ページ参照)

▼ モデムにルーター機能あり、モデムのPPPoE認証設定をおこなっていない場合

- 1.モデムにPPPoE認証設定をおこないません。
設定方法は、モデムの取扱説明書、セットアップガイド等をご参照ください。
ご不明な場合は、NTT東日本社、NTT西日本社、プロバイダーにご相談ください。
- 2.本製品をアクセスポイントモードに変更してご確認ください。
(「APモードに切り替える方法」72 ページ参照)

▼ モデムにルーター機能がない場合

本製品にPPPoE認証設定が必要です。既に設定をおこなった上で接続がうまくいかない場合は、本製品をリセットし、初期状態に戻してから、再度設定をし直してください。(「出荷時設定に戻す方法」88 ページ参照)

1. 添付のLANケーブルを、モデムのLANポートと本製品のインターネットポートに接続します。
2. パソコンと本製品を接続します。(「Step2 無線LANの接続設定をする」13 ページからご利用の手順を参照)
3. Webブラウザを起動します。
4. [かんたん接続]をクリックします。

※[かんたん接続]の画面が表示されない場合はWEBブラウザを起動し、アドレス欄に[http://192.168.0.1]と入力し、Enterキーを押します。

5. プロバイダーから指定された[ユーザーID]と[接続パスワード]を入力し、[完了]ボタンをクリックします。
ご契約のプロバイダーより提供されているユーザーID、接続パスワードが記載された資料をご用意ください。
資料が見つからない場合は、ご契約のプロバイダーへお問い合わせください。

資料に記載されているユーザーID(※1)、接続パスワード(※2)を入力してください。

入力内容がわからない場合は、ご契約のプロバイダーへお問い合わせください。

- ※1 ユーザーIDは、接続ID、認証ID、ログインID、接続ユーザー名などと表記されている場合があります。
NTTフレッツシリーズ(フレッツ光やフレッツADSL)をご利用の場合は@以降もすべて入力します。
- ※2 接続パスワードは、認証パスワード、ログインパスワードなどと表記されている場合があります。

Q LAN側のIPアドレスを変更したら接続できなくなった

対処

▼ パソコンに固定でIPアドレスを設定している場合

- ・パソコンのIPアドレスには、新しく設定した(変更した)ルーターのLAN側IPアドレスと同じネットワーククラスのIPアドレスを設定してください。
- ・パソコンのゲートウェイ(ルーターアドレス)とDNSアドレスには、新しく設定した(変更した)ルーターのLAN側IPアドレスを設定してください。

▼ パソコンにIPアドレスを自動的に取得させている場合

パソコンの再起動、またはパソコンが自動的に取得しているIPアドレスの解放と更新をおこなってください。(下記ヒント参照)

ヒント

IPアドレスの解放と更新方法



コマンドプロンプトを起動して、IPアドレスの解放と更新をおこないます。

①以下の手順でコマンドプロンプトを起動

- ・Windows 8の場合: 画面左下を右クリックし、[コマンドプロンプト]をクリック
- ・Windows 7/XPの場合: [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を順にクリック
- ・Windows Vistaの場合: [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]を順にクリック
→[コマンドプロンプト]を右クリックして「管理者として実行」をクリック

②IPCONFIG -RELEASE と入力し、[Enter]キーを押す ⇒ IPアドレスなどがすべて0.0.0.0になります。

③IPCONFIG -RENEW と入力し、[Enter]キーを押す ⇒ IPアドレスを再取得します。

④IPCONFIG -ALL と入力し、[Enter]キーを押す ⇒ IPアドレスをご確認ください。

Q 1台目のパソコンは接続できているが、2台目以降のパソコンがインターネット接続できない

対処 追加するすべての機器で無線LANの接続設定が必要です。
「Step2 無線LANの接続設定をする」13 ページを参照し、設定してください。

対処 モデム、本製品、パソコンの電源を一旦切り、モデム→本製品→パソコンの順に電源を入れ直してください。また、パソコンが自動的に取得しているIPアドレスの解放と書き換えをおこなってください。
(ヒント「IPアドレスの解放と更新方法」117 ページ参照)

Q 転送速度が遅い場合

対処 他の機器と電波が干渉している可能性があります。周波数を20MHzに変更してみてください。
本製品の設定画面の[無線設定]→[詳細設定]を開き、使用する帯域の設定で[20/40MHz]または[20MHz]を選択し、[設定]ボタンをクリックします。

コピー機能に関するトラブル

Q コピーに失敗する

対処 コピーボタンで既存の無線LANルーターの無線設定情報(SSIDと暗号キー)を本製品にコピーした際、コピーランプが遅い点滅から早い点滅に変わった場合はコピーに失敗しています。

コピー機能は利用せず、接続してください。(「▼ 初めて無線LANルーターを設置する場合」12 ページ参照) (既存の無線LANルーターの設定はコピーできません。)

対処 以下の場合にはコピー機能で無線LANの接続設定がおこなえません。コピー機能は利用せず、接続してください。(「▼ 初めて無線LANルーターを設置する場合」12 ページ参照) (既存の無線LANルーターの設定はコピーできません。)

- 5GHz帯に対応した端末をつなぐ場合(本製品にコピーしたSSIDは2.4GHz帯で動作します)
- 新しい端末を追加する場合
- 既存の無線LANルーターの暗号化方式が「WEP」の場合、または暗号化していない場合
- 既存の無線LANルーターにWPSボタンがない場合

Q 既存の無線LANルーターで使用していた端末が繋がらない

対処 既存の無線LANルーターで使用していた端末が5GHz帯に対応の場合、コピーしたSSIDには接続できません。コピー機能は利用せず、本製品のSSID2に接続してください。(「▼ 初めて無線LANルーターを設置する場合」12 ページ参照)

※ SSID2の出荷時設定は「無線LAN設定情報カード」または本製品背面のシールに記載されています。

対処 既存の無線LANルーターで使用していた端末の暗号化方式が「WEP」の場合、または暗号化していない場合、コピー機能で無線LANの接続設定がおこなえません。本製品のSSIDの暗号化方式を変更してから、本製品に接続してください。

(本製品のSSIDの暗号化方式の変更方法については、「無線LAN設定(SSID・暗号化設定)の変更手順」74 ページ参照)

Q コピーしたSSIDと暗号キーを消去または無効にしたい

対処 コピーしたSSIDと暗号キーを消去する場合は、本製品を出荷時状態に初期化してください。(「出荷時設定に戻す方法」88 ページ参照)

また、コピーしたSSIDを無効にする場合は、本製品の設定画面の[無線設定]→[基本設定]を開き、[Copy SSID(2.4G)]で[無効]を選択し、[設定]をクリックします。

設定画面に関するトラブル

Q 「Magical Finder」で本製品が表示されない

対処 しばらく待ってから[情報の更新]ボタンを押してみてください。

対処 ご利用のパソコンのファイアウォール機能、ウイルス対策ソフトを一時的に停止、終了したうえで再度ご確認ください。設定完了後は、元に戻してください。

Q 設定画面が表示されない

対処 本製品が起動中または再起動中の場合は、本製品のインターネットランプが点滅するまでお待ちください。

対処 「パソコン内蔵の無線LANでインターネット接続ができない」115 ページの対処をお試しください。

対処 セキュリティソフトの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくはセキュリティソフトのメーカーにお問い合わせください。

対処 Magical Finder上に表示されている本製品のIPアドレスを確認し、ご利用のパソコンのIPアドレスと同じネットワーククラスになっているかどうかご確認ください。(Magical Finderの開き方については「設定画面の開き方」65 ページ参照)

(例) パソコンのIPアドレスが「192.168.3.xxx」

本製品のIPアドレスが「192.168.3.yyy」(xxx、yyyにはそれぞれ違う数字が入ります。)

ここが同じ数字ならパソコンと本製品は同じネットワーククラス

本製品とパソコンが違うネットワーククラスになっている場合は、以下の対処をおこなってください。

● パソコンのIPアドレスが自動取得(DHCP)の場合

電源を入れる順番をDHCPサーバーとなる機器から先に電源を入れて、最後にパソコンの電源を入れてください。

(DHCPサーバーとなる機器が本製品の場合は、本製品から先に電源を入れます。)

パソコンのIPアドレスを自動取得(DHCP)にする場合は、「パソコンのIPアドレスを自動取得にしたい」127 ページをご参照ください。

● パソコンのIPアドレスが固定の場合

本製品のIPアドレスをパソコンと同じネットワーククラスのIPアドレスに設定してください。

Magical Finderを開き、本製品の[IP設定]ボタンをクリックし、設定します。

対処 設定用パソコンのIPアドレスをいったん解放し、更新(再取得)をおこなってください。(IPアドレスの解放と更新についてはヒント「IPアドレスの解放と更新方法」117 ページ参照)

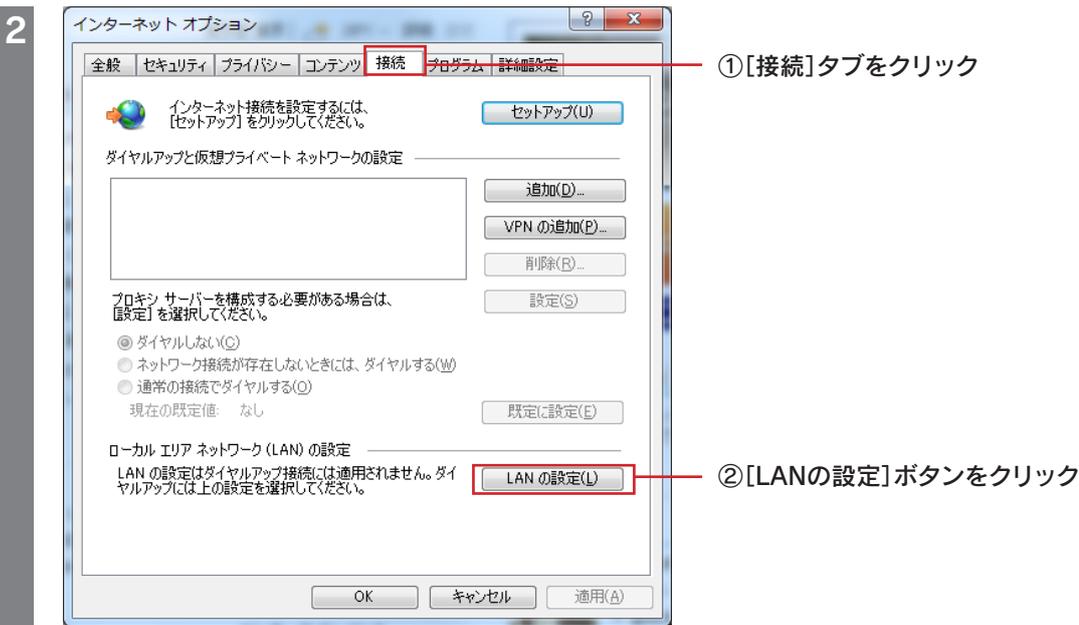
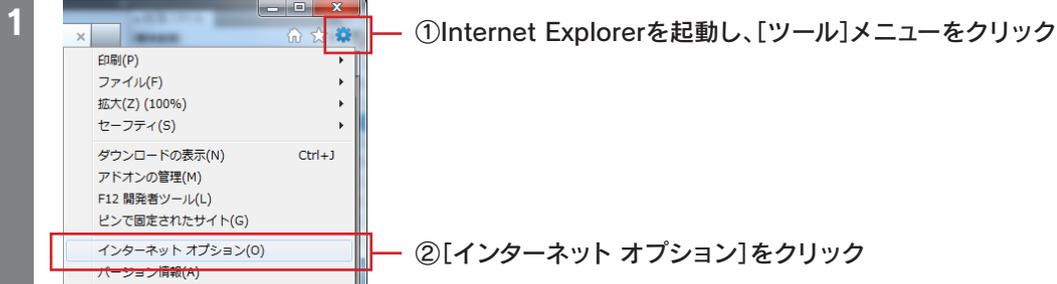
対処 Webブラウザがダイヤルアップする設定になっている場合は、以下の手順でダイヤルしない設定に変更してください。(例: Internet Explorer 9)

1 Internet Explorerを起動し、[ツール]メニューの[インターネット オプション]をクリック

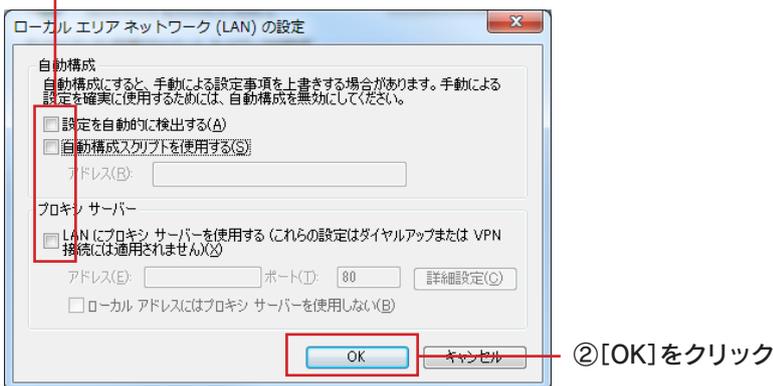
2 [接続]タブをクリックし、[ダイヤルしない]にチェックし、[OK]をクリック

対処 Webブラウザがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出すことができません。ブラウザの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。

▼ Windowsの場合



3 ①すべてのチェックを外す[OK]をクリック



4 [OK]をクリックし、画面を閉じる

▼ Mac OS場合

1 [アップルメニュー]→[ネットワーク環境 (場所)]→[ネットワーク環境設定]の順にクリック

2 ①[プロキシ]タブをクリックし、[Webプロキシ(HTTP)]のチェックを外す

②[今すぐ適用]ボタンをクリック

3 画面左上の[×]をクリックし、画面を閉じる

対処 Mac OSの場合、PPPoE設定を無効にしてください。

- 1 [アップルメニュー]→[ネットワーク環境(場所)]→[ネットワーク環境設定]→[TCP/IP]の順にクリックし、[DHCPサーバを参照]を選択
- 2 [PPPoE]タブをクリックし、[PPPoEを使って接続]のチェックを外す

対処 PPPoEの広域帯を使用している場合は、削除(無効に)してください。

▼ Windows 8/7/Vistaの場合

- 1 Windows 8.1の場合:画面左下を右クリックし、[ネットワーク接続]をクリック
Windows 8の場合:画面左下を右クリックし、[[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタスクの表示]の順にクリック
Windows 7/Vistaの場合:[スタート]→[コントロールパネル](→[ネットワークとインターネット])→[ネットワークの状態とタスクの表示]の順にクリック
※ アイコン表示の場合は、[コントロールパネル]→[ネットワークと共有センター]をクリックします。
- 2 左側メニューの[アダプターの設定の変更]([ネットワーク接続の管理])をクリック
- 3 ブロードバンド接続を削除

▼ Windows XPの場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]の順にクリックし、[広域帯]を削除

▼ Mac OS X 10.4場合

[アップルメニュー]→[ネットワーク環境(場所)]→[ネットワーク環境設定]→[PPPoE]タブの順にクリックし、[PPPoEを使って接続する]のチェックを外し、[今すぐ適用]をクリック

▼ Mac OS X 10.5場合

[アップルメニュー]→[ネットワーク環境(場所)]→[ネットワーク環境設定]の順にクリックし、[接続解除]ボタンをクリック

Q パスワードを忘れてしまった

対処 出荷時、ログイン名、パスワードは空欄(設定なし)に設定されています。また、パスワードには大文字/小文字の区別があります。パスワードを忘れてしまった場合は、本製品を出荷時設定に戻してください。
(リセットすると、そのほかの設定もすべて出荷時設定に戻ります。再度設定し直してください。)
([出荷時設定に戻す方法]88 ページ参照)

その他のトラブル

Q 本製品にパソコンを追加で接続したい

対処 「Step2 無線LANの接続設定をする」13 ページを参照し、接続してください。

Q ネットワークゲームやサーバー公開をしたい

対処 「ポートの開放手順」80 ページを参照し、設定をおこなってください。

Q ファイルやプリンターを共有したい

対処 本製品でインターネット接続ができているパソコン同士であれば、OS側で共有設定すれば、ファイルやプリンター共有をおこなうことができます。

※ 以下の手順で設定がうまくいかない場合は、ご使用のOSサポートメーカーやパソコンメーカーに設定をご相談ください。

※ なお、ファイアウォール関連のアプリケーションをご利用の場合は、以下の設定をおこなう前に、パソコンにインストールされているファイアウォール機能を動作しない状態に設定変更してください。

また、Windows XPに搭載されているファイアウォール機能いったん無効にしてください。

ネットワークの接続確認

▼ Windows 8/7/Vistaの場合

- 1 Windows 8.1の場合:画面左下を右クリックし、[ネットワーク接続]をクリック
Windows 8の場合:画面左下を右クリックし、[[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタスクの表示]の順にクリック
Windows 7/Vistaの場合:[スタート]→[コントロールパネル] (→[ネットワークとインターネット])→[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリック
※ アイコン表示の場合は、[コントロールパネル]→[ネットワークと共有センター]をクリック
- 2 左側メニューの[アダプターの設定の変更]([ネットワーク接続の管理])をクリック
- 3 [ローカルエリア接続]([ワイヤレスネットワーク接続])を右クリックし、[プロパティ]をクリック
- 4 [ユーザーアカウント制御]が表示されますので、[続行]をクリック
- 5 [ローカルエリア接続のプロパティ]([ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ])にて、[接続の方法]にパソコンにセットアップされているLANアダプターのデバイス名が表示されているかを確認します。
また、「この接続は次の項目を使用します。」のところで、下記のものがすべて登録されているかを確認します。
・Microsoftネットワーク用クライアント
・Microsoftネットワーク用ファイルとプリンターの共有
・インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)
- 6 コンピューター名とワークグループ名の設定を確認します。
①システムのプロパティを開きます。
・Windows 8の場合:画面左下を右クリックし、[システム]をクリック
・Windows 7/Vistaの場合:[スタート]メニューから[コンピューター]を右クリックし、[プロパティ]をクリック
②表示された画面で、[コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定]欄の右側にある[設定と(の)変更]をクリックします。
③ [ユーザーアカウント制御]が表示されますので、[続行]をクリックします。
④システムのプロパティが表示されますので、画面の右下の「変更」ボタンをクリックします。
⑤[フルコンピューター名]と[ワークグループ名]を半角英数字で設定します。
※フルコンピューター名は他のパソコンと重複しないように設定します。
※ワークグループ名は他のパソコンと統一しておく必要があります。

以上でパソコン間のネットワークの設定は完了です。次にファイルまたはプリンターの共有設定をおこないます。

「ファイルを共有する場合」は125 ページへお進みください。「プリンターを共有する場合」は126 ページへお進みください。

▼ Windows XPの場合

- 1 [スタート]→[マイネットワーク]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 2 [ローカルエリア接続]([ワイヤレスネットワーク接続])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続のプロパティ]([ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ])にて、[接続の方法]にパソコンにセットアップされているLANアダプターのデバイス名が表示されているかを確認します。
また、「この接続は次の項目を使用します。」のところで、下記のものすべてが登録されているかを確認します。
 - ・Microsoftネットワーク用クライアント
 - ・Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタの共有
 - ・インターネットプロトコル(TCP/IP)
- 4 コンピューター名とワークグループ名の設定を確認します。
 - ①[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
 - ②[システムのプロパティ]画面が表示されますので、[コンピュータ名]タブをクリックします。
 - ③[変更]ボタンをクリックし、[フルコンピュータ名]と[ワークグループ名]を半角英数字で設定します。
 - ※ フルコンピュータ名は他のパソコンと重複しないように設定します。
 - ※ ワークグループ名は他のパソコンと統一しておく必要があります。

以上でパソコン間のネットワークの設定は完了です。次にファイルまたはプリンターの共有設定をおこないます。「ファイルを共有する場合は下記へお進みください。」「プリンターを共有する場合は126 ページへお進みください。」

ファイルを共有する場合

▼ Windows 8/7/Vistaの場合

- 1 [スタート]メニューから[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]項目内の[ファイルの共有の設定]または[ホームグループと共有に関するオプションの選択]を開きます。
 - ※ Windows 8の場合は、画面左下を右クリックし、[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]項目内の[ホームグループと共有に関するオプションの選択]の順にクリックします。
 - ※ アイコン表示の場合は、[コントロールパネル]→[ネットワークと共有センター]をクリックします。
- 2 [ネットワーク探索]、[ファイル共有]、[プリンタ共有]をそれぞれ[有効]にします。
- 3 [コンピューター]や[エクスプローラ]で共有したいファイルやフォルダを右クリックして、[共有]を選択します。
- 4 [共有を行う人々を選んでください。]でアクセスを許可するユーザーを選択して、[共有]ボタンをクリックします。
⇒ アイコンに人の絵のマークがついたら、共有設定は完了です。他のパソコンから[ネットワークコンピューター]や[マイネットワーク]で共有ファイルやフォルダを設定したコンピューター名を開くと、そのファイルやフォルダが見えるようになります。

▼ Windows XPの場合

- 1 [マイコンピュータ]や[エクスプローラ]で共有したいファイルやフォルダを右クリックして、[共有]を選択します。
- 2 [共有する]にチェックして、[OK]ボタンをクリックします。
⇒ アイコンに手のマークがついたら、共有設定は完了です。他のパソコンから[ネットワークコンピューター]や[マイネットワーク]で共有ファイルやフォルダを設定したコンピューター名を開くと、そのファイルやフォルダが見えるようになります。

プリンターを共有する場合

▼ Windows 8/7の場合

- 1 [はじめに、共有プリンターを接続しているパソコン側の設定をします。
・Windows 8の場合:画面左下を右クリックし、[コントロールパネル]→[デバイスとプリンターの表示]の順にクリック
・Windows 7の場合:スタートメニューから[デバイスとプリンター]をクリック
- 2 共有させたいプリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックします。
- 3 [共有]タブをクリックし、[このプリンタを共有する]にチェックをつけます。
- 4 次に、共有プリンターを使用するパソコン側の設定をします。
使用するプリンターのドライバーをインストールします。
- 5 インストール時に[ネットワークプリンタ]を選択して、インストールをおこないます。
以上で、プリンターの共有設定は完了です。

▼ Windows Vista/XPの場合

- 1 はじめに、共有プリンターを接続しているパソコン側の設定をします。
スタートメニューから[デバイスとプリンター](または[プリンタとFAX])をクリックします。
- 2 共有させたいプリンターのアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 3 [共有]タブをクリックし、[このプリンタを共有する]にチェックをつけます。
- 4 次に、共有プリンターを使用するパソコン側の設定をします。
使用するプリンターのドライバーをインストールします。
- 5 インストール時に[ネットワークプリンタ]を選択して、インストールをおこないます。
以上で、プリンターの共有設定は完了です。

Q パソコンのIPアドレスを自動取得にしたい

対処 ご利用のOSにより設定方法が異なります。

▼ Windows 8/7の場合

- 1 コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。
- 2 Windows 8.1の場合:画面左下を右クリックし、[ネットワーク接続]をクリック
Windows 8の場合:画面左下を右クリックし、[[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタスクの表示]の順にクリック
Windows 7の場合:[スタート]→[コントロールパネル](→[ネットワークとインターネット])→[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリック
※ アイコン表示の場合は、[コントロールパネル]→[ネットワークと共有センター]をクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続]をクリックします。
- 4 [プロパティ]をクリックします。
- 5 [ユーザーアカウント制御]が表示されますので、[続行]をクリックします。
- 6 [接続の方法]にLANアダプターの名称が表示されていることを確認します。
- 7 [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 8 [IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]にチェックして、[OK]ボタンをクリックします。
- 9 元の画面に戻ります。[OK]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

▼ Windows Vistaの場合

- 1 コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。
- 2 [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。
- 3 [ネットワークと共有センター]が開きますので、左側の[ネットワーク接続の管理]をクリックします。
- 4 [ローカルエリア接続(もしくは、[ワイヤレスネットワーク接続])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 5 [ユーザーアカウント制御]のメッセージが表示された場合は、[続行]をクリックします。
- 6 [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 7 [IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]にチェックして、[OK]ボタンをクリックします。
- 8 元の画面に戻ります。[OK]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

▼ Windows XPの場合

- 1 コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。
- 2 [スタート]→[コントロールパネル](→[ネットワークとインターネット接続])→[ネットワーク接続]の順にクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。
無線LANアダプターから設定している場合は、[ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。
- 4 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。
- 5 [IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]にチェックして、[OK]ボタンをクリックします。
- 6 元の画面に戻ります。[OK]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

▼ Mac OSの場合

- 1 アップルメニューより[場所]→[ネットワーク環境設定]の順にクリックします。
- 2 ネットワーク環境設定をします。
 - ①[表示]で、ご使用のLANアダプター(内蔵Ethernetなど)を選びます。
 - ②[TCP/IP]をクリックします。
 - ③[設定]で[DHCPサーバーを参照]を選びます。
 - ④[今すぐ適用]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Q パソコンのIPアドレスを手動設定(固定設定) にしたい

対処 ご利用のOSにより設定方法が異なります。

▼ Windows 8/7の場合

- 1 コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。
- 2 Windows 8.1の場合:画面左下を右クリックし、[ネットワーク接続]をクリック
Windows 8の場合:画面左下を右クリックし、[[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタスクの表示]の順にクリック
Windows 7の場合:[スタート]→[コントロールパネル](→[ネットワークとインターネット])→[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリック
※ アイコン表示の場合は、[コントロールパネル]→[ネットワークと共有センター]をクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続]をクリックします。
- 4 [プロパティ]をクリックします。
- 5 [ユーザーアカウント制御]が表示されますので、[続行]をクリックします。
- 6 [接続の方法]にLANアダプターの名称が表示されていることを確認します。
- 7 [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 8 [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ]画面で[次のIPアドレスを使う]にチェックを入れ、IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを設定します。

IPアドレス	ルーターに接続可能なIPアドレスを設定します。 ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、192.168.0.xxx (xxxが他のパソコンやネットワーク機器と重複しない数値で、ルーターがDHCPサーバーになっている場合やネットワーク上に別途DHCPサーバーがある場合は、DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの範囲と重複しない値を設定してください。)
サブネット マスク	255.255.255.0 を設定します。
デフォルトゲートウェイ	ルーターのIPアドレスを指定します。 (例:ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)
- 9 [次のDNSサーバーのアドレスを使う]にチェックを付けて、[優先DNSサーバー]にルーターのIPアドレスを入力します。
(例:ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)
- 10 入力後、[OK]ボタンをクリックし、ウインドウを閉じます。

以上で設定は完了です。

▼ Windows Vistaの場合

- 1 コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。
- 2 [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。
- 3 [ネットワークと共有センター]が開きますので、左側の[ネットワーク接続の管理]をクリックします。
- 4 [ローカルエリア接続(もしくは、[ワイヤレスネットワーク接続])を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 5 [ユーザーアカウント制御]のメッセージが表示された場合は、[続行]をクリックします。
- 6 [インターネットプロトコル バージョン4(TCP/IPv4)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。
- 7 [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ]画面で[次のIPアドレスを使う]にチェックを入れ、IPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを設定します。

IPアドレス	ルーターに接続可能なIPアドレスを設定します。 ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、192.168.0.xxx (xxxが他のパソコンやネットワーク機器と重複しない数値で、ルーターがDHCPサーバーになっている場合やネットワーク上に別途DHCPサーバーがある場合は、DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの範囲と重複しない値を設定してください。)
サブネット マスク	255.255.255.0 を設定します。
デフォルトゲートウェイ	ルーターのIPアドレスを指定します。 (例:ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)
- 8 [次のDNSサーバーのアドレスを使う]にチェックを付けて、[優先DNSサーバー]にルーターのIPアドレスを入力します。
(例:ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)
- 9 入力後、[OK]ボタンをクリックし、ウインドウを閉じます。

以上で設定は完了です。

▼ Windows XPの場合

- 1 コンピュータの管理者のアカウントでWindowsにログオンします。
- 2 [スタート]→[コントロールパネル](→[ネットワークとインターネット接続])→[ネットワーク接続]の順にクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。
無線LANアダプターから設定している場合は、[ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。
- 4 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。
- 5 [IPアドレスを自動的に取得する]と[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]にチェックして、[OK]ボタンをクリックします。

IPアドレス	ルーターに接続可能なIPアドレスを設定します。 ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、192.168.0.xxx (xxxが他のパソコンやネットワーク機器と重複しない数値で、ルーターがDHCPサーバーになっている場合やネットワーク上に別途DHCPサーバーがある場合は、DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの範囲と重複しない値を設定してください。)
サブネット マスク	255.255.255.0 を設定します。
デフォルトゲートウェイ	ルーターのIPアドレスを指定します。 (例:ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)

- 6 [次のDNSサーバーのアドレスを使う]にチェックを付けて、[優先DNSサーバー]にルーターのIPアドレスを入力します。
(例:ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)
- 7 入力後、[OK]ボタンをクリックし、ウインドウを閉じます。

以上で設定は完了です。

▼ Mac OSの場合

- 1 アップルメニューより[場所]→[ネットワーク環境設定]の順にクリックします。
- 2 ネットワーク環境設定をします。
 - ①[表示]で、ご使用のLANアダプター(内蔵Ethernetなど)を選びます。
 - ②[IPv4を設定]([設定])で[手入力]を選択します。
 - ③IPアドレス・サブネットマスク・ルーター・DNSサーバーの設定をします。

IPアドレス	ルーターに接続可能なIPアドレスを設定します。 ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、192.168.0.xxx (xxxが他のパソコンやネットワーク機器と重複しない数値で、ルーターがDHCPサーバーになっている場合やネットワーク上に別途DHCPサーバーがある場合は、DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの範囲と重複しない値を設定してください。)
サブネット マスク	255.255.255.0 を設定します。
デフォルトゲートウェイ	ルーターのIPアドレスを指定します。 (例:ルーターのIPアドレスが192.168.0.1の場合は、このアドレスを設定する)

- ④[今すぐ適用]をクリックします。

以上で設定は完了です。

アフターサービスについて

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**



「困ったときには」を参照 (114 ページ)



弊社サポートページのQ&Aを参照

➔ <http://www.iodata.jp/support/>



最新のソフトウェアをダウンロード

➔ <http://www.iodata.jp/lib>



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3014

※受付時間 9:00~17:00 月~日曜日 (年末年始・夏期休業期間をのぞく)

FAX：076-260-3360

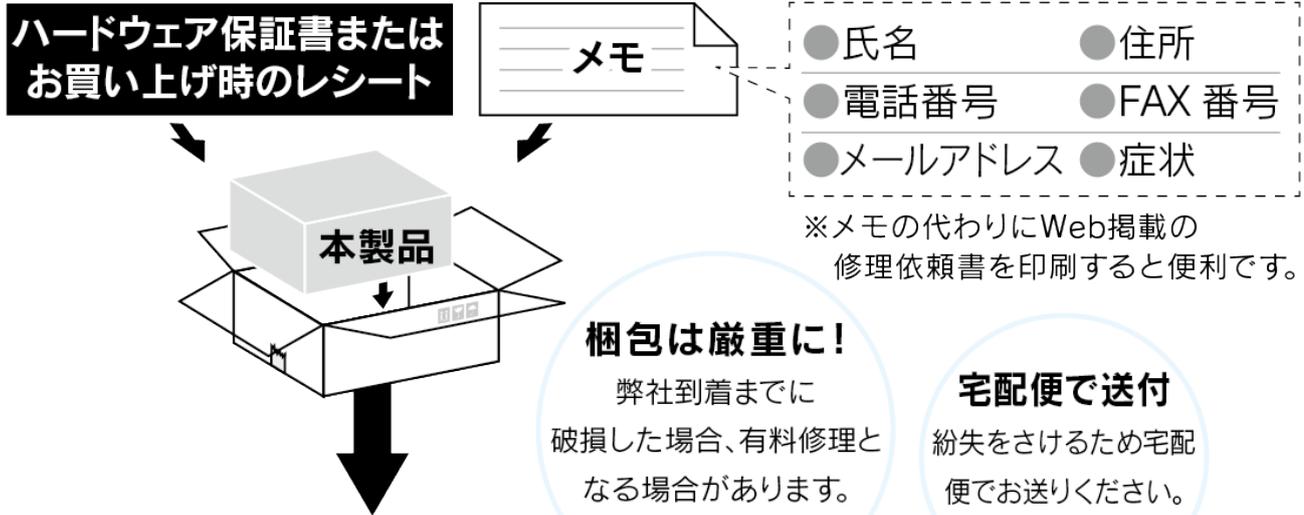
インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

<ご用意いただく情報>

製品情報 (製品名、シリアル番号など)、パソコンや接続機器の情報 (型番、OSなど)

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただきます。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料) 金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… <http://www.iodata.jp/support/after/>

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より12ヶ月、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合には保証の対象とはなりません。

- 1) レシートや納品書に記載されたご購入日から12ヶ月の保証期間が経過した場合
- 2) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 3) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 4) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 5) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 6) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 7) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 8) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 9) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 10) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

【使用ソフトウェアについて】

本製品には、MIT License、BSD License、Apache License と GNU General Public License Version 2, June 1991 に基づいたソフトウェアが含まれています。変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【商標について】

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国または他国における Microsoft Corporation の登録商標です。
- iPhone、iPad、iPod touch、App Store は Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- QR コード® は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- “N-Mark” ロゴは、NFC Forum, Inc. の商標あるいは登録商標です。
- 「PlayStation」、PS3、PSP は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標、および商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**
ホームページ <http://www.iodata.jp/>